
行田市民意識調査 報告書

令和2年1月

行田市

はじめに



令和2年1月 行田市長 石井直彦

近年、人口減少、少子高齢化の進展による社会構造や生活環境の変化などから、市民の意識や市政に対する意見は年々多様化・複雑化してきております。地域の特性を活かし、市民が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいくには、その基礎となる市民の皆様の意向や社会情勢の的確な把握・分析が必要です。

こうしたことから、市では、市政全般にわたる考えを広くお聴きするため、無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人の方々を対象に市民意識調査を実施いたしました。この調査結果は、今後の市政運営に反映させていくとともに、現在策定を進めている第6次行田市総合振興計画の基礎資料として活用してまいりたいと考えております。

今回の調査にご協力をいただいた多くの方々に厚くお礼申し上げますとともに、市政に対するなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

目次

I 調査の概要及び回答者の属性

1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
(4)	本調査結果報告書の留意点	1
2	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	職業	2
(4)	居住年数	3
(5)	居住地区	3
(6)	家族構成	4
(7)	住居形態	4

II 調査結果

1	まちの暮らしやすさについて	5
(1)	まちの住み心地	5
(2)	住みよい理由	8
(3)	住みにくい理由	11
(4)	今後の居留意向	14
2	市の生活環境や施設の満足度について	17
(1)	道路・交通の満足度	17
(2)	生活環境の満足度	20
(3)	教育・文化・コミュニティの満足度	24
(4)	保健・医療・福祉の満足度	27
3	今後のまちづくりについて	30
(1)	行政が特に力を入れてほしい施策	30
(2)	行田市の将来像	34
4	地域との関わりについて	36
(1)	地域活動への参加	36
(2)	参加したい地域活動	39
(3)	ボランティア活動への参加状況	41
(4)	参加しているボランティア活動	43
(5)	参加したいが機会がない理由	44
(6)	福祉活動への関心	45
(7)	地域住民の支え合いの必要性	48
(8)	近隣との付き合い	51
5	少子・高齢化への対応について	53

(1) 少子化社会に対応するために重要なこと	53
(2) 高齢化社会に対応するために重要なこと	55
6 施設・都市機能について	57
(1) 施設や都市機能整備のありかた	57
(2) 市の環境	59
(3) 環境保全・改善のために強化すべき活動	62
(4) 市のごみ収集体制	64
(5) 収集回数を増やしたほうがよいごみ	66
(6) 収集回数を減らしたほうがよいごみ	67
7 健康について	68
(1) 自分が健康だと思うか	68
(2) どのくらい体を動かしているか	70
(3) 食育への取組	71
(4) 健康診断や検査の受診	73
(5) 定期的な歯科検診	81
(6) 健康増進や健康寿命の延伸のために必要な施策	82
(7) こころの健康づくりや自殺予防	84
8 景観について	86
(1) 魅力ある景観づくりに重要なこと	86
9 産業振興について	88
(1) 商業や産業の振興に重要なこと	88
10 公園の管理について	90
(1) 地域の公園の望ましい維持管理体制	90
11 市の情報について	91
(1) 市政情報の入手元	91
(2) 詳しく知りたい市の情報	93
12 市内循環バス、デマンドタクシーについて	95
(1) 市内循環バスの利用状況	95
(2) 市内循環バスの利用目的	97
(3) 電車乗り継ぎの利用目的	98
(4) 市内循環バスの今後の利用条件	100
(5) デマンドタクシーについて	102
(6) デマンドタクシーの検討すべき点	104
13 国際交流について	106
(1) 望ましい国際交流の促進方法	106
14 市の教育方針について	108
(1) 力を入れるべき教育	108
15 防災体制について	110
(1) 防災体制として重要なこと	110
(2) 自身や家庭での防災対策の状況	112
(3) 防災対策の取り組みの内容	113
(4) 防災対策に取り組んでいない理由	115
(5) 街頭防犯カメラの設置への意見	117

16	ものづくり大学について.....	120
	（1）ものづくり大学施設の見学・利用状況.....	120
	（2）ものづくり大学に期待すること.....	122
17	市民の通勤、買い物などの行き先について.....	124
	（1）市民の通勤・通学、買い物などの主な行き先.....	124
18	インターネットの利用について.....	126
	（1）インターネットが利用できる環境.....	126
19	市政や市役所について.....	127
	（1）行政への信頼度.....	127
	（2）各施策の実行能力.....	129
	（3）市役所の利用しやすさ.....	131
	（4）窓口の対応.....	132
	（5）市民の声を反映しやすくするために必要なこと.....	133
	（6）市政への参加.....	134
	（7）今後の行政運営について望ましいと思う方向.....	136

Ⅲ 自由回答一覧

1	記入状況.....	139
	（1）性・年齢別意見記述者数.....	139
	（2）分野別意見数.....	139
2	分野別意見一覧.....	140
	（1）保健・医療・福祉分野.....	140
	（2）都市基盤分野.....	140
	（3）環境分野.....	141
	（4）産業・経済・観光分野.....	142
	（5）危機管理分野.....	142
	（6）教育・文化・芸術分野など.....	142
	（7）コミュニティ分野.....	143
	（8）行財政分野.....	143
	（9）その他.....	144

Ⅳ 調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、まちづくりに取り組む上で、市民が市政に対してどのような意識をもっているか市政全般にわたる考えを広く聞き、その意向を行政に反映させることを目的に実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内在住の18歳以上の方
標本数	3,000人(無作為抽出)
調査方法	郵送による配布・回収(郵送法)
調査時期	令和元年7月25日～8月9日
調査地域	市内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	3,000
有効回収数	1,560
有効回収率	52.0%

(4) 本調査結果報告書の留意点

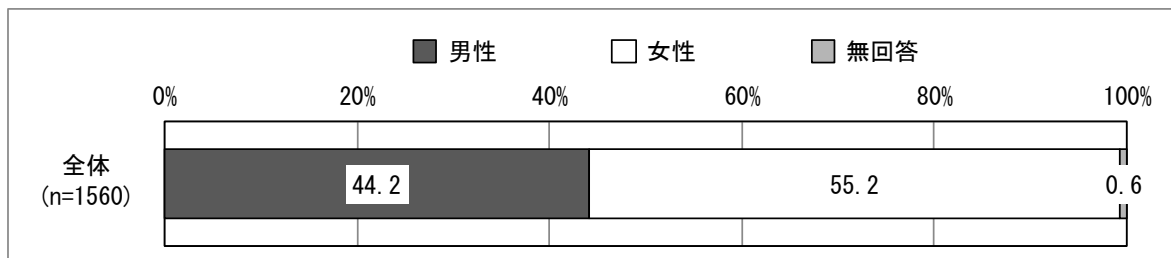
本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- ・比率は百分率(単位:%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出した。
- ・質問の終わりに【複数回答】とある問いは、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問いのため、各回答のn比率は100%を超える場合がある。
- ・問いの中には「～に○と答えた方にお尋ねします。」などいろいろな制限があり、回答者の数が少ない問いが含まれる。また、クロス分析においても項目によっては回答者数が少なく、有意性が低いものもある。
- ・文中や図表の文言について、選択肢の一部を省略している。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。

2 回答者の属性

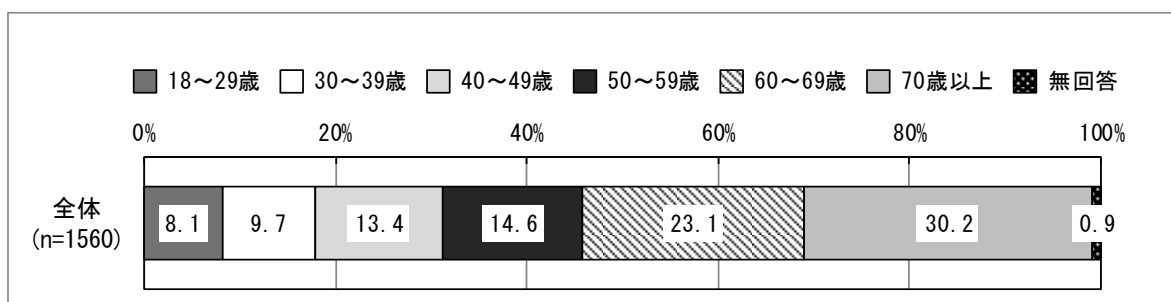
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が55.2%、「男性」が44.2%となっている。



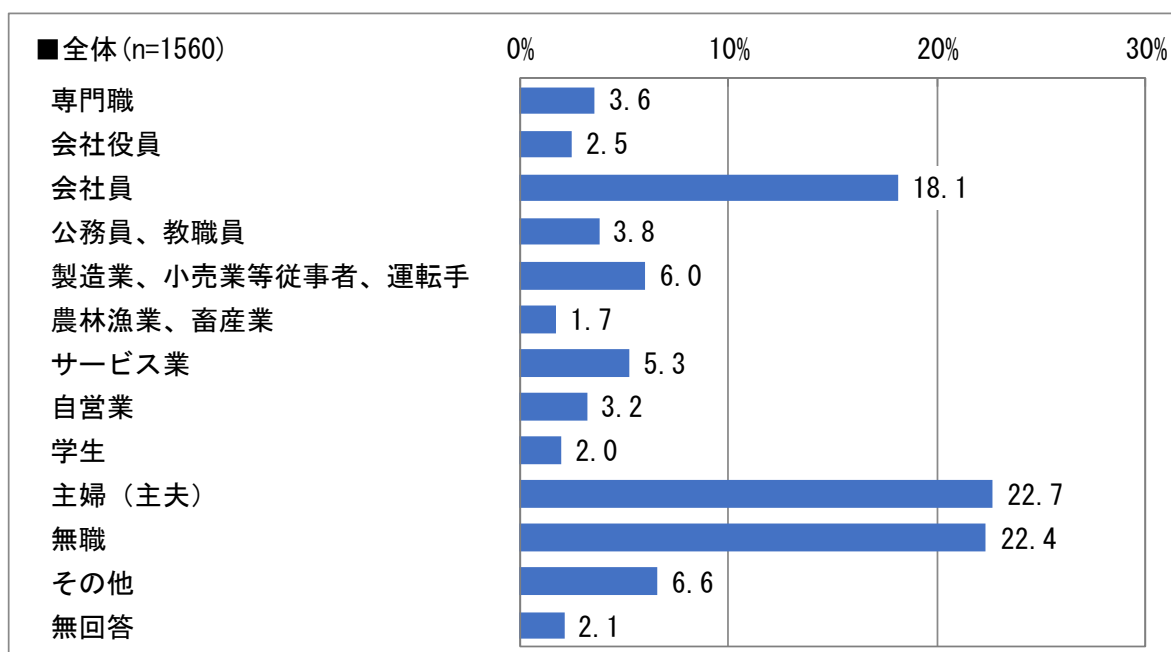
(2) 年齢

年齢は、「70歳以上」が30.2%で最も多く、次いで「60～69歳」(23.1%)、「50～59歳」(14.6%)、「40～49歳」(13.4%)、「30～39歳」(9.7%)、「18～29歳」(8.1%)の順となっている。



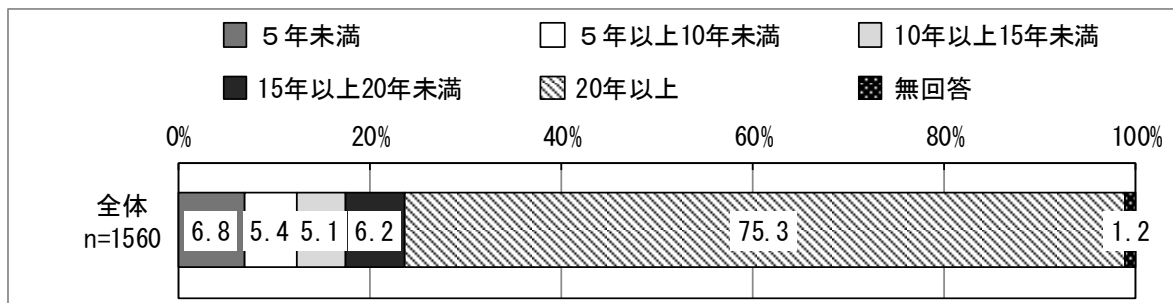
(3) 職業

職業は、「主婦(主夫)」が22.7%で最も多く、次いで「無職」(22.4%)、「会社員」(18.1%)、「製造業、小売業等従事者、運転手」(6.0%)などの順となっている。



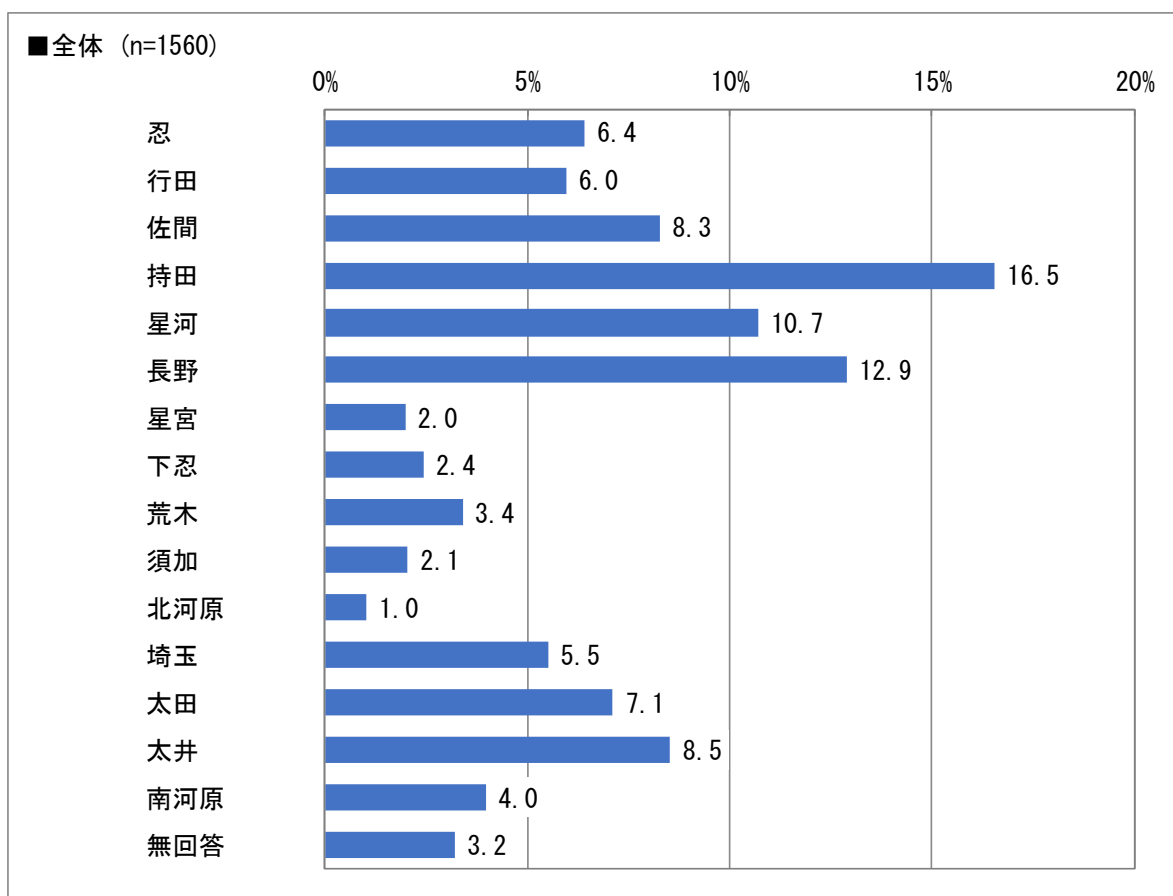
(4) 居住年数

居住年数は、「20年以上」が75.3%で最も多く、次いで「5年未満」(6.8%)、「15年以上20年未満」(6.2%)、「5年以上10年未満」(5.4%)、「10年以上15年未満」(5.1%)の順となっている。



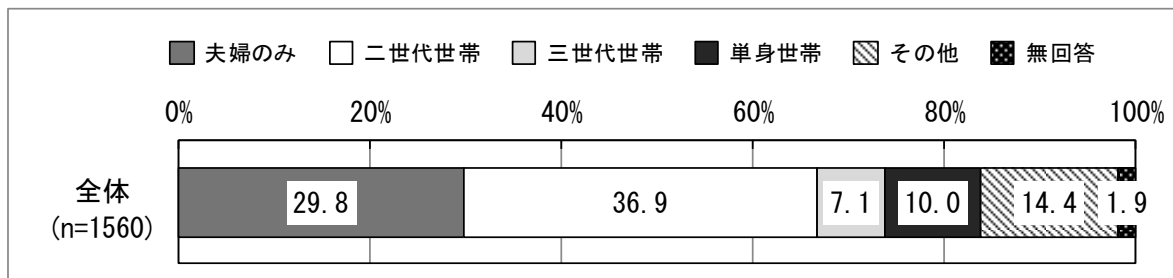
(5) 居住地区

居住地区は、「持田」(16.5%)が最も多く、次いで「長野」(12.9%)、「星河」(10.7%)、「太井」(8.5%)、「佐間」(8.3%)、「太田」(7.1%)、「忍」(6.4%)、「行田」(6.0%)、「埼玉」(5.5%)、「南河原」(4.0%)、「荒木」(3.4%)、「下忍」(2.4%)、「須加」(2.1%)、「星宮」(2.0%)、「北河原」(1.0%)の順となっている。



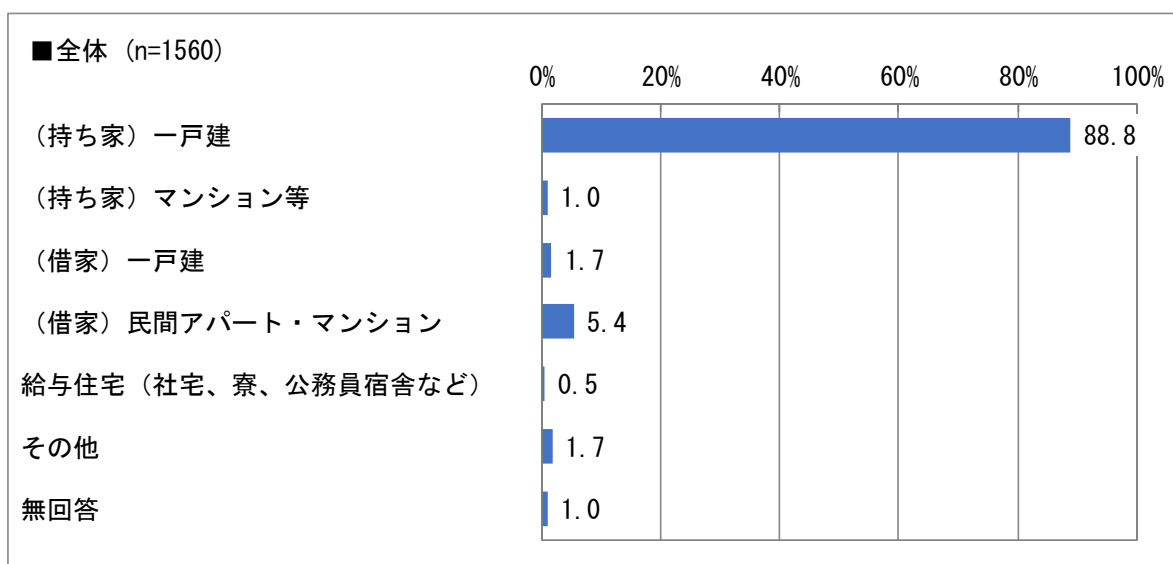
(6) 家族構成

家族構成は、「二世世代世帯」(36.9%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(29.8%)、「単身世帯」(10.0%)、「三世世代世帯」(7.1%)の順となっている。



(7) 住居形態

住居形態は、「(持ち家) 一戸建」が9割近くを占めている。



Ⅱ 調 査 結 果

1 まちの暮らしやすさについて

(1) まちの住み心地

問1 行田市の住み心地についてお尋ねします。

(1) 行田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つに○を付けてください。

■ “住みよい” が 47.1%、「ふつう」が 36.2%、“住みにくい” は 15.1%。

まちの住み心地については、「ふつう」が 36.2%で最も多い。次いで「どちらかといえば住みよい」が 28.8%で続き、これに「住みよい」(18.3%)を合わせた“住みよい”が 47.1%と半数弱を占める。一方、「どちらかといえば住みにくい」(12.2%)及び「住みにくい」(2.9%)を合わせた“住みにくい”は 15.1%となっており、“住みよい”が“住みにくい”の約 3.1倍となっている。

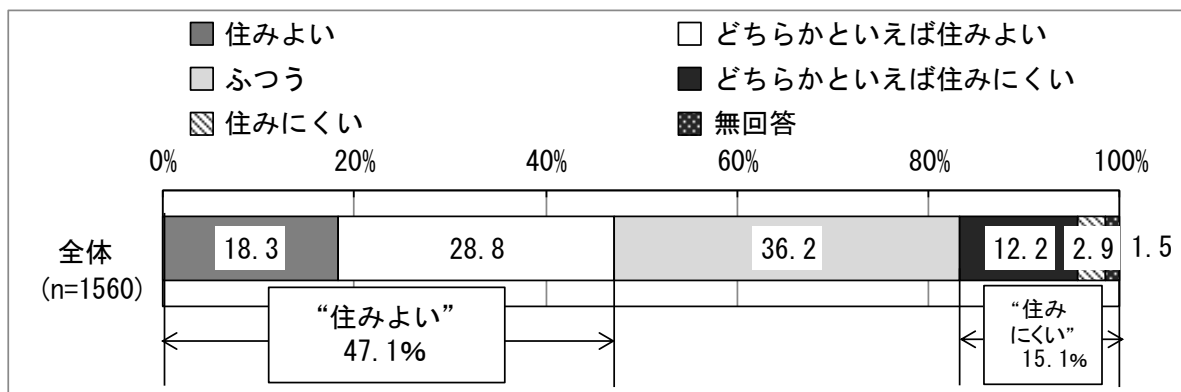
性別でみると、男女ともに“住みよい”がほぼ半数を占める。

年齢別でみると、すべての層で“住みよい”が半数前後を占め、30～39歳で 51.7%と最も多くなっている。

居住年数別でみると、すべての層で“住みよい”が半数前後を占め、5年未満で最も多くなっている。

居住地区別でみると、忍、行田、佐間、持田、星河で“住みよい”が半数を超える一方、星宮、下忍、荒木、北河原、埼玉、南河原で4割を下回る。また、“住みにくい”は星宮で 29.0%と最も多くなっている。

まちの住み心地（全体）



まちの住み心地（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：％）

	n	“住みよい”		ふつう	“住みにくい”		無回答	
		住みよい	どちらか といえば 住みよい		どちらか といえば 住みにくい	住みにくい		
全体	1560	47.1		36.2	15.1		1.5	
		18.3	28.8		12.2	2.9		
性別	男性	689	48.6		34.4	16.0		1.0
			19.7	28.9		12.5	3.5	
	女性	861	46.2		37.6	14.6		1.5
		17.2	29.0	12.1		2.6		
	無回答	10	30.0		30.0	10.0		30.0
			20.0	10.0		10.0	0.0	
年齢	18～29 歳	127	47.2		33.1	19.7		0.0
			21.3	26.0		16.5	3.1	
	30～39 歳	151	51.7		34.4	13.9		0.0
			21.2	30.5		11.9	2.0	
	40～49 歳	209	47.4		35.4	16.7		0.5
			14.8	32.5		13.4	3.3	
	50～59 歳	228	46.9		35.1	18.0		0.0
			14.9	32.0		13.6	4.4	
60～69 歳	360	45.3		37.8	16.4		0.6	
		15.0	30.3		13.9	2.5		
70 歳以上	471	48.2		37.6	11.9		2.3	
		22.7	25.5		9.1	2.8		
	無回答	14	14.3		21.4	0.0		64.3
			7.1	7.1		0.0	0.0	
居住年数	5年未満	106	53.8		36.8	9.4		0.0
			22.6	31.1		8.5	0.9	
	5年以上 10 年未満	85	44.7		31.8	23.5		0.0
			14.1	30.6		16.5	7.1	
	10 年以上 15 年未満	80	43.8		41.3	15.0		0.0
			11.3	32.5		13.8	1.3	
	15 年以上 20 年未満	96	53.1		26.0	18.8		2.1
		22.9	30.2	17.7		1.0		
20 年以上	1175	46.8		37.2	14.9		1.1	
		18.4	28.4		11.7	3.1		
	無回答	18	27.8		16.7	11.1		44.4
			16.7	11.1		11.1	0.0	

まちの住み心地（全体、居住地区）

（単位：％）

	n	“住みよい”		ふつう	“住みにくい”		無回答
		住みよい	どちらか といえば 住みよい		どちらか といえば 住みにくい	住みにくい	
全体	1560	47.1		36.2	15.1		1.5
		18.3	28.8		12.2	2.9	
居住地区	忍	56.0		27.0	16.0		1.0
		20.0	36.0		12.0	4.0	
	行田	53.8		36.6	9.7		0.0
		30.1	23.7		5.4	4.3	
	佐間	53.5		35.7	10.9		0.0
		18.6	34.9		7.8	3.1	
	持田	51.9		34.1	11.2		2.7
		20.5	31.4		9.7	1.6	
	星河	50.3		33.5	14.4		1.8
		18.6	31.7		12.0	2.4	
	長野	44.8		38.3	16.9		0.0
		18.4	26.4		14.9	2.0	
	星宮	38.7		32.3	29.0		0.0
		12.9	25.8		25.8	3.2	
	下忍	39.5		47.4	13.2		0.0
		7.9	31.6		10.5	2.6	
	荒木	37.7		41.5	20.8		0.0
		13.2	24.5		13.2	7.5	
	須加	46.9		31.3	18.8		3.1
		12.5	34.4		15.6	3.1	
北河原	25.0		50.0	25.0		0.0	
	12.5	12.5		18.8	6.3		
埼玉	36.0		41.9	22.1		0.0	
	12.8	23.3		17.4	4.7		
太田	44.1		30.6	24.3		0.9	
	14.4	29.7		18.9	5.4		
太井	48.9		43.6	6.8		0.8	
	24.1	24.8		6.0	0.8		
南河原	35.5		37.1	25.8		1.6	
	12.9	22.6		21.0	4.8		
無回答	40.0		34.0	10.0		16.0	
	12.0	28.0		10.0	0.0		

(2) 住みよい理由

問1 行田市の住み心地についてお尋ねします。

(2) 【(1)で「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」と答えた方にお尋ねします】
住みやすい理由を、次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

■住みよい理由は「住み慣れている」が第1位。次いで「自然環境がよい」、
「公害が少ない」、「買い物の便がよい」、「人間関係がよい」の順。

まちの住み心地で“住みよい”と回答した人(736人)にその理由を尋ねたところ、「住み慣れている」が73.1%で他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「自然環境がよい」(35.9%)、「公害が少ない」(31.7%)、「買い物の便がよい」(30.6%)、「人間関係がよい」(28.5%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「住み慣れている」が第1位に挙げられ、次いで「自然環境がよい」が続く。

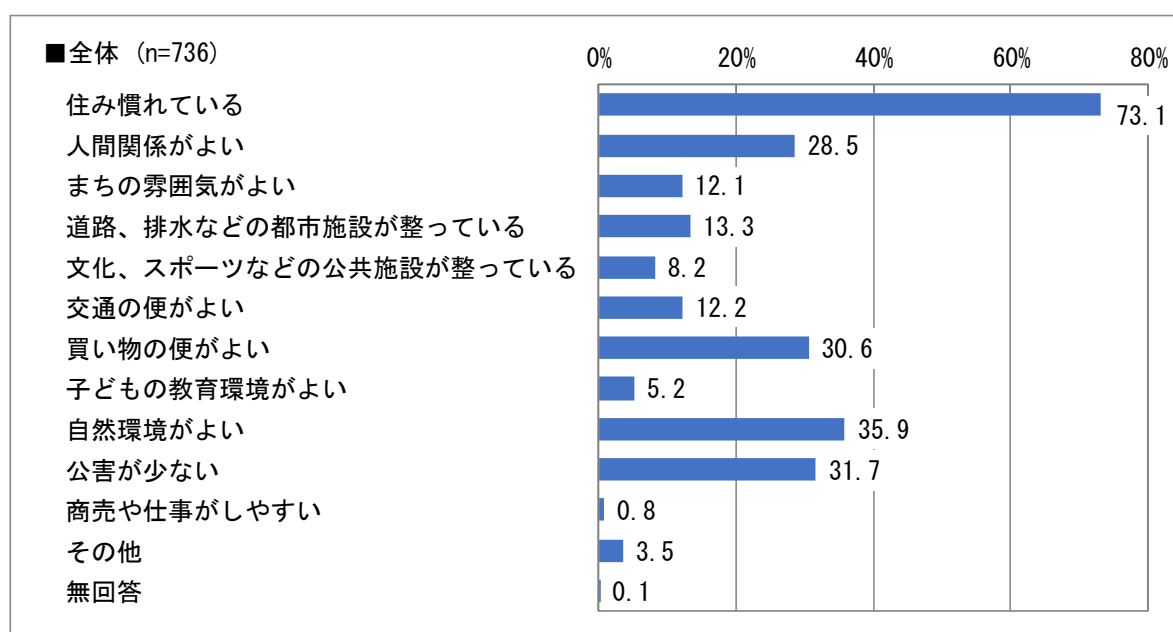
年齢別でみると、すべての層で「住み慣れている」が第1位に挙げられている。また、18～29歳では「公害が少ない」(33.3%)、30～39歳、50～59歳及び60～69歳では「自然環境がよい」(それぞれ34.6%、43.0%、47.9%)、40～49歳では「公害が少ない」及び「買い物の便がよい」(同率33.3%)、70歳以上では「人間関係がよい」(37.4%)と回答する割合が比較的多い。

居住年数別でみると、5年未満の層を除くすべての層で「住み慣れている」が第1位に挙げられている。5年未満では「買い物の便がよい」(42.1%)が第1位となっている。

居住地区別でみると、すべての地区で「住み慣れている」が第1位に挙げられている。また、埼玉と荒木では「自然環境がよい」(それぞれ77.4%、70.0%)、さらに荒木で「人間関係がよい」(55.0%)、南河原では、「公害が少ない」(54.5%)、と回答する割合が比較的多い。

佐間、持田、星宮、太井では「買い物の便がよい」と回答する割合が約40%と多い。

住みよい理由 (全体/複数回答)



住みよい理由（全体、性別、年齢、居住年数／複数回答）

（単位：％）

		n	住み慣れている	人間関係がよい	まちなりの雰囲気	道路、排水などの都市施設が整っている	文化、スポーツなどの公共施設が整っている	交通の便がよい	買い物の便がよい
全体		736	73.1	28.5	12.1	13.3	8.2	12.2	30.6
性別	男性	335	71.0	30.1	13.4	15.8	9.6	11.0	30.4
	女性	398	74.6	27.4	11.1	11.3	7.0	12.8	30.9
	無回答	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
年齢	18～29歳	60	76.7	13.3	30.0	10.0	5.0	16.7	30.0
	30～39歳	78	74.4	23.1	25.6	5.1	3.8	5.1	28.2
	40～49歳	99	63.6	27.3	13.1	5.1	10.1	13.1	33.3
	50～59歳	107	76.6	16.8	13.1	9.3	10.3	12.1	25.2
	60～69歳	163	76.7	32.5	7.4	12.9	8.6	8.0	31.3
	70歳以上	227	71.8	37.4	5.3	22.9	8.4	16.3	32.6
	無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	57	35.1	22.8	29.8	5.3	14.0	15.8	42.1
	5年以上 10年未満	38	55.3	36.8	21.1	10.5	5.3	15.8	44.7
	10年以上 15年未満	35	65.7	17.1	11.4	20.0	8.6	11.4	37.1
	15年以上 20年未満	51	68.6	19.6	15.7	9.8	7.8	13.7	23.5
	20年以上	550	79.1	30.4	9.1	14.4	7.6	11.6	28.9
	無回答	5	80.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0

		n	子どもの環境がよい	自然環境がよい	公害が少ない	商売や仕事がしやすい	その他	無回答
全体		736	5.2	35.9	31.7	0.8	3.5	0.1
性別	男性	335	3.9	35.5	28.7	0.6	3.3	0.0
	女性	398	6.3	36.2	34.4	1.0	3.8	0.3
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18～29歳	60	3.3	25.0	33.3	3.3	3.3	0.0
	30～39歳	78	10.3	34.6	29.5	0.0	5.1	0.0
	40～49歳	99	12.1	23.2	33.3	1.0	4.0	0.0
	50～59歳	107	7.5	43.0	21.5	1.9	3.7	0.9
	60～69歳	163	2.5	47.9	41.7	0.6	5.5	0.0
	70歳以上	227	1.3	32.6	29.1	0.0	1.3	0.0
	無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	57	12.3	40.4	24.6	1.8	3.5	0.0
	5年以上 10年未満	38	13.2	31.6	31.6	2.6	0.0	0.0
	10年以上 15年未満	35	8.6	45.7	37.1	0.0	0.0	0.0
	15年以上 20年未満	51	9.8	27.5	31.4	2.0	2.0	0.0
	20年以上	550	3.3	36.2	32.2	0.5	4.2	0.0
	無回答	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0

住みよい理由（全体、居住地区／複数回答）

（単位：％）

		n	住み慣れている	人間関係がよい	まちの雰囲気がい	道路、排水などの都市施設が整っている	文化、スポーツなどの公共施設が整っている	交通の便がよい	買い物の便がよい
全体		736	73.1	28.5	12.1	13.3	8.2	12.2	30.6
居住地区	忍	56	80.4	28.6	10.7	19.6	10.7	10.7	16.1
	行田	50	78.0	22.0	14.0	14.0	6.0	14.0	26.0
	佐間	69	75.4	23.2	11.6	23.2	11.6	10.1	43.5
	持田	134	63.4	29.9	9.7	11.9	9.7	20.9	46.3
	星河	84	78.6	28.6	14.3	13.1	10.7	9.5	25.0
	長野	90	68.9	31.1	13.3	13.3	4.4	8.9	33.3
	星宮	12	66.7	25.0	0.0	8.3	8.3	16.7	41.7
	下忍	15	60.0	40.0	13.3	0.0	6.7	20.0	20.0
	荒木	20	85.0	55.0	20.0	5.0	0.0	0.0	10.0
	須加	15	80.0	40.0	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7
	北河原	4	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埼玉	31	83.9	38.7	9.7	3.2	3.2	0.0	3.2
	太田	49	83.7	30.6	10.2	6.1	4.1	6.1	26.5
	太井	65	64.6	20.0	13.8	20.0	9.2	20.0	40.0
	南河原	22	72.7	27.3	9.1	4.5	18.2	9.1	9.1
無回答	20	70.0	10.0	20.0	20.0	10.0	15.0	35.0	

		n	子どもがよい環境がよい教育	自然環境がよい	公害が少ない	商売や仕事がしやすい	その他	無回答
全体		736	5.2	35.9	31.7	0.8	3.5	0.1
居住地区	忍	56	5.4	28.6	32.1	1.8	0.0	0.0
	行田	50	10.0	26.0	26.0	2.0	4.0	0.0
	佐間	69	5.8	36.2	27.5	0.0	4.3	0.0
	持田	134	3.0	23.9	37.3	1.5	3.0	0.0
	星河	84	4.8	39.3	31.0	0.0	10.7	0.0
	長野	90	1.1	35.6	34.4	0.0	2.2	1.1
	星宮	12	8.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	下忍	15	13.3	53.3	20.0	0.0	6.7	0.0
	荒木	20	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	須加	15	6.7	53.3	26.7	0.0	6.7	0.0
	北河原	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	埼玉	31	0.0	77.4	32.3	0.0	3.2	0.0
	太田	49	8.2	40.8	20.4	0.0	2.0	0.0
	太井	65	9.2	24.6	32.3	1.5	1.5	0.0
	南河原	22	9.1	50.0	54.5	4.5	4.5	0.0
無回答	20	5.0	20.0	35.0	0.0	0.0	0.0	

(3) 住みにくい理由

問1 行田市の住み心地についてお尋ねします。

(3) 【(1)で「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」と答えた方にお尋ねします】住みにくい理由を、次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】



■住みにくい理由は「交通の便がわるい」が第1位。次いで「買い物の便がわるい」、「道路、排水などの都市施設が整っていない」の順。

まちの住み心地で“住みにくい”と回答した人(237人)にその理由を尋ねたところ、「交通の便がわるい」が80.2%で第1位に挙げられ、次いで「買い物の便がわるい」(64.1%)、「道路、排水などの都市施設が整っていない」(30.0%)などの順となっている。

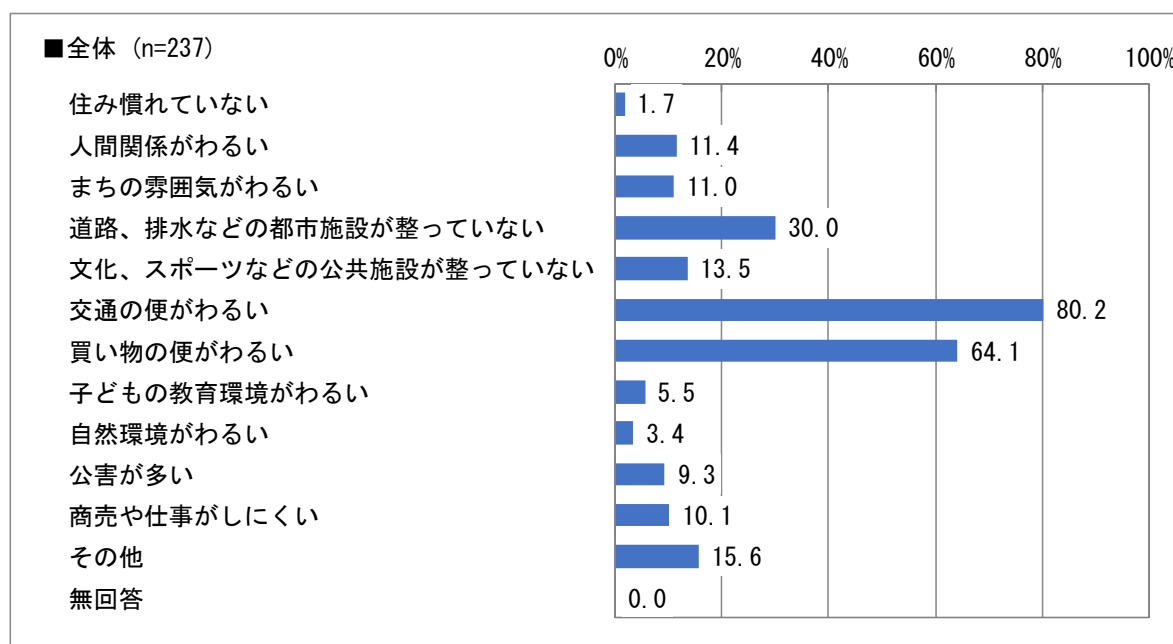
性別でみると、男女ともに「交通の便がわるい」が第1位に挙げられ、次いで「買い物の便がわるい」が続く。

年齢別でみると、すべての層で「交通の便がわるい」が第1位に挙げられている。

居住年数別でみると、ほとんどの層で「交通の便がわるい」が第1位に挙げられ、次いで「買い物の便がわるい」が続く。5年未満では「交通の便がわるい」及び「買い物の便がわるい」が同率で第1位となっている。

居住地区別でみると、ほとんどの地区で「交通の便がわるい」が第1位に挙げられ、佐間では「買い物の便がわるい」(50.0%)も同率で第1位となっている。また、須加及び南河原では「買い物の便がわるい」(それぞれ100.0%、87.5%)が第1位に挙げられている。太井では「文化、スポーツなどの公共施設が整っていない」(33.3%)、星河、埼玉、太田では「道路、排水などの都市施設が整っていない」(それぞれ41.7%、47.4%、44.4%)と回答する割合が多い。

住みにくい理由(全体/複数回答)



住みにくい理由（全体、性別、年齢、居住年数／複数回答）

（単位：％）

		n	住み慣れていない	人間関係がわるい	まちなぎの雰囲気がわるい	道路施設が整っていない （排水など）	公共施設が整っていない （スポーツなど）	交通の便がわるい	買い物の便がわるい
全体		736	1.7	11.4	11.0	30.0	13.5	80.2	64.1
性別	男性	335	0.9	10.0	10.9	39.1	11.8	80.0	68.2
	女性	398	2.4	12.7	11.1	22.2	15.1	80.2	61.1
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	18～29歳	60	4.0	12.0	4.0	32.0	20.0	76.0	60.0
	30～39歳	78	9.5	14.3	14.3	28.6	9.5	71.4	61.9
	40～49歳	99	0.0	2.9	5.7	25.7	11.4	82.9	57.1
	50～59歳	107	0.0	4.9	7.3	31.7	12.2	85.4	65.9
	60～69歳	163	1.7	6.8	10.2	39.0	20.3	83.1	66.1
	70歳以上	227	0.0	25.0	19.6	21.4	7.1	76.8	67.9
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	57	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0	50.0	50.0
	5年以上 10年未満	38	5.0	15.0	15.0	10.0	5.0	85.0	70.0
	10年以上 15年未満	35	0.0	16.7	0.0	41.7	16.7	83.3	58.3
	15年以上 20年未満	51	0.0	22.2	5.6	22.2	16.7	88.9	55.6
	20年以上	550	0.6	9.1	12.0	32.0	14.3	80.0	66.3
	無回答	5	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0

		n	子どもの教育環境がわるい	自然環境がわるい	公害が多い	商売や仕事がしにくい	その他	無回答
全体		736	5.5	3.4	9.3	10.1	15.6	0.0
性別	男性	335	4.5	3.6	9.1	14.5	10.9	0.0
	女性	398	6.3	3.2	9.5	6.3	19.8	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18～29歳	60	4.0	0.0	8.0	16.0	32.0	0.0
	30～39歳	78	9.5	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0
	40～49歳	99	11.4	0.0	8.6	2.9	20.0	0.0
	50～59歳	107	4.9	2.4	12.2	4.9	17.1	0.0
	60～69歳	163	5.1	5.1	6.8	15.3	10.2	0.0
	70歳以上	227	1.8	7.1	8.9	8.9	10.7	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	57	10.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0
	5年以上 10年未満	38	5.0	0.0	0.0	20.0	25.0	0.0
	10年以上 15年未満	35	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0
	15年以上 20年未満	51	11.1	0.0	0.0	5.6	22.2	0.0
	20年以上	550	4.0	4.0	9.7	10.9	13.1	0.0
	無回答	5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

住みにくい理由（全体、居住地区／複数回答）

（単位：％）

		n	住み慣れていない	人間関係がわるい	まちの雰囲気がわるい	道路が整っていない 排水などの都市施設が整っていない	文化、スポーツなどの公共施設が整っていない	交通の便がわるい	買い物の便がわるい
全体		736	1.7	11.4	11.0	30.0	13.5	80.2	64.1
居住地区	忍	56	6.3	25.0	18.8	6.3	12.5	93.8	75.0
	行田	50	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	66.7	55.6
	佐間	69	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	50.0	50.0
	持田	134	3.4	13.8	3.4	20.7	10.3	82.8	48.3
	星河	84	4.2	4.2	16.7	41.7	8.3	75.0	66.7
	長野	90	0.0	8.8	14.7	32.4	20.6	79.4	52.9
	星宮	12	0.0	11.1	33.3	33.3	0.0	77.8	66.7
	下忍	15	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	100.0	80.0
	荒木	20	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	90.9	81.8
	須加	15	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	83.3	100.0
	北河原	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0	75.0
	埼玉	31	0.0	10.5	0.0	47.4	26.3	94.7	63.2
	太田	49	0.0	7.4	0.0	44.4	14.8	85.2	74.1
	太井	65	0.0	11.1	22.2	22.2	33.3	55.6	44.4
	南河原	22	6.3	12.5	12.5	37.5	6.3	75.0	87.5
無回答	20	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	80.0	40.0	

		n	子どもの教育環境がわるい	自然環境がわるい	公害が多い	商売や仕事にしにくい	その他	無回答
全体		736	5.5	3.4	9.3	10.1	15.6	0.0
居住地区	忍	56	0.0	0.0	6.3	0.0	25.0	0.0
	行田	50	0.0	11.1	0.0	11.1	44.4	0.0
	佐間	69	7.1	0.0	28.6	7.1	21.4	0.0
	持田	134	3.4	6.9	13.8	10.3	10.3	0.0
	星河	84	0.0	0.0	8.3	12.5	20.8	0.0
	長野	90	11.8	2.9	2.9	11.8	17.6	0.0
	星宮	12	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	下忍	15	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	荒木	20	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0
	須加	15	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	北河原	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	埼玉	31	10.5	0.0	15.8	5.3	10.5	0.0
	太田	49	7.4	11.1	7.4	0.0	11.1	0.0
	太井	65	11.1	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0
	南河原	22	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
無回答	20	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	

(4) 今後の居留意向

問2 今後も行田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

■ “住み続けたい” が 77.4%と 7割を超え、“転出したい” は 5.4%。

今後の居留意向は、「一生住み続けたい」が48.0%で最も多く、これに「ある程度住み続けたい」(29.4%)を合わせた“住み続けたい”が77.4%と7割を超える。一方、「転出したい」は5.4%にとどまる。なお、「どちらともいえない」は15.2%であった。

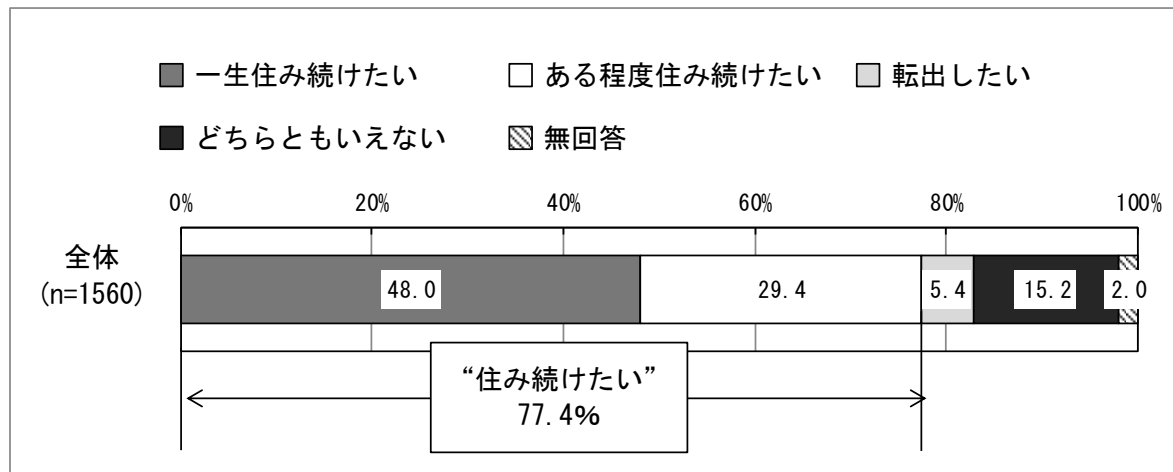
性別でみると、男女ともに7割以上が“住み続けたい”と回答している。

年齢別でみると、30歳以上で“住み続けたい”と回答する割合が7割を超えており、70歳以上では86.0%と8割以上を占める。一方、最も少ない18～29歳でも61.4%と6割を超える。また、「転出したい」は、最も多い18～29歳で15.7%となっている。

居住年数別でみると、“住み続けたい”は5年未満(80.2%)で最も多くなっている。それに対し、「転出したい」と回答した割合は、5年以上10年未満で9.4%と最も多くなっている。

居住地区別でみると、“住み続けたい”は、行田(83.9%)、佐間(84.5%)、星河(81.4%)で8割台となっている一方、北河原では68.8%と最も少なくなっている。また、星宮で「転出したい」と回答した割合が9.7%と最も多くなっている。

今後の居留意向 (全体)



今後の居住意向（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：％）

	n	“住み続けたい”		転出したい	どちらとも いえない	無回答	
		一生住み 続けたい	ある程度 住み続けたい				
全体	1560	77.4		5.4	15.2	2.0	
		48.0	29.4				
性別	男性	689	78.8		5.4	13.9	1.9
			50.5	28.3			
	女性	861	76.5		5.6	16.1	1.7
		46.0	30.5				
無回答	10	50.0		0.0	20.0	30.0	
		50.0	0.0				
年齢	18～29 歳	127	61.4		15.7	22.0	0.8
			14.2	47.2			
	30～39 歳	151	74.2		8.6	16.6	0.7
			27.2	47.0			
	40～49 歳	209	76.1		5.3	16.7	1.9
			37.3	38.8			
	50～59 歳	228	73.2		4.8	21.9	0.0
			37.7	35.5			
	60～69 歳	360	78.1		4.2	15.8	1.9
			54.4	23.6			
	70 歳以上	471	86.0		3.2	8.9	1.9
			69.4	16.6			
	無回答	14	35.7		0.0	0.0	64.3
			21.4	14.3			
居住年数	5年未満	106	80.2		5.7	13.2	0.9
			35.8	44.3			
	5年以上 10年未満	85	67.1		9.4	21.2	2.4
			24.7	42.4			
	10年以上 15年未満	80	80.0		2.5	16.3	1.3
			38.8	41.3			
	15年以上 20年未満	96	78.1		7.3	14.6	0.0
			32.3	45.8			
	20年以上	1175	78.1		5.3	15.0	1.6
			53.1	25.0			
無回答	18	44.4		0.0	11.1	44.4	
		22.2	22.2				

今後の居住意向（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：％）

	n	“住み続けたい”		転出したい	どちらとも いえない	無回答
		一生住み 続けたい	ある程度 住み続けたい			
全体	1560	77.4		5.4	15.2	2.0
		48.0	29.4			
居住地区	忍	77.0		4.0	18.0	1.0
		46.0	31.0			
	行田	83.9		2.2	12.9	1.1
		43.0	40.9			
	佐間	84.5		3.1	12.4	0.0
		47.3	37.2			
	持田	77.9		6.2	14.7	1.2
		44.2	33.7			
	星河	81.4		6.0	10.2	2.4
		53.9	27.5			
	長野	75.1		4.0	17.4	3.5
		51.2	23.9			
	星宮	74.2		9.7	12.9	3.2
		54.8	19.4			
	下忍	73.7		7.9	18.4	0.0
		44.7	28.9			
	荒木	71.7		7.5	20.8	0.0
		47.2	24.5			
	須加	71.9		6.3	18.8	3.1
		50.0	21.9			
	北河原	68.8		6.3	25.0	0.0
		37.5	31.3			
	埼玉	75.6		9.3	14.0	1.2
		52.3	23.3			
	太田	78.4		6.3	13.5	1.8
		57.7	20.7			
	太井	79.7		6.0	14.3	0.0
		45.9	33.8			
南河原	74.2		3.2	19.4	3.2	
	48.4	25.8				
無回答	56.0		6.0	22.0	16.0	
	28.0	28.0				

2 市の生活環境や施設の満足度について

(1) 道路・交通の満足度

問3 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

(1) 道路・交通



■ “不満”は『②バスの便と路線網について』『③鉄道の便について』が多い。

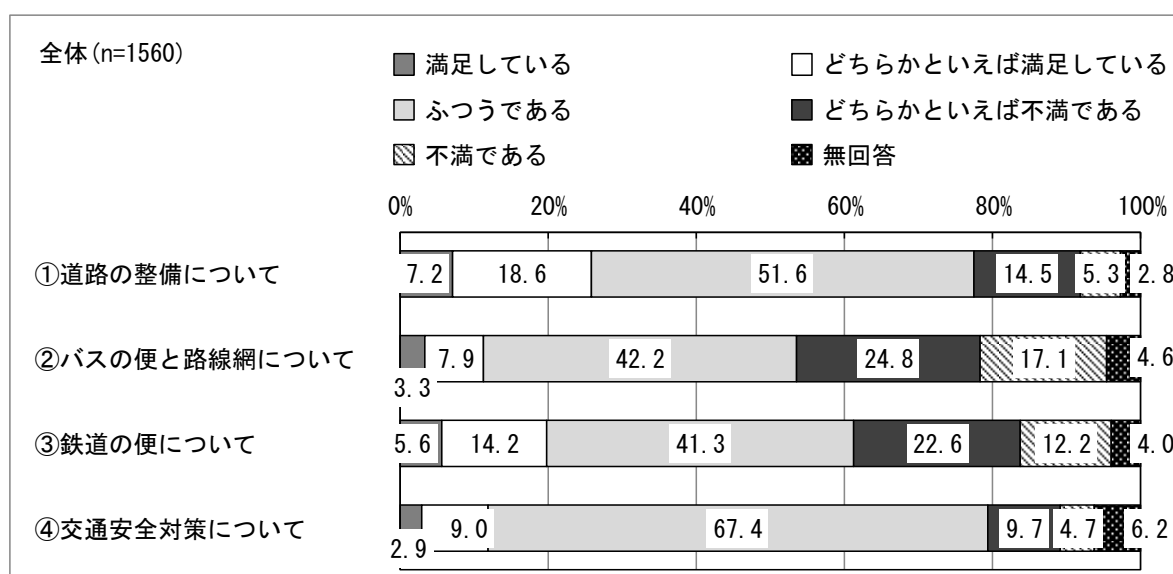
道路・交通の満足度について尋ねたところ、“満足”（「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の合計）は『①道路の整備について』（25.8%）で最も多く、次いで『③鉄道の便について』（19.9%）が続く。一方、“不満”（「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の合計）は『②バスの便と路線網について』（41.9%）で最も多く、次いで『③鉄道の便について』（34.7%）が続く。

性別で“不満”をみると、男女ともに『②バスの便と路線網について』で最も多く、次いで『③鉄道の便について』が続く。

年齢別で“不満”をみると、すべての層で『②バスの便と路線網について』が最も多くなっている。

居住地区別で“不満”をみると、ほとんどの地区で『③鉄道の便について』及び『②バスの便と路線網について』が上位に挙げられ、特に埼玉では、『②バスの便と路線網について』が67.4%と非常に不満に感じている人が多い結果となっている。

道路・交通の満足度（全体）



道路・交通についての“満足”の割合（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：％）

		n	① 道路 の 整備 につ いて	② バス の 便と 路線 網に ついて	③ 鉄道 の 便に ついて	④ 交通 安全 対策 につ いて
全体		1560	25.8	11.3	19.9	11.9
性別	男性	689	25.8	12.2	21.6	10.2
	女性	861	25.9	10.6	18.5	13.2
	無回答	10	10.0	10.0	20.0	10.0
年齢	18～29 歳	127	28.3	17.3	22.0	17.3
	30～39 歳	151	29.1	9.9	21.2	17.2
	40～49 歳	209	27.3	7.2	20.6	14.4
	50～59 歳	228	28.9	9.6	16.7	8.3
	60～69 歳	360	20.0	9.4	17.5	6.7
	70 歳以上	471	26.3	14.4	22.1	13.2
	無回答	14	21.4	0.0	14.3	14.3
居住 地区	忍	100	30.0	15.0	17.0	12.0
	行田	93	34.4	15.1	29.0	21.5
	佐間	129	34.9	19.4	20.2	10.9
	持田	258	24.4	14.0	28.7	12.8
	星河	167	24.6	10.2	9.6	8.4
	長野	201	26.9	10.4	12.4	12.9
	星宮	31	29.0	9.7	22.6	16.1
	下忍	38	7.9	13.2	31.6	5.3
	荒木	53	7.5	1.9	5.7	3.8
	須加	32	15.6	6.3	3.1	6.3
	北河原	16	6.3	0.0	12.5	6.3
	埼玉	86	19.8	4.7	10.5	9.3
	太田	111	21.6	8.1	11.7	16.2
	太井	133	34.6	11.3	47.4	12.8
	南河原	62	27.4	9.7	12.9	11.3
	無回答	50	22.0	6.0	14.0	8.0

道路・交通についての“不満“の割合（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：％）

		n	① 道路 の 整備 につ いて	② バス の 便と 路線 網に ついて	③ 鉄道 の 便に ついて	④ 交通 安全 対策 につ いて
全体		1560	19.8	41.9	34.7	14.5
性別	男性	689	23.2	39.5	33.7	16.1
	女性	861	17.0	43.6	35.7	13.2
	無回答	10	30.0	60.0	30.0	10.0
	年齢					
18～29 歳		127	24.4	48.8	40.2	14.2
30～39 歳		151	23.8	45.7	41.1	19.2
40～49 歳		209	19.1	51.2	45.9	18.7
50～59 歳		228	21.9	50.4	43.0	14.9
60～69 歳		360	21.9	43.1	32.5	16.9
70 歳以上		471	15.3	29.7	24.4	9.6
無回答		14	7.1	35.7	21.4	0.0
居住 地区	忍	100	17.0	38.0	39.0	13.0
	行田	93	12.9	28.0	30.1	7.5
	佐間	129	18.6	34.1	33.3	14.7
	持田	258	16.7	39.5	20.9	13.2
	星河	167	21.6	43.1	42.5	13.2
	長野	201	16.9	38.8	45.8	15.9
	星宮	31	12.9	38.7	45.2	19.4
	下忍	38	26.3	39.5	26.3	13.2
	荒木	53	34.0	47.2	52.8	22.6
	須加	32	28.1	53.1	59.4	12.5
	北河原	16	12.5	50.0	43.8	12.5
	埼玉	86	32.6	67.4	37.2	23.3
	太田	111	20.7	51.4	41.4	13.5
	太井	133	16.5	37.6	15.8	12.8
	南河原	62	30.6	48.4	38.7	21.0
	無回答		50	16.0	42.0	28.0

(2) 生活環境の満足度

問3 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

(2) 生活環境



■ “不満”は『⑤子どもの遊び場について』及び『⑩日用品などの買い物の便利さについて』で最も多い。

生活環境の満足度について尋ねたところ、“満足”（「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の合計）は『③ごみの収集処理について』（48.8%）で最も多く、次いで『①上水道の整備について』（41.2%）が続いている。なお、この2項目については、“不満”（「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の合計）が1割前後となっており、比較的良好な評価を得ているといえる。『④自然環境及び公園・緑地について』（33.0%）も同様な評価となっている。また、『②下水道の整備について』『⑩日用品などの買い物の便利さについて』については“満足”が約3割みられるものの、“不満”も2割あり、評価が分かれている。

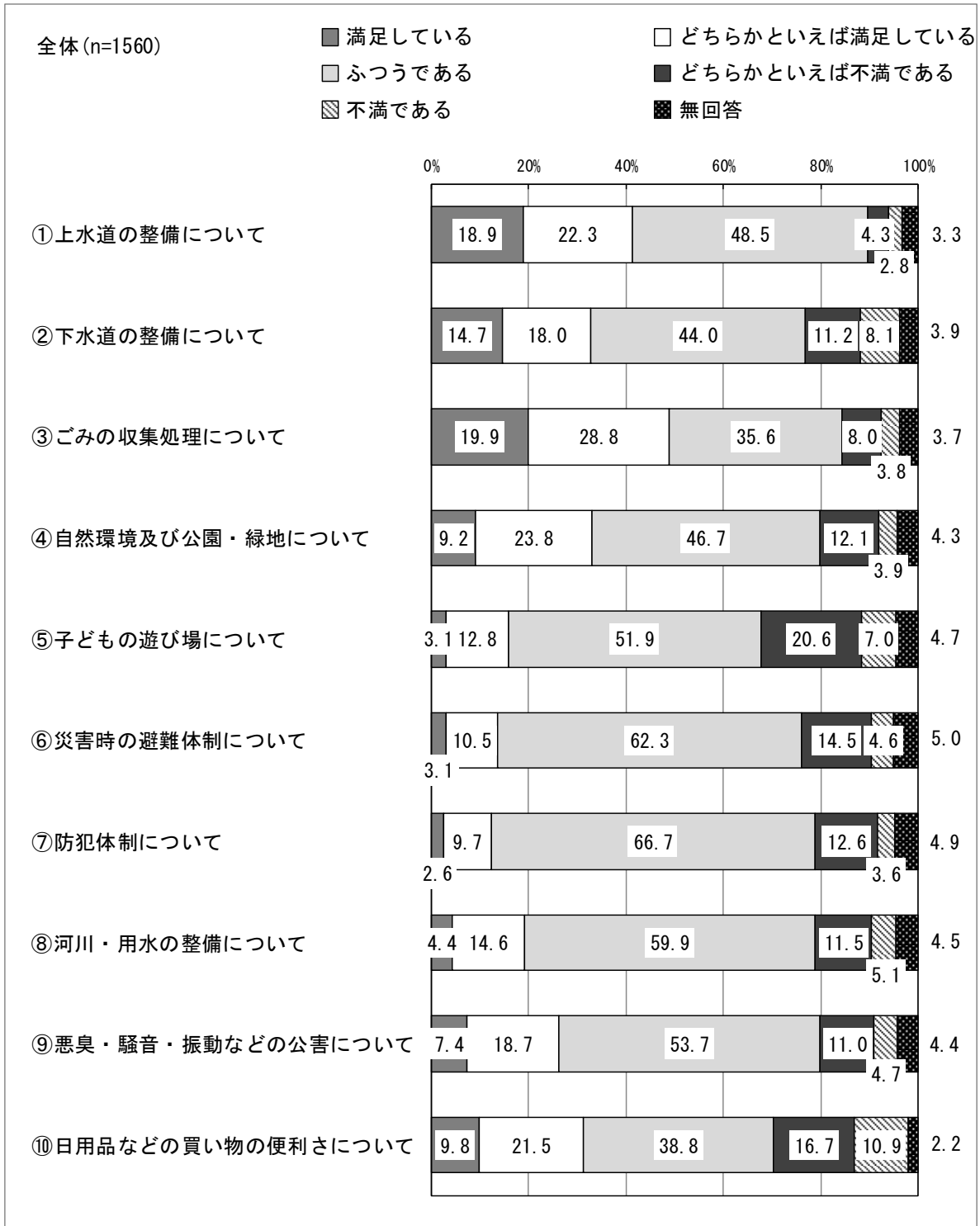
さらに、『⑥災害時の避難体制について』については、“不満”が約2割となっている。一方、“不満”が最も多い項目は、『⑤子どもの遊び場について』及び『⑩日用品などの買い物の便利さについて』（同率27.6%）となっている。

性別で“不満”をみると、男女ともに『⑤子どもの遊び場について』及び『⑩日用品などの買い物の便利さについて』が最も多くなっている。

年齢別で“不満”をみると、18～49歳及び60～69歳で『⑤子どもの遊び場について』が最も多く、50～59歳及び70歳以上では『⑩日用品などの買い物の便利さについて』が最も多くなっている。

居住地区別で“不満”が最も多い項目をみると、佐間、持田、星河、太井では『⑤子どもの遊び場について』、忍、行田、長野、荒木、須加、北河原、太田、南河原では『⑩日用品などの買い物の便利さについて』、下忍では『②下水道の整備について』及び『⑩日用品などの買い物の便利さについて』、星宮、埼玉では『②下水道の整備について』となっている。

生活環境の満足度（全体）



生活環境についての“満足”の割合（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

		n	① 上水道の整備について	② 下水道の整備について	③ ごみの収集処理について	④ 自然環境及び公園・緑地について	⑤ 子どもの遊び場について	⑥ 災害時の避難体制について	⑦ 防犯体制について	⑧ 河川・用水の整備について	⑨ 悪臭・騒音・振動などの公害について	⑩ 日用品などの買い物の便利さについて
全体		1560	41.2	32.8	48.8	33.0	15.8	13.7	12.2	19.0	26.2	31.3
性別	男性	689	44.0	35.3	47.2	33.7	15.7	14.1	12.2	19.7	27.0	28.4
	女性	861	39.0	30.7	50.4	32.5	15.9	13.4	12.2	18.5	25.6	33.8
	無回答	10	40.0	40.0	20.0	30.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	無回答	10	40.0	40.0	20.0	30.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	40.2	33.9	53.5	37.8	27.6	20.5	19.7	32.3	37.0	37.8
	30～39 歳	151	36.4	25.8	41.7	33.8	21.2	17.2	9.9	21.2	33.8	39.1
	40～49 歳	209	39.2	33.0	47.4	34.0	16.7	9.6	11.5	19.1	26.3	37.3
	50～59 歳	228	37.7	27.6	44.3	34.2	17.1	12.7	12.3	16.7	21.5	30.3
	60～69 歳	360	37.5	28.9	47.8	30.8	10.8	13.6	11.9	16.9	23.3	27.5
	70 歳以上	471	48.4	40.3	53.3	32.3	13.8	13.0	11.0	17.2	25.7	27.8
	無回答	14	42.9	21.4	50.0	28.6	14.3	14.3	28.6	28.6	7.1	35.7
居住地区	忍	100	52.0	50.0	51.0	32.0	11.0	13.0	12.0	20.0	25.0	26.0
	行田	93	43.0	41.9	50.5	39.8	32.3	24.7	20.4	25.8	38.7	39.8
	佐間	129	53.5	48.8	58.9	38.8	16.3	16.3	14.7	25.6	25.6	44.2
	持田	258	44.2	36.4	58.1	31.4	14.7	12.4	12.0	12.8	25.2	39.9
	星河	167	46.1	31.7	52.7	35.3	16.8	16.8	13.8	21.0	28.1	24.0
	長野	201	44.8	35.8	51.2	41.3	19.4	12.4	13.9	25.4	29.9	34.3
	星宮	31	22.6	16.1	29.0	41.9	16.1	12.9	9.7	12.9	22.6	19.4
	下忍	38	36.8	23.7	42.1	36.8	13.2	13.2	10.5	10.5	15.8	26.3
	荒木	53	28.3	13.2	30.2	22.6	9.4	13.2	5.7	20.8	15.1	18.9
	須加	32	28.1	15.6	34.4	21.9	12.5	12.5	6.3	21.9	18.8	9.4
	北河原	16	18.8	12.5	25.0	31.3	18.8	18.8	12.5	25.0	12.5	0.0
	埼玉	86	24.4	5.8	29.1	23.3	9.3	10.5	8.1	16.3	23.3	11.6
	太田	111	29.7	18.9	41.4	31.5	18.0	13.5	13.5	15.3	21.6	22.5
	太井	133	45.9	42.9	57.9	30.1	14.3	9.0	8.3	16.5	32.3	51.1
	南河原	62	30.6	19.4	29.0	21.0	9.7	11.3	11.3	16.1	19.4	9.7
無回答	50	38.0	34.0	48.0	28.0	10.0	10.0	10.0	16.0	28.0	38.0	

生活環境についての“不満”の割合（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

		n	① 上水道の整備について	② 下水道の整備について	③ ごみの収集処理について	④ 自然環境及び公園・緑地について	⑤ 子どもの遊び場について	⑥ 災害時の避難体制について	⑦ 防犯体制について	⑧ 河川・用水の整備について	⑨ 悪臭・騒音・振動などの公害について	⑩ 日用品などの買い物の便利さについて
全体		1560	7.1	19.3	11.9	16.0	27.6	19.0	16.2	16.6	15.8	27.6
性別	男性	689	6.8	19.7	12.5	16.7	27.3	20.9	17.3	19.3	15.4	28.9
	女性	861	7.1	18.9	11.4	15.6	28.1	17.3	15.4	14.6	16.1	26.9
	無回答	10	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0
年齢	18～29 歳	127	4.7	10.2	11.0	20.5	32.3	13.4	18.9	15.0	16.5	26.8
	30～39 歳	151	9.3	21.2	24.5	24.5	35.1	14.6	21.2	14.6	17.9	21.9
	40～49 歳	209	8.6	22.0	16.7	19.6	34.4	19.6	17.2	12.0	13.9	22.5
	50～59 歳	228	7.0	23.2	14.9	14.0	23.2	18.0	15.8	16.2	19.7	32.0
	60～69 歳	360	8.1	23.1	10.3	16.7	31.7	21.9	15.8	22.8	17.2	29.7
	70 歳以上	471	5.5	15.3	5.7	11.0	19.7	20.0	14.0	15.5	13.0	29.1
	無回答	14	7.1	14.3	7.1	14.3	35.7	21.4	14.3	7.1	7.1	0.0
居住地区	忍	100	3.0	4.0	6.0	7.0	24.0	16.0	16.0	15.0	11.0	37.0
	行田	93	5.4	7.5	9.7	10.8	16.1	10.8	7.5	10.8	7.5	17.2
	佐間	129	3.9	9.3	11.6	23.3	33.3	17.8	10.1	11.6	19.4	10.1
	持田	258	6.2	11.6	12.0	15.9	25.6	20.2	16.7	18.2	17.4	12.8
	星河	167	9.6	22.8	7.8	16.2	33.5	19.2	15.6	18.6	14.4	29.3
	長野	201	5.5	23.9	11.4	9.5	22.9	14.4	15.9	10.0	12.4	24.9
	星宮	31	16.1	45.2	19.4	19.4	29.0	22.6	12.9	22.6	12.9	38.7
	下忍	38	18.4	34.2	10.5	7.9	21.1	15.8	5.3	15.8	7.9	34.2
	荒木	53	13.2	34.0	13.2	24.5	32.1	34.0	26.4	18.9	24.5	54.7
	須加	32	6.3	28.1	9.4	25.0	46.9	21.9	21.9	21.9	12.5	65.6
	北河原	16	6.3	12.5	12.5	18.8	31.3	31.3	25.0	18.8	25.0	81.3
	埼玉	86	11.6	47.7	19.8	24.4	30.2	14.0	14.0	19.8	31.4	46.5
	太田	111	7.2	27.0	12.6	15.3	25.2	19.8	19.8	18.9	16.2	33.3
	太井	133	3.8	8.3	11.3	16.5	26.3	21.8	15.8	18.0	12.0	13.5
	南河原	62	8.1	25.8	19.4	24.2	33.9	27.4	27.4	24.2	19.4	59.7
無回答	50	8.0	16.0	16.0	16.0	34.0	24.0	26.0	22.0	16.0	26.0	

(3) 教育・文化・コミュニティの満足度

問3 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

(3) 教育・文化・コミュニティ



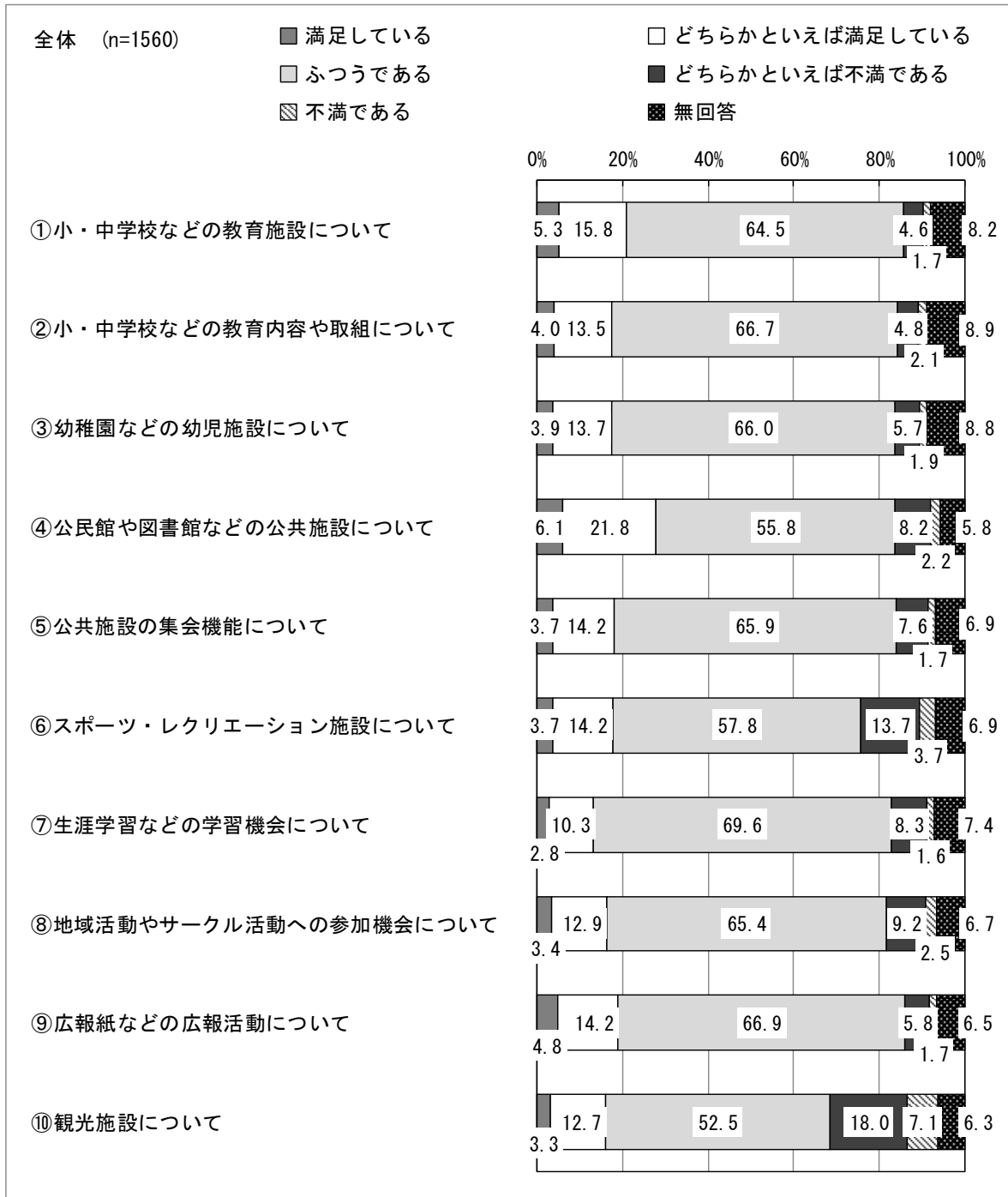
■ “不満”は『⑩観光施設について』で最も多く、次いで『⑥スポーツ・レクリエーション施設について』が続く。

教育・文化・コミュニティの満足度について尋ねたところ、すべての項目で「ふつうである」が多数を占めている。また、“満足”（「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の合計）は『④公民館や図書館などの公共施設について』（27.9%）で最も多い。一方、“不満”（「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の合計）は『⑩観光施設について』（25.1%）で最も多く、次いで『⑥スポーツ・レクリエーション施設について』（17.4%）が続く。

性別で“不満”をみると、男女ともに『⑩観光施設について』が最も多くなっている。

年齢別で“不満”をみると、すべての層で『⑩観光施設について』が最も多くなっている。

教育・文化・コミュニティの満足度（全体）



教育・文化・コミュニティについての“満足”の割合（全体、性別、年齢）
（単位：％）

		n	① 小学校などの教育施設について	② 小・中学校などの教育内容や取組について	③ 幼稚園などの幼児施設について	④ 公民館や図書館などの公共施設について	⑤ 公共施設の集会機能について	⑥ スポーツ・レクリエーション施設について	⑦ 生涯学習などの学習機会について	⑧ 地域活動やサークル活動への参加機会について	⑨ 広報紙などの広報活動について	⑩ 観光施設について
全体		1560	21.0	17.5	17.6	27.9	17.9	17.9	13.1	16.3	19.0	16.0
性別	男性	689	21.8	17.6	17.9	27.1	18.3	17.9	12.2	15.2	19.3	17.9
	女性	861	20.7	17.5	17.5	28.8	17.9	18.1	14.1	17.2	18.9	14.5
	無回答	10	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	30.7	31.5	29.1	36.2	24.4	24.4	15.7	18.1	20.5	21.3
	30～39 歳	151	23.2	17.9	21.2	29.8	17.2	17.9	11.3	13.9	17.9	17.9
	40～49 歳	209	27.3	22.0	24.4	34.9	21.5	22.0	14.8	15.3	17.7	14.4
	50～59 歳	228	21.5	19.3	17.1	27.6	14.5	15.8	10.1	12.3	18.0	16.7
	60～69 歳	360	17.5	12.5	11.1	23.1	17.5	16.1	11.7	15.3	20.6	14.7
	70 歳以上	471	17.8	14.9	15.1	26.1	17.2	17.0	14.6	19.7	18.9	15.3
	無回答	14	7.1	7.1	35.7	14.3	7.1	7.1	21.4	14.3	21.4	21.4

教育・文化・コミュニティについての“不満”の割合（全体、性別、年齢）
（単位：％）

		n	① 小学校などの教育施設について	② 小・中学校などの教育内容や取組について	③ 幼稚園などの幼児施設について	④ 公民館や図書館などの公共施設について	⑤ 公共施設の集会機能について	⑥ スポーツ・レクリエーション施設について	⑦ 生涯学習などの学習機会について	⑧ 地域活動やサークル活動への参加機会について	⑨ 広報紙などの広報活動について	⑩ 観光施設について
全体		1560	6.3	6.9	7.6	10.4	9.3	17.4	9.9	11.7	7.5	25.1
性別	男性	689	6.4	7.1	9.1	12.2	10.4	20.5	11.3	13.5	9.7	27.0
	女性	861	6.3	6.7	6.3	9.2	8.5	15.1	8.8	10.1	5.8	23.8
	無回答	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	10.0
年齢	18～29 歳	127	10.2	13.4	11.8	9.4	4.7	15.7	11.0	12.6	8.7	28.3
	30～39 歳	151	7.3	9.3	9.9	16.6	7.3	22.5	13.2	12.6	9.3	31.8
	40～49 歳	209	10.0	12.0	7.2	11.5	11.0	23.0	12.4	15.3	11.5	37.3
	50～59 歳	228	6.6	5.3	6.6	12.7	10.5	20.2	10.5	11.4	7.9	28.5
	60～69 歳	360	7.2	8.1	12.5	12.8	12.8	20.8	10.0	11.9	7.2	27.5
	70 歳以上	471	2.5	2.1	2.5	5.1	7.4	9.8	7.0	9.1	4.9	13.8
無回答	14	0.0	0.0	7.1	21.4	0.0	21.4	14.3	21.4	7.1	7.1	

(4) 保健・医療・福祉の満足度

問3 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

(4) 保健・医療・福祉



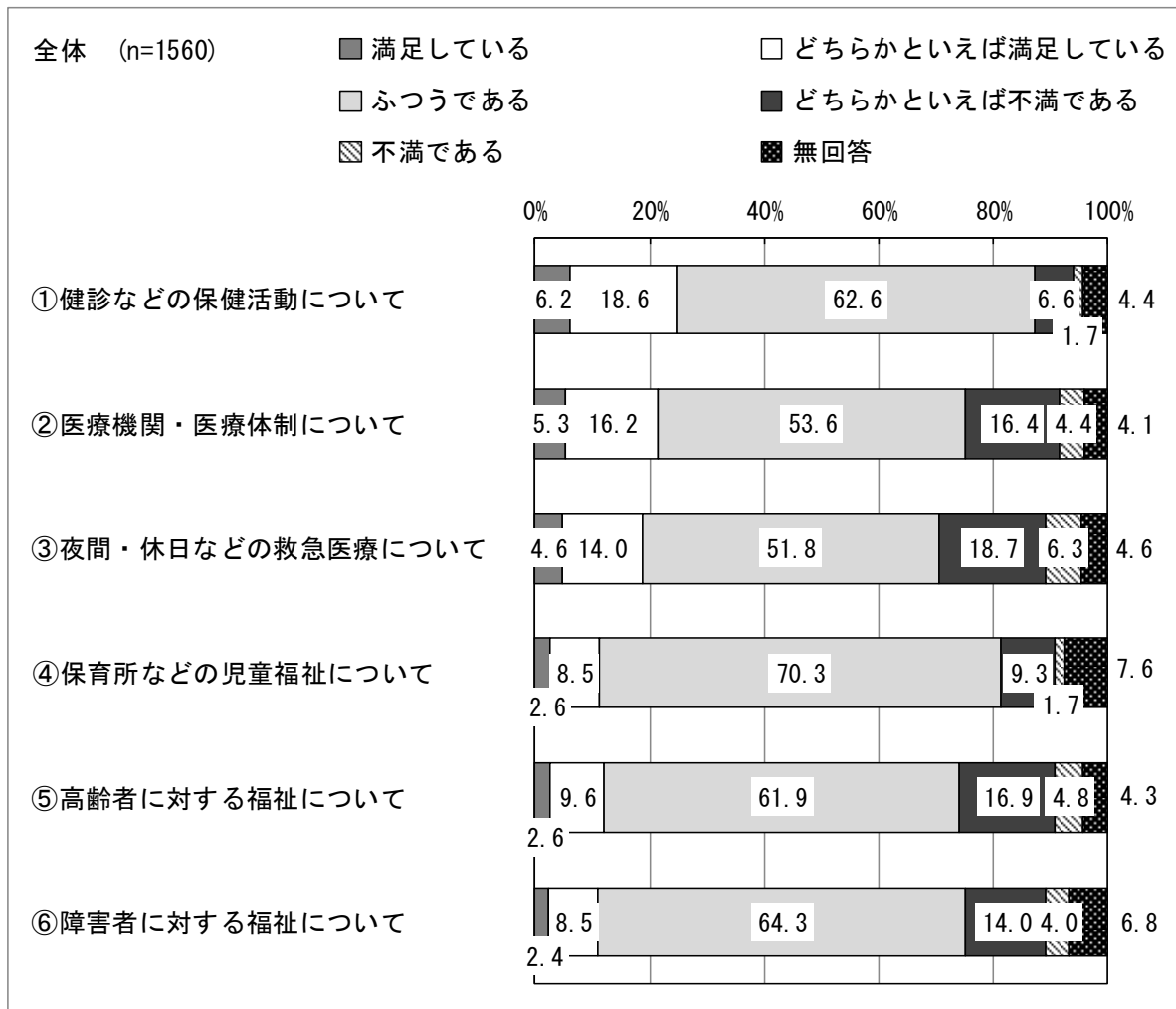
■ “不満”は『③夜間・休日などの救急医療について』が最も多く、次いで『⑤高齢者に対する福祉について』が続く。

保健・医療・福祉の満足度について尋ねたところ、すべての項目で「ふつうである」が多数を占めている。また、“満足”（「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の合計）は『①健診などの保健活動について』で最も多い。一方、“不満”（「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の合計）は、『③夜間・休日などの救急医療について』（25.0%）で最も多く、次いで『⑤高齢者に対する福祉について』（21.7%）、『②医療機関・医療体制について』（20.8%）が続く。

性別で“不満”をみると、男女ともに『③夜間・休日などの救急医療について』が最も多くなっている。

年齢別で“不満”をみると、60歳未満で『③夜間・休日などの救急医療について』が最も多くなっている一方、60歳以上で『⑤高齢者に対する福祉について』が最も多くなっている。

保健・医療・福祉の満足度（全体）



保健・医療・福祉についての“満足”の割合（全体、性別、年齢）

（単位：％）

		n	① 活動に健診などについて	② 体制に医療機について・医療	③ 救急夜間医療・休日などの	④ 福祉に保育所などの児童	⑤ 福祉に高齢者について	⑥ 福祉に障害者について
全体		1560	24.7	21.5	18.7	11.1	12.1	10.9
性別	男性	689	24.5	22.8	19.3	11.2	10.9	10.9
	女性	861	25.0	20.6	18.1	10.9	13.0	10.8
	無回答	10	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	24.4	22.0	18.1	15.7	15.0	16.5
	30～39 歳	151	24.5	24.5	19.9	11.3	9.3	6.6
	40～49 歳	209	23.4	21.1	22.5	13.9	12.0	10.5
	50～59 歳	228	17.5	15.8	12.3	7.9	8.8	7.9
	60～69 歳	360	23.3	19.4	15.8	8.6	10.0	9.7
	70 歳以上	471	29.7	25.1	21.4	11.7	15.7	13.2
	無回答	14	35.7	21.4	35.7	21.4	7.1	14.3

保健・医療・福祉についての“不満”の割合（全体、性別、年齢）

（単位：％）

		n	① 活動に健診などについて	② 体制に医療機について・医療	③ 救急夜間医療・休日などの	④ 福祉に保育所などの児童	⑤ 福祉に高齢者について	⑥ 福祉に障害者について
全体		1560	8.3	20.8	25.0	11.0	21.7	18.0
性別	男性	689	8.9	20.3	22.9	11.3	22.8	18.7
	女性	861	7.8	21.1	26.5	10.9	21.0	17.5
	無回答	10	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0	10.0
年齢	18～29 歳	127	9.4	18.9	26.0	15.0	18.1	18.1
	30～39 歳	151	12.6	17.2	27.2	17.9	12.6	12.6
	40～49 歳	209	9.1	26.8	35.4	12.4	20.6	20.1
	50～59 歳	228	10.5	30.7	35.1	10.1	23.7	19.7
	60～69 歳	360	6.4	23.9	23.6	12.8	26.7	22.8
	70 歳以上	471	6.4	12.7	15.5	6.4	21.4	14.4
	無回答	14	14.3	14.3	21.4	7.1	21.4	14.3

3 今後のまちづくりについて

(1) 行政が特に力を入れてほしい施策

問4 これからの市政において、特に力を入れてほしいものは何ですか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

▼

■「保健や医療の充実」が第1位。次いで「ごみ処理やリサイクル」、「公共交通の整備」、「社会福祉の充実」、「商業の活性化」などの順。

行政が特に力を入れてほしい施策は、「保健や医療の充実」(28.8%)が第1位に挙げられ、次いで「ごみ処理やリサイクル」(27.4%)、「公共交通の整備」(25.4%)、「社会福祉の充実」(22.7%)、「商業の活性化」(21.9%)などの順となっている。

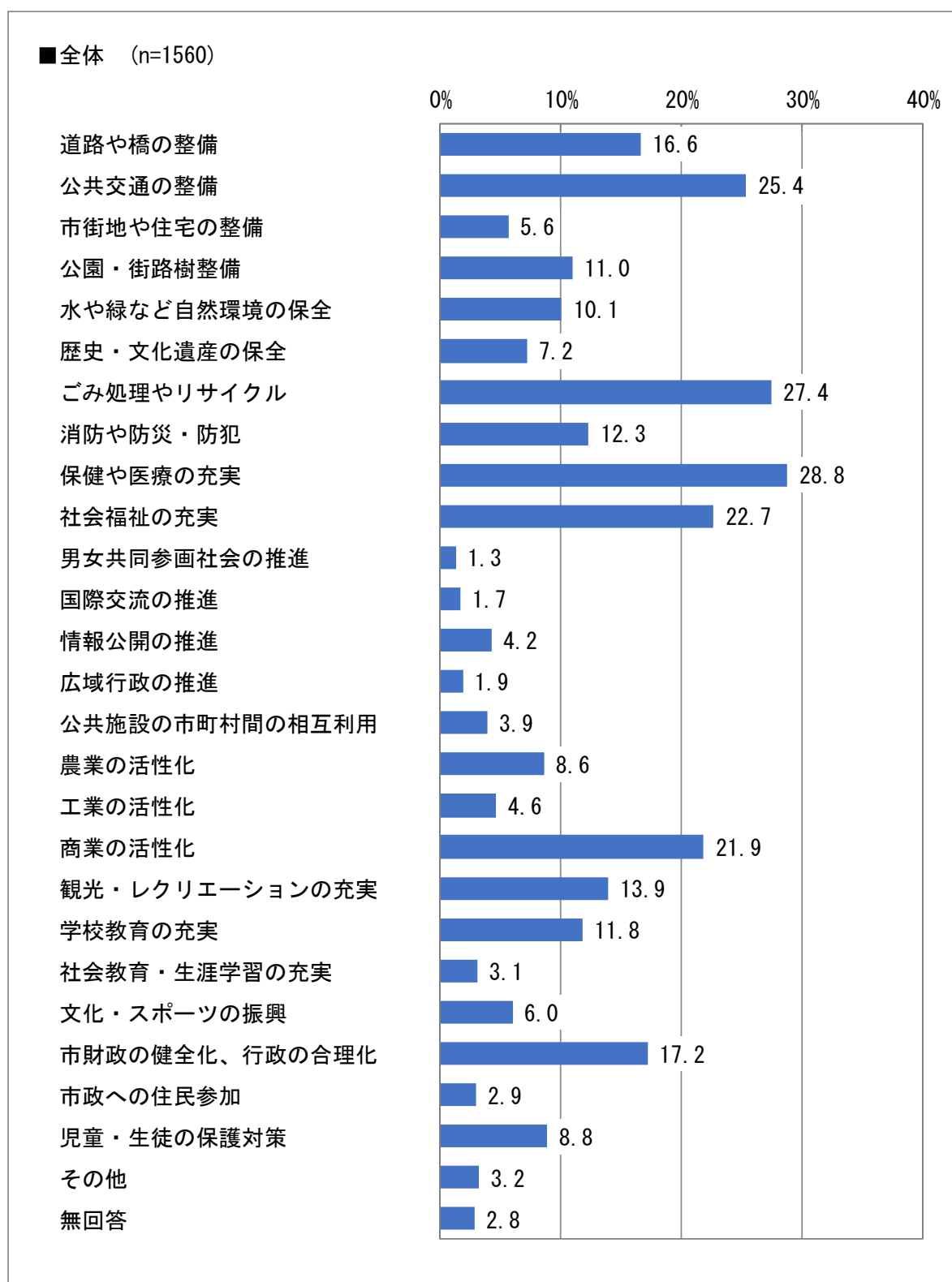
性別でみると、女性では「保健や医療の充実」が第1位に挙げられ、男性では「ごみ処理やリサイクル」が第1位に挙げられている。

年齢別でみると、18～29歳、30～39歳では「公共交通の整備」、40～49歳、50～59歳では「保健や医療の充実」、60～69歳、70歳以上では「ごみ処理やリサイクル」がそれぞれ第1位に挙げられている。また、18～29歳では「観光・レクリエーションの充実」(26.0%)と回答する割合が比較的多い。

居住年数別でみると、5年未満、15年以上20年未満では「ごみ処理やリサイクル」、5年以上10年未満では「公共交通の整備」、20年以上では「保健や医療の充実」が第1位に挙げられている。また、10年以上15年未満では「保健や医療の充実」及び「ごみ処理やリサイクル」が同率で第1位に挙げられている。

居住地区別でみると、佐間、長野、太田では「保健や医療の充実」、行田、持田、太井では「ごみ処理やリサイクル」、星宮、埼玉では「公共交通の整備」、下忍では「道路や橋の整備」、忍、星河では「商業の活性化」、荒木では「ごみ処理やリサイクル」及び「商業の活性化」、須加では「公共交通の整備」及び「保健や医療の充実」、北河原では「公共交通の整備」及び「農業の活性化」、南河原では「道路や橋の整備」及び「ごみ処理やリサイクル」がそれぞれ第1位に挙げられている。

行政が特に力を入れてほしい施策（全体／複数回答）



行政が特に力を入れてほしい施策（全体、性別、年齢、居住年数／複数回答）

（単位：％）

		n	道路や橋の整備	公共交通の整備	市街地や住宅の整備	公園・街路樹整備	水や緑など自然環境の保全	歴史・文化遺産の保全	ごみ処理やリサイクル	消防や防災・防犯	保健や医療の充実	社会福祉の充実	推進 男女共同参画社会の	国際交流の推進	情報公開の推進	広域行政の推進
全体		1560	16.6	25.4	5.6	11.0	10.1	7.2	27.4	12.3	28.8	22.7	1.3	1.7	4.2	1.9
性別	男性	689	20.5	26.9	6.7	9.1	9.1	9.4	27.1	12.9	25.5	21.2	1.6	2.2	5.4	2.2
	女性	861	13.6	24.2	4.9	12.5	10.6	5.3	27.8	12.0	31.5	24.0	1.0	1.3	3.4	1.6
	無回答	10	10.0	30.0	0.0	0.0	30.0	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18～29 歳	127	18.9	37.0	4.7	20.5	10.2	5.5	13.4	12.6	21.3	12.6	2.4	4.7	2.4	1.6
	30～39 歳	151	19.2	26.5	6.0	17.2	11.3	8.6	25.8	9.9	20.5	14.6	3.3	4.0	2.6	1.3
	40～49 歳	209	18.7	27.8	5.7	10.5	10.0	8.1	23.4	14.4	29.7	19.1	1.4	1.4	2.9	0.5
	50～59 歳	228	13.2	30.3	5.7	4.8	8.3	9.6	25.9	13.6	31.6	25.0	0.4	2.2	2.6	2.2
	60～69 歳	360	18.9	23.1	5.0	11.1	11.7	6.9	31.4	8.6	29.7	23.3	0.8	1.4	6.4	2.2
	70 歳以上	471	14.2	20.6	6.4	9.6	8.9	5.7	31.2	14.2	30.6	28.0	0.8	0.2	5.1	2.3
	無回答	14	14.3	14.3	0.0	7.1	21.4	7.1	28.6	14.3	42.9	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0
居住年数	5年未満	106	20.8	20.8	2.8	19.8	14.2	7.5	25.5	8.5	24.5	20.8	1.9	2.8	2.8	0.0
	5年以上 10 年未満	85	21.2	29.4	12.9	16.5	7.1	8.2	18.8	10.6	23.5	12.9	1.2	4.7	2.4	1.2
	10 年以上 15 年未満	80	15.0	15.0	2.5	17.5	16.3	8.8	27.5	13.8	27.5	13.8	1.3	0.0	5.0	0.0
	15 年以上 20 年未満	96	17.7	25.0	8.3	10.4	12.5	8.3	32.3	5.2	26.0	16.7	1.0	4.2	3.1	2.1
	20 年以上	1175	15.9	26.5	5.4	9.4	9.2	6.9	27.8	13.4	29.7	24.6	1.3	1.3	4.6	2.2
	無回答	18	16.7	11.1	0.0	11.1	16.7	5.6	27.8	5.6	38.9	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0

		n	利用 公共施設の 市町村間の 相互	農業の 活性化	工業の 活性化	商業の 活性化	観光・レクリエーションの 充実	学校教育の 充実	社会教育・生涯学習の 充実	文化・スポーツの 振興	市財政の健全化、行政の 合理化	市政への住民参加	児童・生徒の保護対策	その他	無回答
全体		1560	3.9	8.6	4.6	21.9	13.9	11.8	3.1	6.0	17.2	2.9	8.8	3.2	2.8
性別	男性	689	4.5	10.3	6.5	21.2	14.1	10.6	3.6	8.1	16.8	3.9	7.3	3.2	1.7
	女性	861	3.5	7.3	3.1	22.5	13.9	12.9	2.7	4.3	17.5	2.2	10.2	3.3	3.3
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	3.1	3.9	2.4	23.6	26.0	20.5	3.1	7.9	7.1	1.6	9.4	3.9	0.8
	30～39 歳	151	3.3	6.6	4.0	21.2	20.5	22.5	2.6	7.3	12.6	0.7	16.6	1.3	1.3
	40～49 歳	209	4.3	5.3	4.8	27.8	17.7	24.4	1.4	8.1	10.5	1.0	16.3	4.3	0.0
	50～59 歳	228	1.8	8.8	3.5	26.3	17.1	10.1	2.6	7.9	17.5	3.1	7.9	3.1	0.9
	60～69 歳	360	4.2	11.1	5.8	24.2	11.7	7.5	4.2	5.0	20.3	2.2	7.5	3.9	2.2
	70 歳以上	471	5.1	10.2	5.1	15.7	6.8	4.7	3.4	3.8	22.1	5.3	4.5	2.8	5.9
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	21.4
居住年数	5年未満	106	4.7	3.8	3.8	19.8	17.0	23.6	0.9	6.6	4.7	1.9	21.7	4.7	2.8
	5年以上 10 年未満	85	4.7	2.4	2.4	24.7	21.2	17.6	1.2	7.1	17.6	0.0	18.8	1.2	3.5
	10 年以上 15 年未満	80	2.5	3.8	6.3	23.8	13.8	25.0	5.0	7.5	12.5	3.8	10.0	1.3	2.5
	15 年以上 20 年未満	96	5.2	3.1	4.2	21.9	22.9	19.8	3.1	9.4	15.6	1.0	6.3	6.3	1.0
	20 年以上	1175	3.8	10.3	4.9	22.0	12.3	8.8	3.3	5.4	18.6	3.4	7.1	3.1	2.7
	無回答	18	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7	11.1	0.0	11.1	27.8	0.0	5.6	0.0	16.7

行政が特に力を入れてほしい施策（全体、居住地区／複数回答）

（単位：％）

	n	道路や橋の整備	公共交通の整備	市街地や住宅の整備	公園・街路樹整備	水や緑など自然環境の保全	歴史・文化遺産の保全	ごみ処理やリサイクル	消防や防災・防犯	保健や医療の充実	社会福祉の充実	男女共同参画社会の推進	国際交流の推進	情報公開の推進	広域行政の推進	
全体	1560	16.6	25.4	5.6	11.0	10.1	7.2	27.4	12.3	28.8	22.7	1.3	1.7	4.2	1.9	
居住地区	忍	100	15.0	27.0	4.0	9.0	12.0	6.0	22.0	12.0	31.0	23.0	1.0	1.0	5.0	2.0
	行田	93	18.3	22.6	3.2	14.0	15.1	10.8	28.0	7.5	25.8	20.4	2.2	3.2	3.2	0.0
	佐間	129	15.5	20.2	10.1	12.4	13.2	3.9	25.6	10.1	35.7	17.1	0.8	0.8	7.0	0.8
	持田	258	15.9	27.5	5.8	11.6	9.3	8.5	34.5	14.7	27.9	23.3	1.9	1.9	3.9	1.2
	星河	167	23.4	21.6	5.4	11.4	9.6	9.0	21.6	13.2	23.4	25.7	1.2	3.0	4.2	3.6
	長野	201	10.9	27.4	6.0	12.4	7.0	8.0	22.4	12.4	32.3	24.9	1.0	0.0	4.0	3.0
	星宮	31	16.1	41.9	6.5	3.2	22.6	9.7	32.3	9.7	25.8	16.1	0.0	0.0	3.2	3.2
	下忍	38	28.9	21.1	7.9	7.9	2.6	5.3	23.7	10.5	21.1	26.3	0.0	2.6	2.6	2.6
	荒木	53	15.1	26.4	5.7	5.7	7.5	15.1	28.3	7.5	26.4	18.9	3.8	1.9	1.9	3.8
	須加	32	9.4	31.3	3.1	6.3	12.5	6.3	15.6	15.6	31.3	12.5	3.1	6.3	6.3	0.0
	北河原	16	18.8	37.5	18.8	12.5	12.5	6.3	18.8	6.3	18.8	31.3	0.0	0.0	6.3	0.0
	埼玉	86	19.8	41.9	4.7	7.0	7.0	5.8	37.2	5.8	16.3	17.4	1.2	2.3	7.0	4.7
	太田	111	13.5	22.5	2.7	12.6	9.0	1.8	27.0	14.4	41.4	25.2	0.9	0.9	1.8	0.0
	太井	133	12.0	18.8	3.8	12.0	10.5	7.5	29.3	15.8	27.8	27.1	0.0	1.5	5.3	1.5
	南河原	62	33.9	19.4	8.1	14.5	8.1	0.0	33.9	17.7	21.0	17.7	1.6	0.0	3.2	1.6
	無回答	50	12.0	22.0	6.0	6.0	14.0	10.0	26.0	10.0	38.0	26.0	2.0	4.0	2.0	0.0

	n	公共施設の市町村間の相互利用	農業の活性化	工業の活性化	商業の活性化	観光・レクリエーションの充実	学校教育の充実	社会教育・生涯学習の充実	文化・スポーツの振興	市財政の健全化、行政の合理化	市政への住民参加	児童・生徒の保護対策	その他	無回答	
全体	1560	3.9	8.6	4.6	21.9	13.9	11.8	3.1	6.0	17.2	2.9	8.8	3.2	2.8	
居住地区	忍	100	0.0	2.0	3.0	35.0	14.0	13.0	3.0	4.0	15.0	6.0	8.0	4.0	2.0
	行田	93	3.2	2.2	1.1	17.2	17.2	17.2	2.2	6.5	15.1	2.2	10.8	4.3	6.5
	佐間	129	5.4	3.9	3.9	27.1	17.1	17.1	3.1	10.9	9.3	3.1	7.8	3.1	1.6
	持田	258	3.5	4.3	2.3	15.5	13.6	8.1	4.7	5.8	22.5	2.7	7.4	1.6	3.5
	星河	167	3.0	10.8	9.0	28.1	13.8	6.6	3.6	4.8	16.8	4.8	11.4	6.6	1.2
	長野	201	4.5	8.0	6.5	22.9	12.4	15.4	3.0	6.0	16.4	2.0	10.9	3.0	1.5
	星宮	31	9.7	12.9	3.2	16.1	12.9	19.4	0.0	6.5	16.1	0.0	6.5	0.0	0.0
	下忍	38	10.5	15.8	5.3	26.3	10.5	15.8	0.0	7.9	26.3	2.6	15.8	7.9	2.6
	荒木	53	1.9	13.2	9.4	28.3	9.4	3.8	3.8	0.0	15.1	3.8	1.9	0.0	7.5
	須加	32	3.1	9.4	3.1	25.0	6.3	12.5	0.0	9.4	21.9	0.0	12.5	3.1	3.1
	北河原	16	0.0	37.5	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0
	埼玉	86	3.5	18.6	8.1	26.7	14.0	11.6	4.7	4.7	27.9	2.3	5.8	2.3	2.3
	太田	111	2.7	12.6	4.5	14.4	9.9	9.9	0.9	2.7	18.9	0.9	12.6	1.8	3.6
	太井	133	4.5	6.8	2.3	19.5	18.8	12.8	3.0	6.8	16.5	5.3	8.3	3.8	3.0
	南河原	62	8.1	19.4	6.5	11.3	6.5	12.9	3.2	6.5	6.5	1.6	8.1	3.2	4.8
	無回答	50	4.0	6.0	2.0	16.0	28.0	12.0	4.0	10.0	12.0	2.0	2.0	2.0	2.0

(2) 行田市の将来像

問5 行田市が、将来どんなまちになったらよいとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。【複数回答】

■「生活環境の整ったまち」が第1位。次いで「商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち」の順。

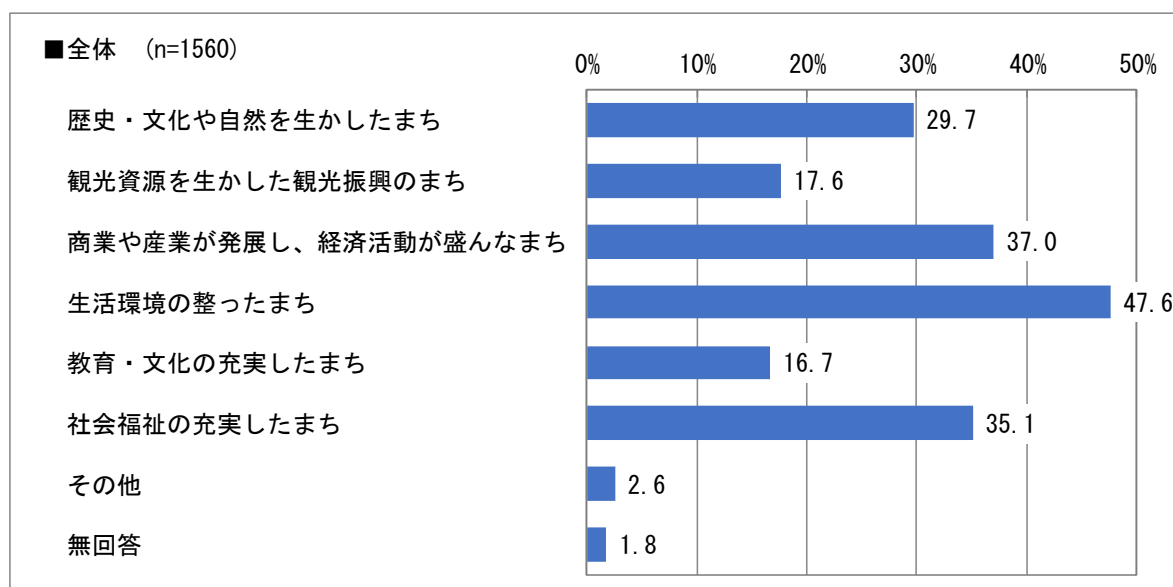
行田市の将来像については、「生活環境の整ったまち」(47.6%)が第1位に挙げられ、次いで「商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち」(37.0%)、「社会福祉の充実したまち」(35.1%)、「歴史・文化や自然を生かしたまち」(29.7%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「生活環境の整ったまち」が第1位に挙げられている。また、男性では「歴史・文化や自然を生かしたまち」(34.5%)、女性では「社会福祉の充実したまち」(37.5%)と回答した割合が比較的多い。

年齢別でみると、すべての層で「生活環境の整ったまち」が第1位に挙げられている。また、60～69歳、70歳以上では「商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち」(それぞれ41.1%、40.1%)と回答する割合が比較的多い。さらに、70歳以上では「社会福祉の充実したまち」(45.0%)と回答する割合が比較的多い。

居住年数別でみると、5年未満、15年以上20年未満、20年以上では「生活環境の整ったまち」、5年以上10年未満の層では「商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち」、10年以上15年未満では「歴史・文化や自然を生かしたまち」が第1位に挙げられている。

行田市の将来像（全体／複数回答）



行田市の将来像（全体、性別、年齢、居住年数／複数回答）

（単位：％）

		n	歴史・文化や自然を 生かしたまち	観光資源を生かした 観光振興のまち	商業や産業が発展し、 経済活動が盛んなまち	生活環境の整ったまち	教育・文化の充実した まち	社会福祉の充実したまち	その他	無回答
全体		1560	29.7	17.6	37.0	47.6	16.7	35.1	2.6	1.8
性別	男性	689	34.5	18.0	37.2	45.9	15.5	32.2	3.0	1.5
	女性	861	25.9	17.3	36.9	49.0	17.8	37.5	2.2	1.7
	無回答	10	20.0	20.0	30.0	40.0	0.0	20.0	0.0	30.0
年齢	18～29 歳	127	26.8	22.0	27.6	55.1	24.4	23.6	5.5	0.0
	30～39 歳	151	37.1	19.9	31.8	43.7	29.8	19.2	2.6	0.7
	40～49 歳	209	38.8	14.4	36.8	46.4	24.4	30.1	2.9	0.0
	50～59 歳	228	36.0	15.8	33.8	48.7	14.9	30.3	2.6	0.9
	60～69 歳	360	26.4	20.8	41.1	49.7	13.3	38.3	2.2	1.1
	70 歳以上	471	24.2	16.1	40.1	45.4	10.2	45.0	1.7	3.6
	無回答	14	7.1	0.0	21.4	35.7	21.4	42.9	7.1	28.6
居住年数	5年未満	106	37.7	17.0	21.7	45.3	36.8	21.7	3.8	0.9
	5年以上 10 年未満	85	37.6	15.3	44.7	41.2	24.7	28.2	2.4	1.2
	10 年以上 15 年未満	80	43.8	15.0	35.0	42.5	21.3	28.8	0.0	1.3
	15 年以上 20 年未満	96	30.2	25.0	31.3	49.0	19.8	25.0	4.2	1.0
	20 年以上	1175	27.6	17.4	38.6	48.5	13.7	38.1	2.6	1.7
	無回答	18	16.7	16.7	22.2	44.4	16.7	27.8	0.0	22.2

4 地域との関わりについて

(1) 地域活動への参加

問6 地域活動（「地域のまちづくり」や「コミュニティ（地域社会）づくり」など）についてお尋ねします。
（1）地域活動への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

■「求められれば参加する」が38.8%で約4割を占め、“参加する”が45.3%。

地域活動への参加意向は、「求められれば参加する」が38.8%で約4割を占め、これに「積極的に参加する」(6.5%)を合わせた“参加する”が45.3%となっている。また、「参加したいが時間や暇がない」は21.5%、「意識していない」は20.0%、「わずらわしいので参加しない」は10.1%となっている。

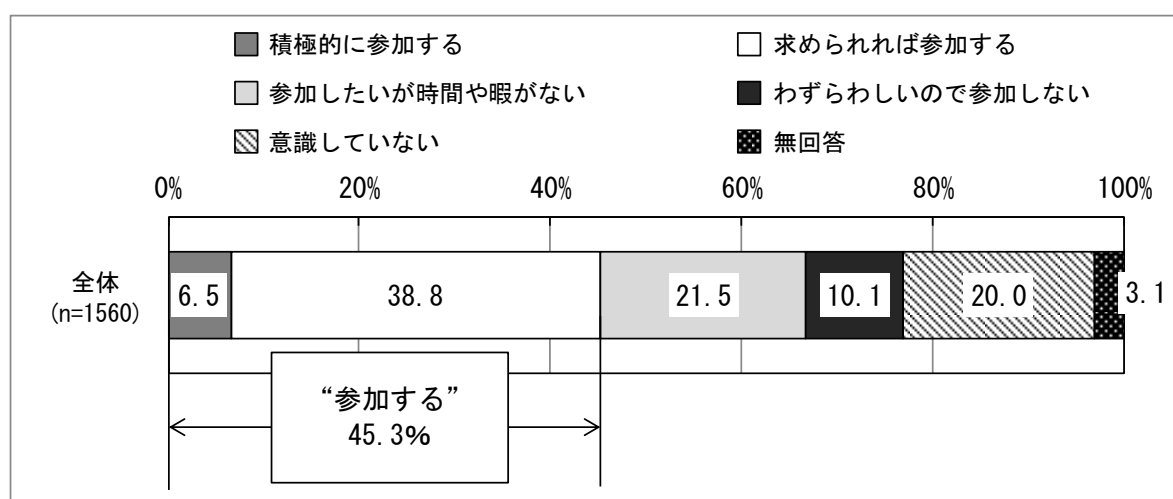
性別でみると、“参加する”が男性では47.0%、女性では44.3%となっている。また、「意識していない」が男性では16.0%、女性では23.0%となっている。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて“参加する”が増加し、60～69歳で52.5%、70歳以上で53.7%と半数を超える。

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど“参加する”が増加し、20年以上で47.7%と最も多くなっている。

居住地区別でみると、“参加する”が下忍で63.2%と最も多く、須加で28.1%と最も低くなっている。

地域活動への参加（全体）



地域活動への参加（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：%）

	n	“参加する”		暇参加 がない したい が時間 や	参 加 し ら わ し い の で	意 識 し て い な い	無 回 答	
		す積 極的 に 参 加	参求 加め すら れ ば					
全体	1560	45.3		21.5	10.1	20.0	3.1	
		6.5	38.8					
性別	男性	689	47.0		23.1	11.5	16.0	2.5
			8.0	39.0				
	女性	861	44.3		20.4	9.1	23.0	3.3
		5.2	39.0					
無回答	10	20.0		0.0	10.0	40.0	30.0	
		20.0	0.0					
年齢	18～29 歳	127	25.2		27.6	7.9	39.4	0.0
			3.1	22.0				
	30～39 歳	151	36.4		29.1	13.9	19.9	0.7
			1.3	35.1				
	40～49 歳	209	37.8		26.3	9.6	23.4	2.9
			1.4	36.4				
	50～59 歳	228	41.7		30.3	13.2	14.5	0.4
			3.1	38.6				
60～69 歳	360	52.5		21.7	8.6	16.1	1.1	
		9.2	43.3					
70 歳以上	471	53.7		10.8	9.8	18.7	7.0	
		11.0	42.7					
無回答	14	28.6		21.4	0.0	28.6	21.4	
		7.1	21.4					
居住年数	5年未満	106	36.8		26.4	7.5	25.5	3.8
			4.7	32.1				
	5年以上 10 年未満	85	35.3		28.2	14.1	21.2	1.2
			1.2	34.1				
	10 年以上 15 年未満	80	38.8		21.3	15.0	21.3	3.8
			0.0	38.8				
	15 年以上 20 年未満	96	42.7		36.5	4.2	15.6	1.0
		1.0	41.7					
20 年以上	1175	47.7		19.1	10.3	19.7	3.1	
		8.1	39.6					
無回答	18	33.3		33.3	5.6	16.7	11.1	
		0.0	33.3					

地域活動への参加（全体、居住地区）

（単位：％）

	n	“参加する”		暇参加 がない したい が時間 や	参 加 し ら わ し い の で	意 識 し て い な い	無 回 答	
		す積 極的 に 参 加	参求 加め すら れ ば					
全体	1560	45.3		21.5	10.1	20.0	3.1	
		6.5	38.8					
居住地区	忍	100	48.0		15.0	9.0	24.0	4.0
			8.0	40.0				
	行田	93	40.9		21.5	14.0	18.3	5.4
			2.2	38.7				
	佐間	129	47.3		24.8	10.1	15.5	2.3
			7.8	39.5				
	持田	258	38.8		26.4	10.1	23.3	1.6
			5.8	32.9				
	星河	167	38.9		25.7	7.8	23.4	4.2
			7.2	31.7				
	長野	201	45.3		19.9	10.4	23.4	1.0
			6.0	39.3				
	星宮	31	35.5		16.1	9.7	29.0	9.7
			6.5	29.0				
	下忍	38	63.2		21.1	2.6	13.2	0.0
			2.6	60.5				
	荒木	53	58.5		11.3	15.1	11.3	3.8
			11.3	47.2				
	須加	32	28.1		25.0	15.6	25.0	6.3
			0.0	28.1				
北河原	16	50.0		25.0	6.3	18.8	0.0	
		0.0	50.0					
埼玉	86	59.3		9.3	12.8	16.3	2.3	
		9.3	50.0					
太田	111	51.4		15.3	11.7	16.2	5.4	
		6.3	45.0					
太井	133	51.9		20.3	7.5	16.5	3.8	
		8.3	43.6					
南河原	62	41.9		32.3	12.9	11.3	1.6	
		9.7	32.3					
無回答	50	36.0		28.0	6.0	26.0	4.0	
		4.0	32.0					

(2) 参加したい地域活動

問6 地域活動（「地域のまちづくり」や「コミュニティ（地域社会）づくり」など）についてお尋ねします。

(2) 【(1)で「1. 積極的に参加する」「2. 求められれば参加する」と答えた方にお尋ねします】主にどのような地域活動に参加したいとお考えですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■「自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動」が第1位。次いで「地域の清掃・リサイクル活動」、「スポーツ・文化・学習活動」の順。

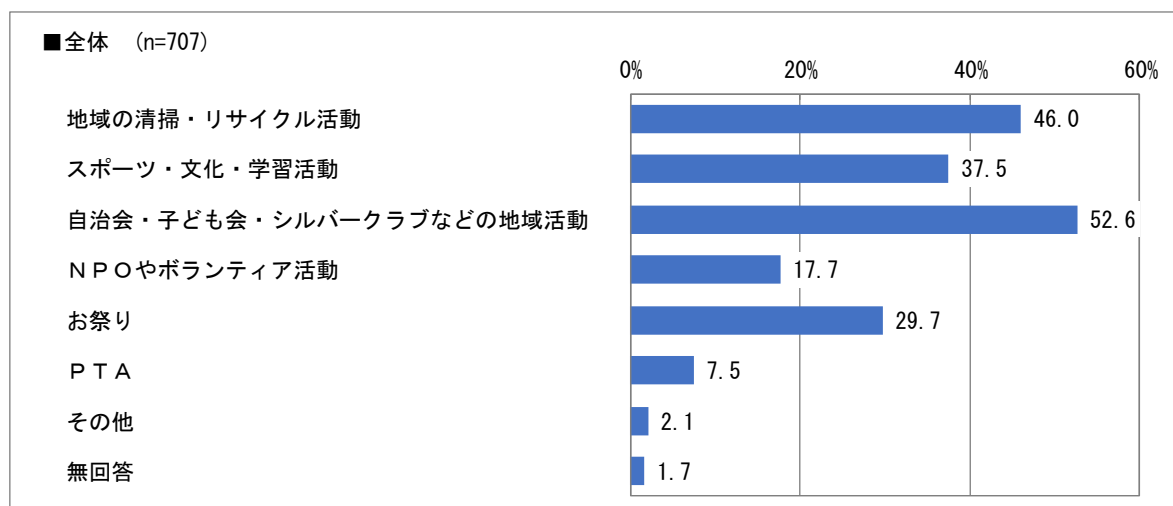
地域活動に“参加する”と回答した人（707人）に、参加したい地域活動を尋ねたところ、「自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動」（52.6%）が第1位に挙げられ、次いで「地域の清掃・リサイクル活動」（46.0%）、「スポーツ・文化・学習活動」（37.5%）などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動」が第1位に挙げられている。

年齢別でみると、18～29歳、30～39歳では「お祭り」、40～49歳、60～69歳、70歳以上では「自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動」、50～59歳では「地域の清掃・リサイクル活動」が最も多くなっている。

居住年数別でみると、5年未満では「お祭り」、5年以上10年未満、20年以上では「自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動」、10年以上15年未満では「地域の清掃・リサイクル活動」及び「自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動」、15年以上20年未満では「地域の清掃・リサイクル活動」が最も多い。

参加したい地域活動（全体／複数回答）



参加したい地域活動（全体、性別、年齢、居住年数／複数回答）

（単位：％）

		n	地域の清掃・リサイクル活動	スポーツ・文化・学習活動	自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動	NPOやボランティア活動	お祭り	P T A	その他	無回答
全体		707	46.0	37.5	52.6	17.7	29.7	7.5	2.1	1.7
性別	男性	324	48.5	38.0	51.2	21.0	32.4	5.9	2.5	1.9
	女性	381	43.8	37.3	53.8	15.0	27.3	8.9	1.8	1.3
	無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
年齢	18～29 歳	32	37.5	43.8	34.4	28.1	62.5	6.3	3.1	0.0
	30～39 歳	55	45.5	49.1	52.7	14.5	70.9	20.0	1.8	1.8
	40～49 歳	79	40.5	49.4	51.9	22.8	40.5	31.6	1.3	0.0
	50～59 歳	95	51.6	40.0	50.5	22.1	22.1	7.4	3.2	2.1
	60～69 歳	189	45.5	38.6	55.6	21.7	26.5	3.2	1.1	1.1
	70 歳以上	253	47.4	28.5	53.8	10.7	18.6	0.8	2.8	2.4
	無回答	4	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
居住年数	5年未満	39	56.4	41.0	46.2	23.1	59.0	7.7	0.0	2.6
	5年以上 10 年未満	30	33.3	40.0	50.0	13.3	43.3	23.3	3.3	0.0
	10 年以上 15 年未満	31	51.6	38.7	51.6	16.1	41.9	25.8	0.0	0.0
	15 年以上 20 年未満	41	48.8	36.6	46.3	22.0	34.1	17.1	2.4	2.4
	20 年以上	560	45.7	37.1	53.9	17.3	25.9	5.0	2.3	1.6
	無回答	6	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7

(3) ボランティア活動への参加状況

問7 ボランティア活動についてお尋ねします。

(1) あなたは、ボランティア活動に参加していますか。次の中から1つに○を付けてください。



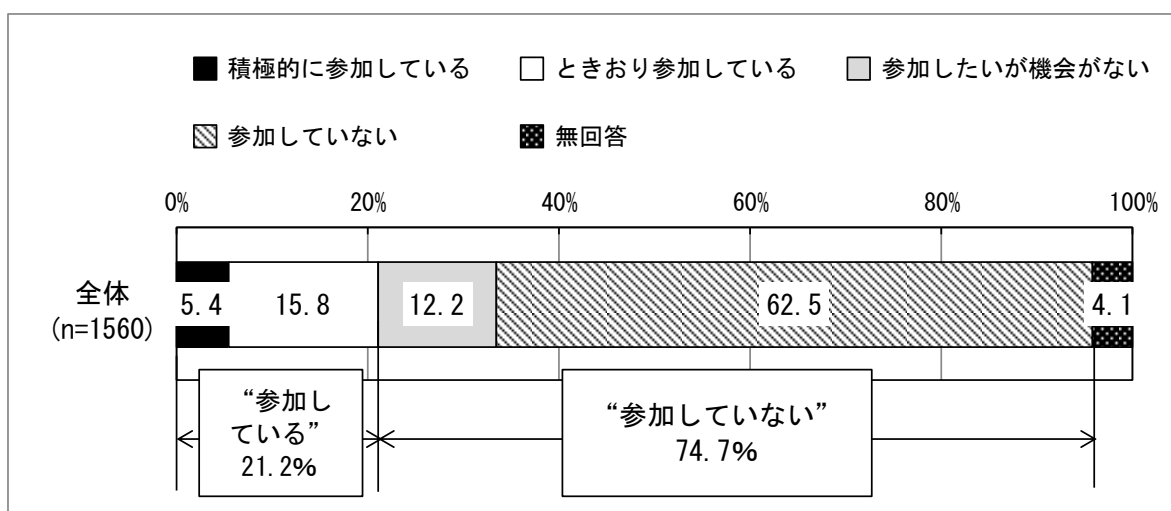
■ “参加していない” が 74.7%。一方、“参加している” は 21.2%。

ボランティア活動への参加状況を見ると、「参加していない」が 62.5%で最も多く、これに「参加したいが機会がない」(12.2%)を合わせた“参加していない”が 74.7%となっている。一方、「積極的に参加している」(5.4%)と「ときおり参加している」(15.8%)を合わせた“参加している”は 21.2%となっている。

性別でみると、“参加している”は男性が 23.8%で、女性は 19.2%となっている。

年齢別でみると、“参加している”は、50歳未満の層では1割台にとどまり、50～59歳で約2割、60～69歳、70歳以上では、それぞれ 25.3%、27.2%と2割台半ばとなっている。

ボランティア活動への参加状況（全体）



ボランティア活動への参加状況（全体、性別、年齢）

（単位：％）

		n	“参加している”		“参加していない”		無回答	
			積極的に参加している	ときおり参加している	参加したいが機会がない	参加していない		
全体		1560	21.2		74.7		4.1	
			5.4	15.8	12.2	62.5		
性別	男性	689	23.8		71.1		5.1	
			7.8	16.0	12.6	58.5		
	女性	861	19.2		78.0		2.8	
			3.4	15.8	12.1	66.0		
無回答		10	10.0		40.0		50.0	
			10.0	0.0	0.0	40.0		
年齢	18～29 歳	127	15.0		85.0		0.0	
			2.4	12.6	16.5	68.5		
	30～39 歳	151	11.9		86.1		2.0	
			0.7	11.3	16.6	69.5		
	40～49 歳	209	11.5		85.6		2.9	
			0.0	11.5	19.6	66.0		
	50～59 歳	228	21.9		75.9		2.2	
			4.8	17.1	11.0	64.9		
	60～69 歳	360	25.3		71.1		3.6	
			6.4	18.9	11.7	59.4		
	70 歳以上	471	27.2		66.2		6.6	
			9.8	17.4	7.2	59.0		
	無回答		14	0.0		57.1		42.9
				0.0	0.0	21.4	35.7	

(4) 参加しているボランティア活動

問7 ボランティア活動についてお尋ねします。

(2) 【(1)で「1. 積極的に参加している」「2. ときおり参加している」と答えた方にお尋ねします】主にどのようなボランティア活動に参加されていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

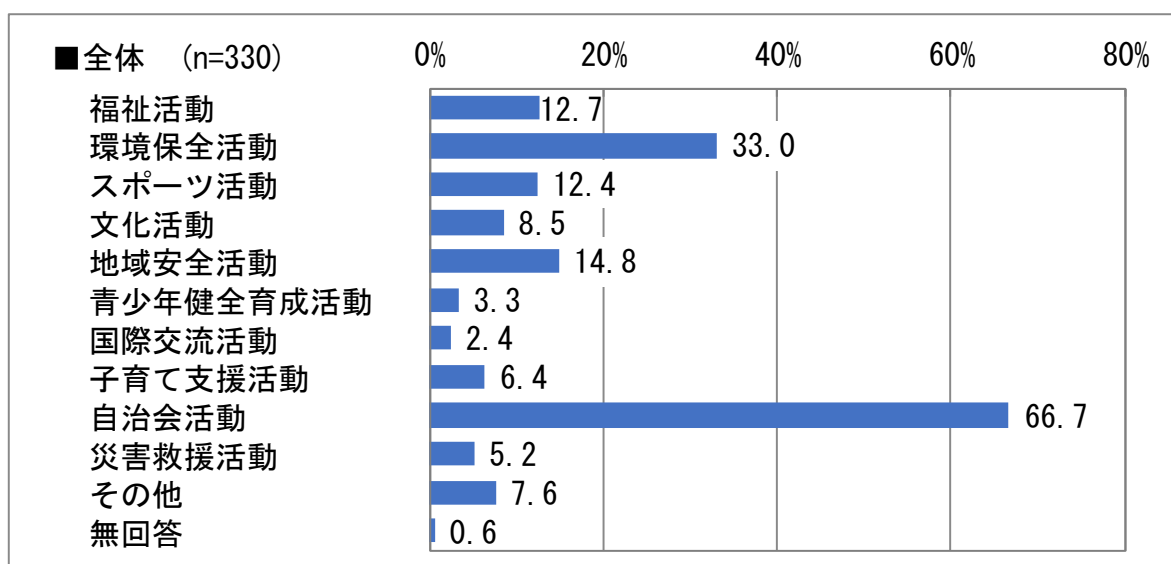
■「自治会活動」が第1位。次いで「環境保全活動」、「地域安全活動」などの順。

ボランティア活動に“参加している”と回答した人(330人)に参加しているボランティア活動を尋ねたところ、「自治会活動」(66.7%)が第1位に挙げられ、次いで「環境保全活動」(33.0%)、「地域安全活動」(14.8%)、「福祉活動」(12.7%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「自治会活動」が第1位に挙げられている。

また、男性では「環境保全活動」、「地域安全活動」及び「スポーツ活動」、女性では「環境保全活動」及び「福祉活動」と回答する割合が多い。

参加しているボランティア活動（全体／複数回答）



参加しているボランティア活動（全体、性別／複数回答）

(単位: %)

		n	福祉活動	環境保全活動	スポーツ活動	文化活動	地域安全活動	青少年健全育成活動	国際交流活動	子育て支援活動	自治会活動	災害救援活動	その他	無回答
全体		330	12.7	33.0	12.4	8.5	14.8	3.3	2.4	6.4	66.7	5.2	7.6	0.6
性別	男性	164	6.7	36.6	18.3	7.3	24.4	4.9	3.7	3.0	65.9	6.1	8.5	0.6
	女性	165	18.8	29.7	6.7	9.1	5.5	1.8	1.2	9.7	67.3	4.2	6.7	0.6
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(5) 参加したいが機会がない理由

問7 ボランティア活動についてお尋ねします。

(3) 【(1)で「3. 参加したいが機会がない」と答えた方にお尋ねします】どのような理由なのか、次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

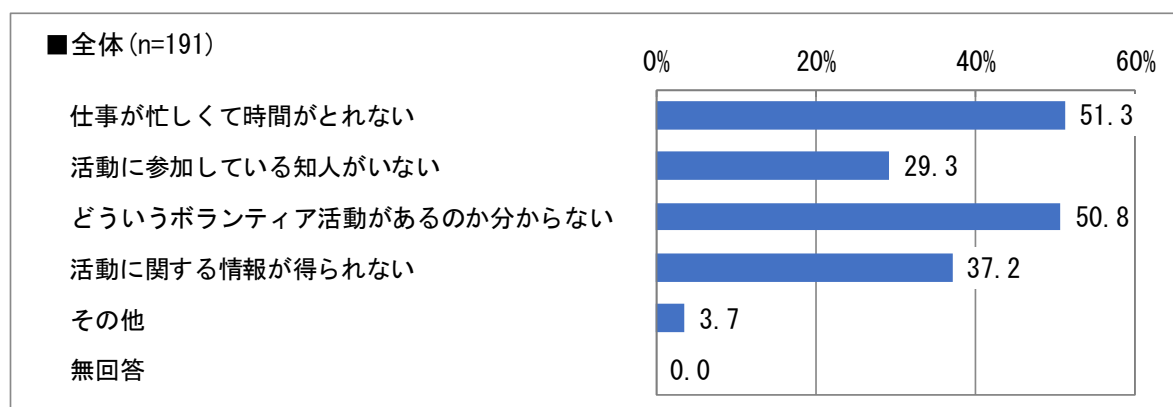


■「仕事が忙しくて時間がとれない」及び「どういうボランティア活動があるのか分からない」が主な理由。

「参加したいが機会がない」と回答した人（191人）に、その理由を尋ねたところ、「仕事が忙しくて時間がとれない」が51.3%で第1位に挙げられ、次いで「どういうボランティア活動があるのか分からない」（50.8%）、「活動に関する情報が得られない」（37.2%）、「活動に参加している知人がいない」（29.3%）などの順となっている。

性別でみると、男性では「仕事が忙しくて時間がとれない」（52.9%）、女性では「どういうボランティア活動があるのか分からない」（51.9%）が第1位に挙げられている。

参加したいが機会がない理由（全体／複数回答）



参加したいが機会がない理由（全体、性別／複数回答）

(単位: %)

		n	仕事が忙しくて時間がとれない	活動に参加している知人がいない	どういうボランティア活動があるのか分からない	活動に関する情報が得られない	その他	無回答
全体		191	51.3	29.3	50.8	37.2	3.7	0.0
性別	男性	87	52.9	34.5	49.4	32.2	5.7	0.0
	女性	104	50.0	25.0	51.9	41.3	1.9	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(6) 福祉活動への関心

問8 福祉活動（高齢者・傷病者・障がい者の介護など）についてお尋ねします。あなたは、高齢者・傷病者・身がい者の介護など福祉に関わるボランティア活動や地域の助け合い活動に興味がありますか。次の中から1つに○を付けてください。

■ “興味がある” が 51.8%。一方、“興味がない” が 29.3%。

福祉活動への関心をみると、「ある程度興味がある」が44.9%で最も多く、これに「とても興味がある」(6.9%)を合わせた“興味がある”が51.8%と半数を超えている。一方、“興味がない”（「あまり興味はない」(24.6%)及び「まったく興味はない」(4.7%)の合計）は29.3%となっており、「分からない」は15.7%であった。

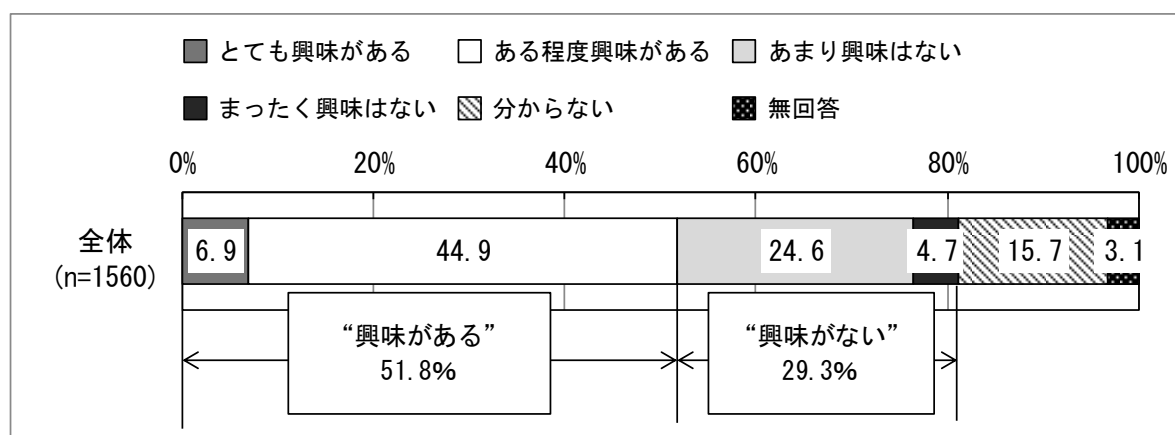
性別でみると、“興味がある”と回答した割合は女性が53.3%、男性が50.2%となっている。また、“興味がない”と回答した割合は男性(32.9%)が女性(26.6%)と比較して上回っている。

年齢別でみると、“興味がある”と回答した割合が50歳以上で5割以上となっている。一方、30～39歳で38.4%と最も少ない。

居住年数別でみると、“興味がある”と回答した割合は15年以上20年未満で57.3%と最も多く、次いで20年以上では52.8%、5年未満では50.0%、5年以上10年未満43.5%、10年以上15年未満では38.8%となっている。

居住地区別でみると、“興味がある”と回答した割合は、下忍、荒木で6割を超える一方、“興味がない”と回答した割合は、行田、佐間、星河、星宮、埼玉、南河原で3割を超えている。

福祉活動への関心（全体）



福祉活動への関心（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：％）

		n	“興味がある”		“興味がない”		分からない	無回答
			とても興味がある	ある程度興味がある	あまり興味はない	まったく興味はない		
全体		1560	51.8		29.3		15.7	3.1
			6.9	44.9	24.6	4.7		
性別	男性	689	50.2		32.9		13.6	3.2
			5.5	44.7	27.1	5.8		
	女性	861	53.3		26.6		17.3	2.8
		8.0	45.3	22.6	3.9			
	無回答	10	30.0		20.0		20.0	30.0
			0.0	30.0	20.0	0.0		
年齢	18～29 歳	127	44.1		37.8		18.1	0.0
			4.7	39.4	29.9	7.9		
	30～39 歳	151	38.4		47.7		13.2	0.7
			5.3	33.1	33.1	14.6		
	40～49 歳	209	49.8		31.1		17.7	1.4
			4.8	45.0	23.9	7.2		
	50～59 歳	228	50.0		36.4		13.6	0.0
			3.9	46.1	32.0	4.4		
	60～69 歳	360	56.9		26.9		14.4	1.7
			7.2	49.7	24.7	2.2		
70 歳以上	471	55.8		18.9		17.2	8.1	
		10.0	45.9	17.0	1.9			
	無回答	14	57.1		28.6		7.1	7.1
			7.1	50.0	28.6	0.0		
居住年数	5年未満	106	50.0		31.1		17.0	1.9
			6.6	43.4	24.5	6.6		
	5年以上 10年未満	85	43.5		38.8		16.5	1.2
			8.2	35.3	34.1	4.7		
	10年以上 15年未満	80	38.8		38.8		21.3	1.3
			2.5	36.3	30.0	8.8		
	15年以上 20年未満	96	57.3		34.4		8.3	0.0
		9.4	47.9	27.1	7.3			
20年以上	1175	52.8		27.6		15.9	3.7	
		6.8	46.0	23.4	4.2			
	無回答	18	66.7		22.2		5.6	5.6
			11.1	55.6	22.2	0.0		

福祉活動への関心（全体、居住地区）

（単位：％）

	n	“興味がある”		“興味がない”		分からない	無回答
		とても興味がある	ある程度興味がある	あまり興味はない	まったく興味はない		
全体	1560	51.8		29.3		15.7	3.1
		6.9	44.9	24.6	4.7		
居住地区	忍	57.0		21.0		18.0	4.0
		9.0	48.0	17.0	4.0		
	行田	54.8		34.4		9.7	1.1
		5.4	49.5	28.0	6.5		
	佐間	52.7		31.8		11.6	3.9
		7.8	45.0	27.9	3.9		
	持田	48.4		28.7		19.8	3.1
		7.0	41.5	24.4	4.3		
	星河	50.9		32.3		13.8	3.0
		7.8	43.1	25.7	6.6		
	長野	50.7		28.4		17.9	3.0
		5.0	45.8	24.4	4.0		
	星宮	48.4		35.5		12.9	3.2
		6.5	41.9	25.8	9.7		
	下忍	60.5		23.7		15.8	0.0
		5.3	55.3	23.7	0.0		
	荒木	60.4		18.9		15.1	5.7
		13.2	47.2	15.1	3.8		
	須加	56.3		15.6		25.0	3.1
		3.1	53.1	9.4	6.3		
北河原	43.8		25.0		31.3	0.0	
	12.5	31.3	18.8	6.3			
埼玉	45.3		36.0		15.1	3.5	
	7.0	38.4	31.4	4.7			
太田	48.6		29.7		16.2	5.4	
	5.4	43.2	27.0	2.7			
太井	57.9		29.3		10.5	2.3	
	4.5	53.4	23.3	6.0			
南河原	48.4		32.3		16.1	3.2	
	6.5	41.9	25.8	6.5			
無回答	50.0		34.0		14.0	2.0	
	12.0	38.0	30.0	4.0			

(7) 地域住民の支え合いの必要性

問9 地域での支え合いについてお尋ねします。

(1) あなたは、地域住民の自主的な支え合いや助け合いの必要性について、どのように考えていますか。次の中から1つに○を付けてください。

■ “必要である” が92.1%と9割を超える。

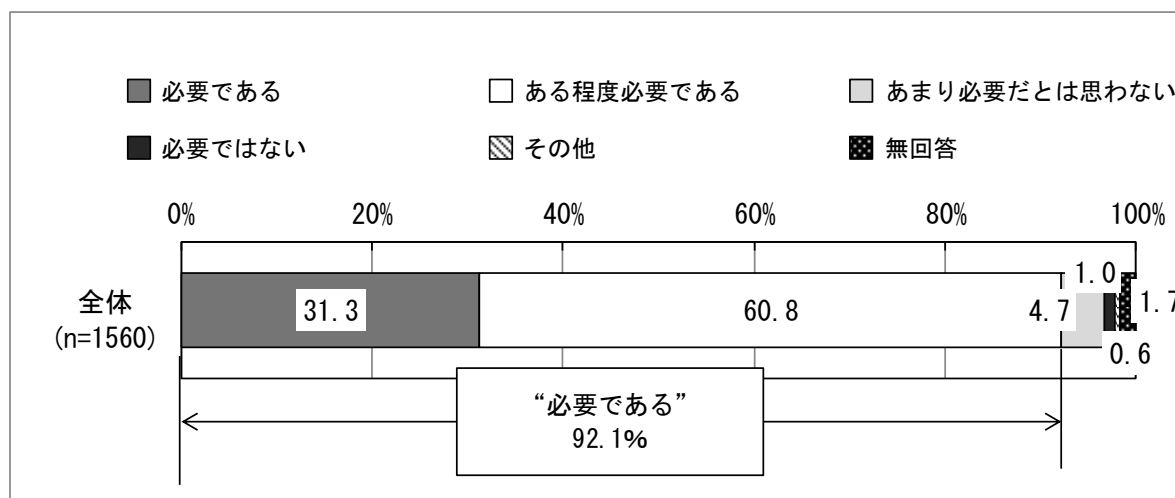
地域住民の支え合いの必要性については、「ある程度必要である」が60.8%で最も多く、これに「必要である」(31.3%)を合わせた“必要である”が92.1%と9割を超える。一方、“必要でない”(「必要ではない」(1.0%)及び「あまり必要だとは思わない」(4.7%)の合計)はわずか5.7%にとどまる。

性別でみても、男女ともに“必要である”が9割を超える。

年齢別、居住年数別でみても、すべての層で“必要である”が8割を超える。

居住地区別でみると、大半の地区で“必要である”と回答した割合が9割を超え、最も低い下忍でも84.2%となっている。

地域住民の支え合いの必要性 (全体)



地域住民の支え合いの必要性（全体、性別、年齢、居住年数）

（単位：％）

		n	“必要である”		“必要でない”		その他	無回答
			必要である	ある程度必要である	あまり必要だとは思わない	必要ではない		
全体		1560	92.1		5.7		0.6	1.7
			31.3	60.8	4.7	1.0		
性別	男性	689	91.3		6.8		0.7	1.2
			32.5	58.8	5.5	1.3		
	女性	861	93.0		4.4		0.6	2.0
			30.3	62.7	3.7	0.7		
	無回答	10	60.0		30.0		0.0	10.0
			30.0	30.0	30.0	0.0		
年齢	18～29 歳	127	91.3		6.3		1.6	0.8
			29.1	62.2	3.1	3.1		
	30～39 歳	151	84.8		13.2		1.3	0.7
			19.9	64.9	11.3	2.0		
	40～49 歳	209	93.8		3.3		1.0	1.9
			26.3	67.5	2.4	1.0		
	50～59 歳	228	92.1		7.5		0.0	0.4
			28.1	64.0	6.6	0.9		
	60～69 歳	360	94.2		5.3		0.3	0.3
			32.5	61.7	5.0	0.3		
	70 歳以上	471	92.4		3.4		0.6	3.6
			38.4	53.9	2.8	0.6		
	無回答	14	85.7		7.1		0.0	7.1
			28.6	57.1	7.1	0.0		
居住年数	5年未満	106	88.7		7.5		0.9	2.8
			29.2	59.4	5.7	1.9		
	5年以上 10 年未満	85	88.2		10.6		1.2	0.0
			27.1	61.2	8.2	2.4		
	10 年以上 15 年未満	80	92.5		6.3		0.0	1.3
			23.8	68.8	6.3	0.0		
	15 年以上 20 年未満	96	93.8		5.2		1.0	0.0
			35.4	58.3	2.1	3.1		
20 年以上	1175	92.6		5.1		0.6	1.7	
		31.9	60.7	4.4	0.7			
	無回答	18	83.3		5.6		0.0	11.1
			33.3	50.0	5.6	0.0		

地域住民の支え合いの必要性（全体、居住地区）

（単位：％）

	n	“必要である”		“必要でない”		その他	無回答
		必要である	ある程度必要である	あまり必要だとは思わない	必要ではない		
全体	1560	92.1		5.7		0.6	1.7
		31.3	60.8	4.7	1.0		
居住地区	忍	96.0		2.0		1.0	1.0
		32.0	64.0	2.0	0.0		
	行田	94.6		4.3		0.0	1.1
		28.0	66.7	1.1	3.2		
	佐間	93.0		5.4		0.0	1.6
		31.0	62.0	4.7	0.8		
	持田	93.0		4.7		0.8	1.6
		30.2	62.8	3.5	1.2		
	星河	95.2		4.2		0.0	0.6
		32.3	62.9	4.2	0.0		
	長野	91.0		6.0		0.5	2.5
		31.3	59.7	5.0	1.0		
	星宮	93.5		6.5		0.0	0.0
		32.3	61.3	3.2	3.2		
	下忍	84.2		13.2		0.0	2.6
		39.5	44.7	13.2	0.0		
	荒木	90.6		7.5		0.0	1.9
		39.6	50.9	5.7	1.9		
	須加	90.6		3.1		3.1	3.1
		31.3	59.4	3.1	0.0		
北河原	87.5		12.5		0.0	0.0	
	43.8	43.8	6.3	6.3			
埼玉	88.4		7.0		1.2	3.5	
	29.1	59.3	7.0	0.0			
太田	91.9		4.5		0.9	2.7	
	27.9	64.0	4.5	0.0			
太井	91.7		5.3		2.3	0.8	
	31.6	60.2	3.8	1.5			
南河原	88.7		9.7		0.0	1.6	
	29.0	59.7	9.7	0.0			
無回答	86.0		12.0		0.0	2.0	
	32.0	54.0	10.0	2.0			

(8) 近隣との付き合い

問9 地域での支え合いについてお尋ねします。

(2) 近隣との付き合いについて、次の中から1つに○を付けてください。



■「会えば話をする人がいる」が39.4%で最も多い。

近隣との付き合いについては、「会えば話をする人がいる」が39.4%で最も多く、次いで「顔を合わせれば挨拶をする人がいる」が28.5%、「いつも親しく付き合っている人がいる」が25.3%となっている。なお、「ほとんど付き合いはない」は5.0%にとどまる。

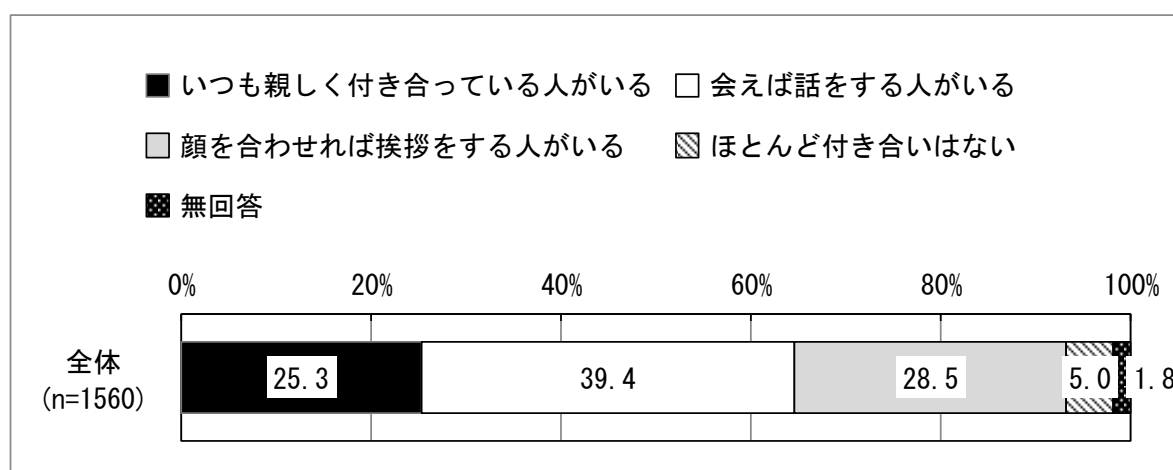
性別でみると、男女ともに「会えば話をする人がいる」が最も多くなっているが、「いつも親しく付き合っている人がいる」では女性(28.6%)が男性(21.2%)を上回り、「顔を合わせれば挨拶をする人がいる」では男性(33.5%)が女性(24.6%)を上回る。

年齢別でみると、40歳未満の層では「顔を合わせれば挨拶をする人がいる」、40歳以上の層では「会えば話をする人がいる」が最も多い。

居住年数別でみると、10年未満の層では「顔を合わせれば挨拶をする人がいる」、10年以上の層では「会えば話をする人がいる」が最も多い。

居住地区別でみると、忍、佐間、持田、星河、長野、星宮、下忍、荒木、埼玉、太田、太井、南河原では「会えば話をする人がいる」、行田では「顔を合わせれば挨拶をする人がいる」、須加では「いつも親しく付き合っている人」及び「顔を合わせれば挨拶をする人がいる」、北河原では「会えば話をする人がいる」及び「顔を合わせれば挨拶をする人がいる」が最も多くなっている。

近隣との付き合い（全体）



近隣との付き合い（全体、性別、年齢、居住年数、居住地区）

（単位：％）

		n	いつも 人が親しく 付き合い 合っている	会 えば話を する人が いる	顔を合 わせれば 挨拶をす る人が いる	ほとん ど付き合 いはない	無 回答
全体		1560	25.3	39.4	28.5	5.0	1.8
性別	男性	689	21.2	37.7	33.5	6.1	1.5
	女性	861	28.6	40.8	24.6	4.2	1.9
	無回答	10	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	11.8	26.8	45.7	15.7	0.0
	30～39 歳	151	11.3	26.5	49.0	11.9	1.3
	40～49 歳	209	17.2	40.2	36.4	4.3	1.9
	50～59 歳	228	20.2	40.8	33.8	4.8	0.4
	60～69 歳	360	29.4	46.1	21.4	2.5	0.6
	70 歳以上	471	36.5	41.2	16.1	2.3	3.8
	無回答	14	14.3	28.6	50.0	0.0	7.1
居住年数	5年未満	106	13.2	23.6	46.2	14.2	2.8
	5年以上 10 年未満	85	11.8	40.0	42.4	4.7	1.2
	10 年以上 15 年未満	80	17.5	37.5	32.5	10.0	2.5
	15 年以上 20 年未満	96	18.8	41.7	33.3	6.3	0.0
	20 年以上	1175	28.6	40.9	24.9	3.8	1.7
	無回答	18	11.1	27.8	50.0	0.0	11.1
居住地区	忍	100	28.0	38.0	33.0	0.0	1.0
	行田	93	11.8	30.1	47.3	9.7	1.1
	佐間	129	27.9	36.4	30.2	3.9	1.6
	持田	258	23.3	41.5	29.1	4.3	1.9
	星河	167	28.7	38.9	25.7	5.4	1.2
	長野	201	25.4	40.8	25.4	5.5	3.0
	星宮	31	16.1	41.9	29.0	12.9	0.0
	下忍	38	23.7	44.7	26.3	5.3	0.0
	荒木	53	30.2	47.2	17.0	5.7	0.0
	須加	32	31.3	28.1	31.3	6.3	3.1
	北河原	16	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0
	埼玉	86	33.7	41.9	17.4	4.7	2.3
	太田	111	30.6	42.3	18.0	4.5	4.5
	太井	133	24.1	38.3	33.8	3.0	0.8
	南河原	62	24.2	43.5	25.8	4.8	1.6
	無回答	50	12.0	34.0	40.0	12.0	2.0

5 少子・高齢化への対応について

(1) 少子化社会に対応するために重要なこと

問10 少子・高齢化社会に対応したまちづくりについてお尋ねします。

(1) 今後の少子化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

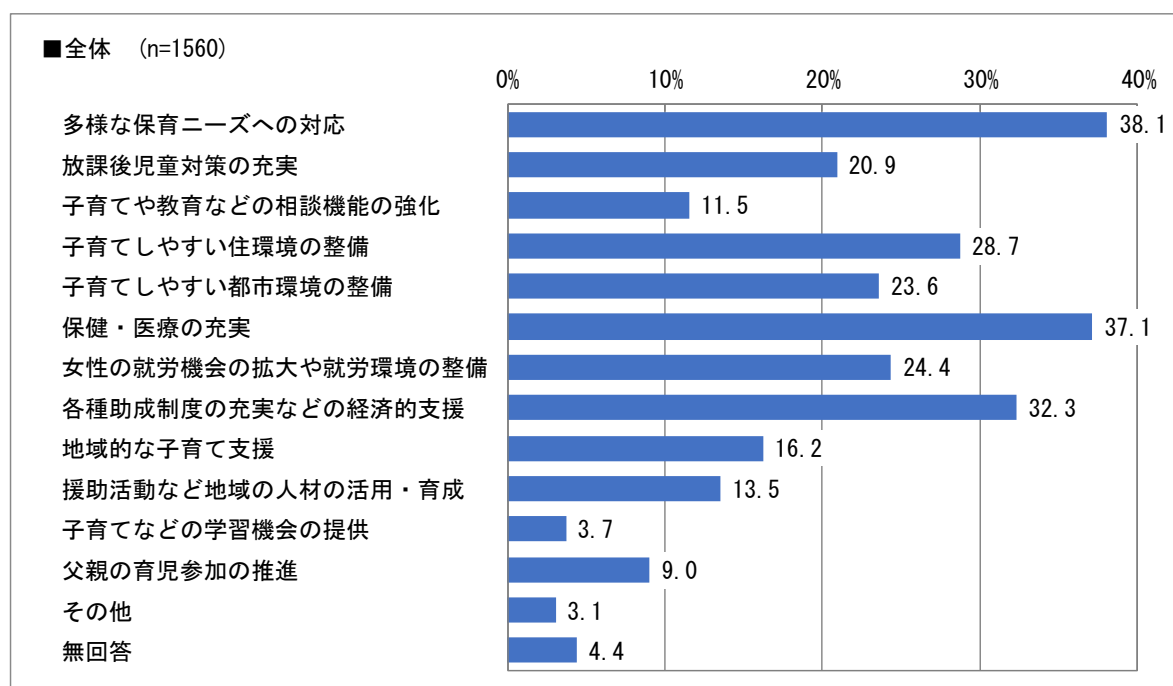
■「多様な保育ニーズへの対応」が第1位。次いで「保健・医療の充実」が続く。

少子化社会に対応するために重要なことは、「多様な保育ニーズへの対応」(38.1%)が第1位に挙げられ、次いで「保健・医療の充実」(37.1%)、「各種助成制度の充実などの経済的支援」(32.3%)、「子育てしやすい住環境の整備」(28.7%)などの順となっている。

性別でみると、女性では「多様な保育ニーズへの対応」(41.1%)、男性では「保健・医療の充実」(37.3%)が第1位に挙げられている。また、女性では「女性の就労機会の拡大や就労環境の整備」(28.0%)、男性では「子育てしやすい住環境の整備」(32.7%)と回答する割合が比較的多い。

年齢別でみると、70歳未満の層では「多様な保育ニーズへの対応」が、70歳以上では「保健・医療の充実」が第1位に挙げられている。また、50歳未満で「各種助成制度の充実などの経済的支援」、50～59歳、60～69歳で「保健・医療の充実」、70歳以上では「多様な保育ニーズへの対応」及び「子育てしやすい住環境の整備」が第2位に挙げられている。さらに、40～49歳では「放課後児童対策の充実」(31.1%)と回答する人が比較的多くなっている。

少子化社会に対応するために重要なこと (全体/複数回答)



少子化社会に対応するために重要なこと（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	多様な保育ニーズへの対応	放課後児童対策の充実	強化 子育てや教育などの相談機能の	子育てしやすい住環境の整備	子育てしやすい都市環境の整備	保健・医療の充実	女性の就労機会の拡大や就労環境の整備
性別	全体	1560	38.1	20.9	11.5	28.7	23.6	37.1	24.4
	男性	689	34.5	19.2	11.0	32.7	25.8	37.3	20.2
	女性	861	41.1	22.3	11.8	25.9	22.0	37.2	28.0
	無回答	10	20.0	20.0	20.0	0.0	10.0	20.0	0.0
年齢	18～29歳	127	49.6	18.1	9.4	37.0	30.7	33.9	26.8
	30～39歳	151	51.7	23.8	11.3	31.8	25.2	29.8	21.9
	40～49歳	209	44.0	31.1	12.4	23.4	25.8	34.4	29.2
	50～59歳	228	37.7	21.9	8.3	33.8	28.1	36.0	29.8
	60～69歳	360	41.9	19.4	12.8	28.9	23.9	40.3	25.3
	70歳以上	471	25.7	16.1	12.3	25.7	18.5	40.1	19.5
	無回答	14	21.4	42.9	14.3	14.3	0.0	21.4	7.1

		n	各種助成制度の充実などの 経済的支援	地域的な子育て支援	活用・育成 援助活動など地域の人材の	子育てなどの学習機会の提供	父親の育児参加の推進	その他	無回答
性別	全体	1560	32.3	16.2	13.5	3.7	9.0	3.1	4.4
	男性	689	34.7	17.9	15.1	4.2	7.1	3.6	3.6
	女性	861	30.8	15.0	12.4	3.4	10.6	2.6	4.5
	無回答	10	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	50.0
年齢	18～29歳	127	37.8	7.9	7.1	2.4	15.7	3.1	0.8
	30～39歳	151	41.1	11.3	12.6	4.0	16.6	2.6	0.0
	40～49歳	209	36.8	12.4	6.7	2.4	7.7	3.3	2.4
	50～59歳	228	30.7	13.2	10.1	3.5	7.5	4.4	1.3
	60～69歳	360	35.0	21.1	16.9	2.2	7.5	2.8	0.6
	70歳以上	471	25.1	19.7	17.6	5.7	7.4	2.8	11.5
	無回答	14	21.4	7.1	14.3	7.1	7.1	0.0	28.6

(2) 高齢化社会に対応するために重要なこと

問 10 少子・高齢化社会に対応したまちづくりについてお尋ねします。

(2) 今後の高齢化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

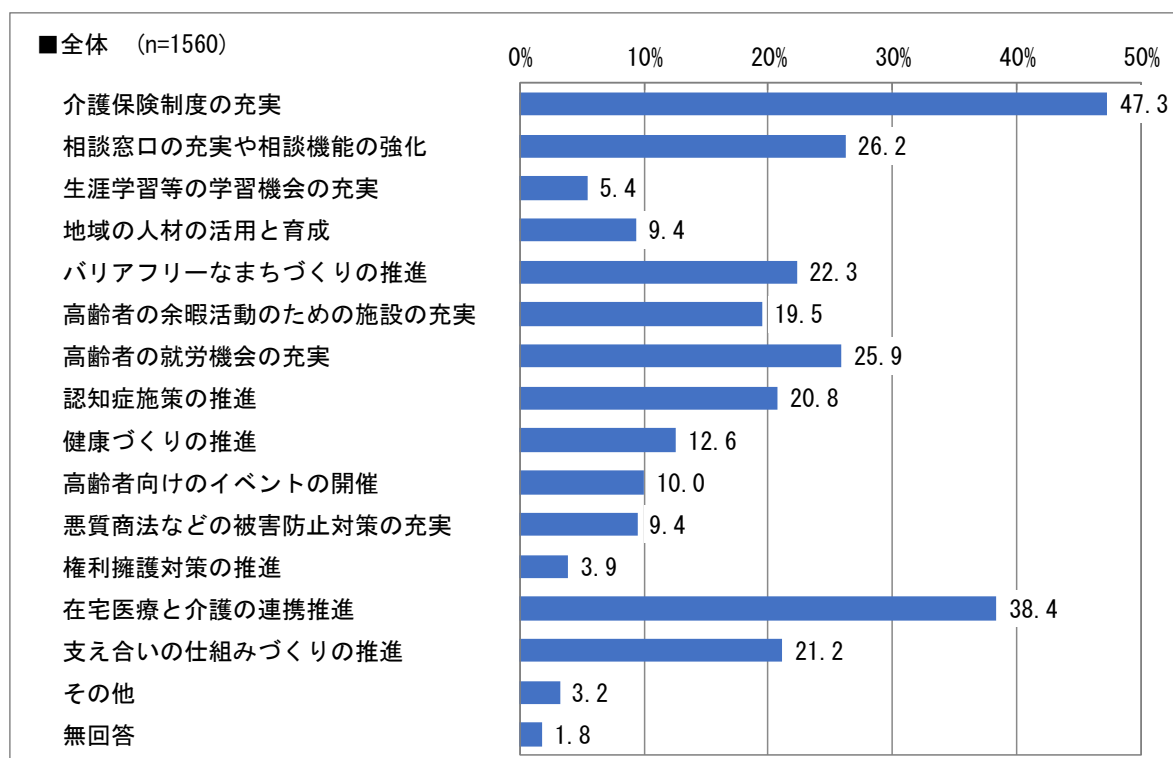
■ 「介護保険制度の充実」が第1位。次いで「在宅医療と介護の連携推進」、
「相談窓口の充実や相談機能の強化」、「高齢者の就労機会の充実」の順。

高齢化社会に対応するために重要なことは、「介護保険制度の充実」(47.3%)が第1位に挙げられ、次いで「在宅医療と介護の連携推進」(38.4%)、「相談窓口の充実や相談機能の強化」(26.2%)、「高齢者の就労機会の充実」(25.9%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「介護保険制度の充実」が第1位に挙げられている。

年齢別でみると、すべての層で「介護保険制度の充実」が第1位に挙げられている。また、18～29歳では「バリアフリーなまちづくりの推進」、30～39歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「在宅医療と介護の連携推進」、40～49歳では「高齢者の就労機会の充実」と回答する割合が比較的多い。

高齢化社会に対応するために重要なこと（全体／複数回答）



高齢化社会に対応するために重要なこと（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	介護保険制度の充実	機能強化 相談窓口の充実や相談	充実 生涯学習等の学習機会の	地域の人材の活用と育成	の推進 バリアフリーなまちづくり	の高齢者の余暇活動のため 施設の充実	高齢者の就労機会の充実	認知症施策の推進
全体		1560	47.3	26.2	5.4	9.4	22.3	19.5	25.9	20.8
性別	男性	689	46.0	26.3	6.7	11.6	21.3	19.3	27.9	21.2
	女性	861	48.3	26.2	4.4	7.7	23.2	19.6	24.6	20.4
	無回答	10	50.0	20.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0
	無回答	10	50.0	20.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0
年齢	18～29歳	127	42.5	20.5	7.1	8.7	35.4	26.0	26.8	25.2
	30～39歳	151	40.4	25.8	4.6	9.9	26.5	18.5	33.1	18.5
	40～49歳	209	46.4	26.3	4.3	9.1	20.6	17.7	39.7	16.7
	50～59歳	228	50.9	23.7	6.1	6.6	21.1	14.0	36.4	18.9
	60～69歳	360	48.1	26.9	7.8	13.1	21.7	20.6	28.3	20.3
	70歳以上	471	48.6	28.7	3.6	8.3	19.5	20.8	10.8	23.8
	無回答	14	57.1	21.4	7.1	0.0	14.3	14.3	7.1	7.1

		n	健康づくりの推進	高齢者向けのイベントの開催	悪質商法などの被害防止対策の充実	権利擁護対策の推進	在宅医療と介護の連携の推進	の支え合いの仕組みづくり	その他	無回答
全体		1560	12.6	10.0	9.4	3.9	38.4	21.2	3.2	1.8
性別	男性	689	10.6	10.3	9.4	3.9	37.2	21.6	3.2	1.7
	女性	861	14.1	9.9	9.4	3.8	39.7	20.8	3.3	1.6
	無回答	10	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0
	無回答	10	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0
年齢	18～29歳	127	11.8	9.4	18.9	3.1	28.3	11.0	4.7	0.8
	30～39歳	151	16.6	9.3	7.9	6.0	35.1	19.9	5.3	0.0
	40～49歳	209	6.7	7.7	11.5	4.8	38.8	18.2	5.3	2.9
	50～59歳	228	11.8	9.6	6.1	3.1	39.5	20.6	5.3	0.4
	60～69歳	360	12.5	11.1	7.5	5.0	37.2	22.5	1.9	0.3
	70歳以上	471	14.2	11.0	9.6	2.8	42.7	25.1	1.3	3.4
	無回答	14	21.4	0.0	7.1	0.0	28.6	14.3	0.0	21.4

6 施設・都市機能について

(1) 施設や都市機能整備のありかた

問 11 施設（公共施設、病院、福祉施設など）や都市機能のありかた（配置や場所）についてお尋ねします。今後、インフラや公共施設などの維持更新コストの増大が見込まれますが、施設・都市機能はどのように整備すべきだと思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

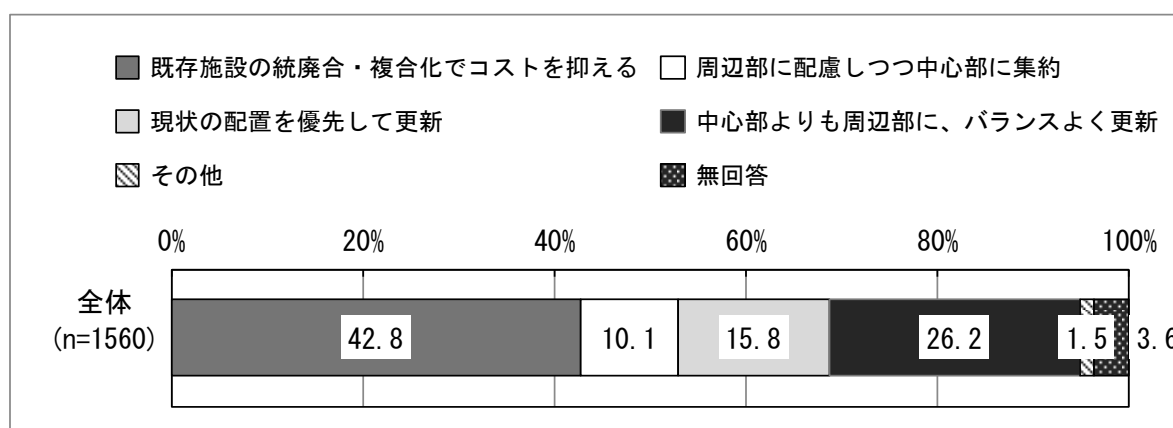
■「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」が約4割を占める。

施設や都市機能整備のありかたについては、「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」が42.8%と最も多く、次いで「中心部よりも周辺部に、バランスよく更新」(26.2%)、「現状の配置を優先して更新」(15.8%)、「周辺部に配慮しつつ中心部に集約」(10.1%)の順となっている。

性別、年齢別でみると、すべての層で「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」が最も多くなっている。

居住地区別でみると、忍、行田、佐間、持田、星河、長野、下忍、荒木、須加、太井では「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」、北河原、埼玉、太田、南河原では「中心部よりも周辺部に、バランスよく更新」、星宮では「既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える」及び「中心部よりも周辺部に、バランスよく更新」が第1位に挙げられている。

施設や都市機能のありかた（全体）



施設や都市機能のありかた（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

		n	既存施設の統廃合・複合化でコストを抑える	周辺部に配慮しつつ	現状の配置を優先して更新	中心部よりも周辺部に更新	その他	無回答
全体		1560	42.8	10.1	15.8	26.2	1.5	3.6
性別	男性	689	43.4	10.9	14.9	26.1	2.0	2.6
	女性	861	42.7	9.6	16.6	26.0	1.0	3.9
	無回答	10	10.0	0.0	0.0	50.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	40.2	18.9	15.0	23.6	2.4	0.0
	30～39 歳	151	40.4	13.9	11.9	33.8	0.0	0.0
	40～49 歳	209	48.3	8.1	16.3	24.4	1.4	1.4
	50～59 歳	228	49.6	10.5	10.1	25.0	2.2	2.6
	60～69 歳	360	45.0	9.7	15.8	27.8	1.1	0.6
	70 歳以上	471	37.8	7.9	20.0	24.0	1.5	8.9
	無回答	14	14.3	0.0	7.1	50.0	7.1	21.4
居住地区	忍	100	48.0	11.0	17.0	17.0	0.0	7.0
	行田	93	52.7	8.6	18.3	17.2	0.0	3.2
	佐間	129	47.3	14.0	22.5	14.0	0.8	1.6
	持田	258	45.7	12.0	15.9	21.3	1.9	3.1
	星河	167	42.5	7.2	16.8	28.1	1.8	3.6
	長野	201	43.8	10.4	14.4	26.9	2.0	2.5
	星宮	31	41.9	9.7	6.5	41.9	0.0	0.0
	下忍	38	47.4	5.3	13.2	26.3	0.0	7.9
	荒木	53	47.2	7.5	7.5	37.7	0.0	0.0
	須加	32	37.5	9.4	18.8	28.1	3.1	3.1
	北河原	16	12.5	0.0	12.5	62.5	0.0	12.5
	埼玉	86	33.7	9.3	15.1	36.0	2.3	3.5
	太田	111	32.4	5.4	16.2	37.8	2.7	5.4
	太井	133	45.9	12.8	12.8	24.1	2.3	2.3
	南河原	62	33.9	8.1	16.1	35.5	0.0	6.5
無回答	50	32.0	18.0	16.0	26.0	2.0	6.0	

(2) 市の環境

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

(1) 行田市の環境についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○をつけてください。行田市の環境について



■ “よい”と回答した割合は『⑤歴史や文化との調和』『①緑の整備状況』で多く、一方“悪い”は『③池や川の水のきれいさ』『⑦道のきれいさ』が多い。

市の環境について、8つの項目を設定して尋ねたところ、“よい”（「よいと感じる」及び「どちらかといえばよいと感じる」の合計）が最も多い項目は『⑤歴史や文化との調和』（41.6%）となっており、次いで『①緑の整備状況』（39.9%）が続く。一方、“悪い”（「どちらかといえば悪いと感じる」及び「悪いと感じる」の合計）は『③池や川の水のきれいさ』（27.5%）で最も多く、次いで『⑦道のきれいさ』（22.4%）が続く。

各項目で“悪い”と回答した割合をみると、性別では、男女ともに『③池や川の水のきれいさ』が最も多い。

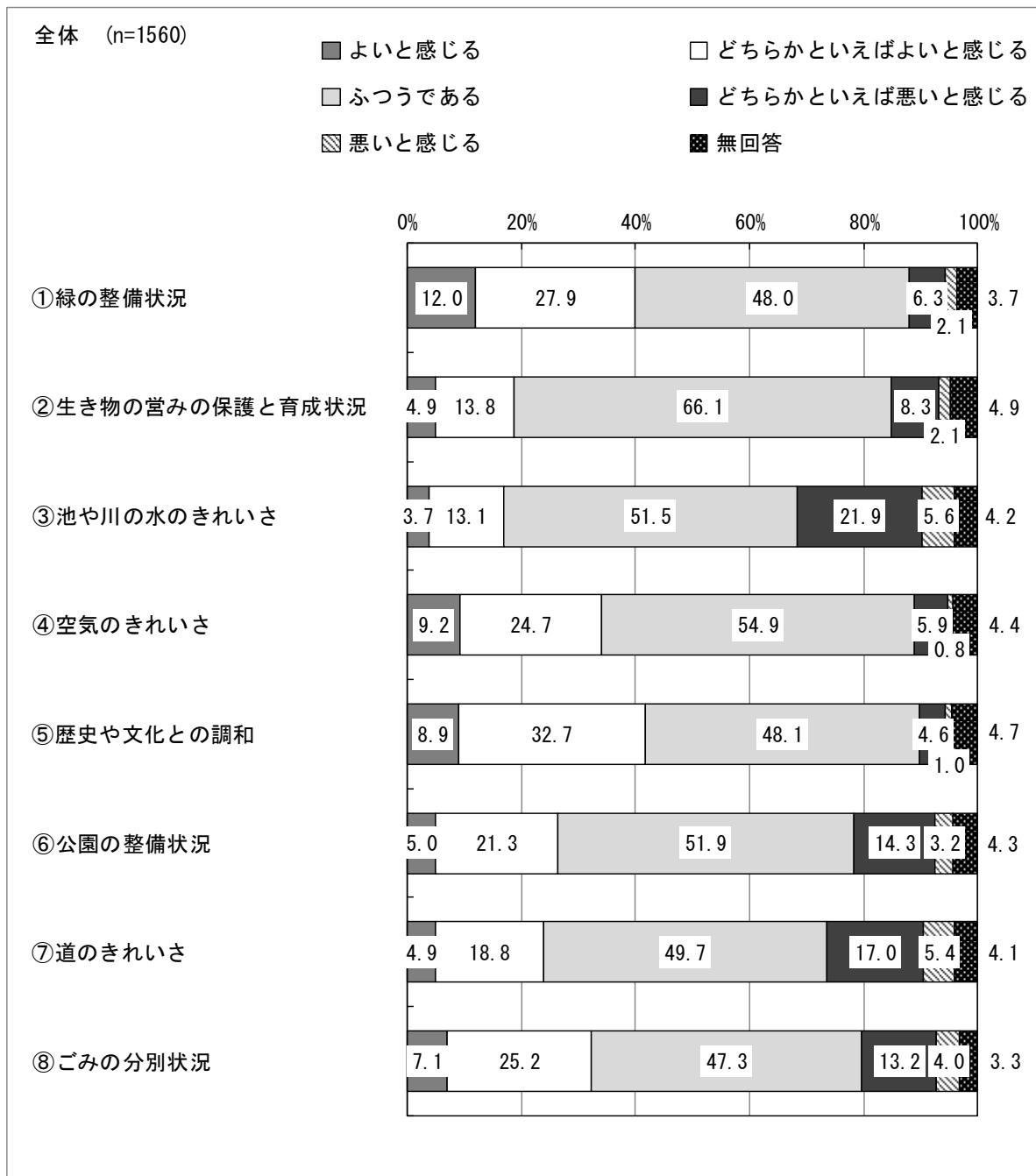
年齢別で“悪い”と回答した割合をみると、すべての層で『③池や川の水のきれいさ』が最も多く、特に30～39歳では37.1%が“悪い”と感じている。

居住年数別で“悪い”と回答した割合をみると、すべての層で『③池や川の水のきれいさ』が最も多く、続いて『⑦道のきれいさ』や『⑥公園の整備状況』が比較的多い傾向にある。

居住地区別で“悪い”と回答した割合をみると、ほとんどの地区で『③池や川の水のきれいさ』が最も多くなっているが、荒木では『③池や川の水のきれいさ』及び『⑧ごみの分別状況』、

須加では『⑧ごみの分別状況』、北河原では『③池や川の水のきれいさ』及び『⑥公園の整備状況』、太田では『⑦道のきれいさ』がそれぞれ最も多くなっている。

市の環境（全体）



市の環境について“悪い”と回答する割合（全体、性別、年齢、居住年数、居住地区）

（単位：％）

		n	① 緑の 整備 状況	② 育 成 生 き 物 の 営 み の 保 護 と	③ 池 や 川 の 水 の き れ い さ	④ 空 気 の き れ い さ	⑤ 歴 史 や 文 化 と の 調 和	⑥ 公 園 の 整 備 状 況	⑦ 道 の き れ い さ	⑧ ご み の 分 別 状 況
全体		1560	8.3	10.3	27.5	6.7	5.6	17.5	22.4	17.2
性別	男性	689	10.2	13.2	29.2	6.5	6.5	18.0	23.7	16.0
	女性	861	7.0	8.1	26.4	6.9	4.9	17.3	21.6	18.2
	無回答	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
年齢	18～29 歳	127	7.9	13.4	31.5	11.8	7.1	22.8	30.7	11.0
	30～39 歳	151	9.3	9.9	37.1	13.2	7.9	28.5	29.1	22.5
	40～49 歳	209	9.1	12.4	27.8	10.5	6.7	21.1	19.6	17.7
	50～59 歳	228	6.1	8.8	23.7	7.0	4.8	14.9	18.0	17.5
	60～69 歳	360	8.9	11.7	28.9	4.7	6.9	18.3	23.9	18.9
	70 歳以上	471	8.7	8.7	24.6	3.0	3.4	12.1	20.6	15.7
	無回答	14	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1
居住年数	5年未満	106	4.7	5.7	23.6	10.4	4.7	20.8	19.8	17.9
	5年以上 10 年未満	85	9.4	11.8	32.9	16.5	4.7	30.6	27.1	29.4
	10年以上 15 年未満	80	11.3	15.0	23.8	2.5	3.8	15.0	20.0	17.5
	15年以上 20 年未満	96	7.3	12.5	32.3	9.4	4.2	21.9	28.1	18.8
	20 年以上	1175	8.6	10.2	27.5	5.7	5.9	16.1	22.2	16.2
	無回答	18	0.0	5.6	16.7	5.6	11.1	16.7	11.1	11.1
居住地区	忍	100	5.0	7.0	31.0	6.0	7.0	13.0	14.0	12.0
	行田	93	4.3	11.8	29.0	5.4	3.2	23.7	18.3	11.8
	佐間	129	9.3	12.4	25.6	6.2	7.0	24.0	19.4	17.1
	持田	258	8.5	11.6	26.7	7.8	5.0	17.4	25.6	14.7
	星河	167	12.6	11.4	26.9	6.6	9.0	15.6	26.3	16.8
	長野	201	7.5	12.9	29.9	6.0	7.0	18.9	24.4	15.9
	星宮	31	6.5	6.5	38.7	6.5	3.2	32.3	25.8	16.1
	下忍	38	0.0	13.2	21.1	5.3	5.3	5.3	13.2	13.2
	荒木	53	5.7	5.7	30.2	9.4	5.7	11.3	26.4	30.2
	須加	32	6.3	0.0	9.4	3.1	6.3	15.6	12.5	18.8
	北河原	16	18.8	12.5	25.0	18.8	6.3	25.0	6.3	0.0
	埼玉	86	9.3	11.6	26.7	7.0	1.2	15.1	24.4	23.3
	太田	111	4.5	9.0	21.6	2.7	4.5	11.7	25.2	18.9
	太井	133	12.0	9.0	27.1	12.0	4.5	19.5	22.6	21.8
	南河原	62	6.5	6.5	35.5	3.2	3.2	17.7	21.0	25.8
無回答	50	16.0	8.0	32.0	4.0	6.0	16.0	22.0	14.0	

(3) 環境保全・改善のために強化すべき活動

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

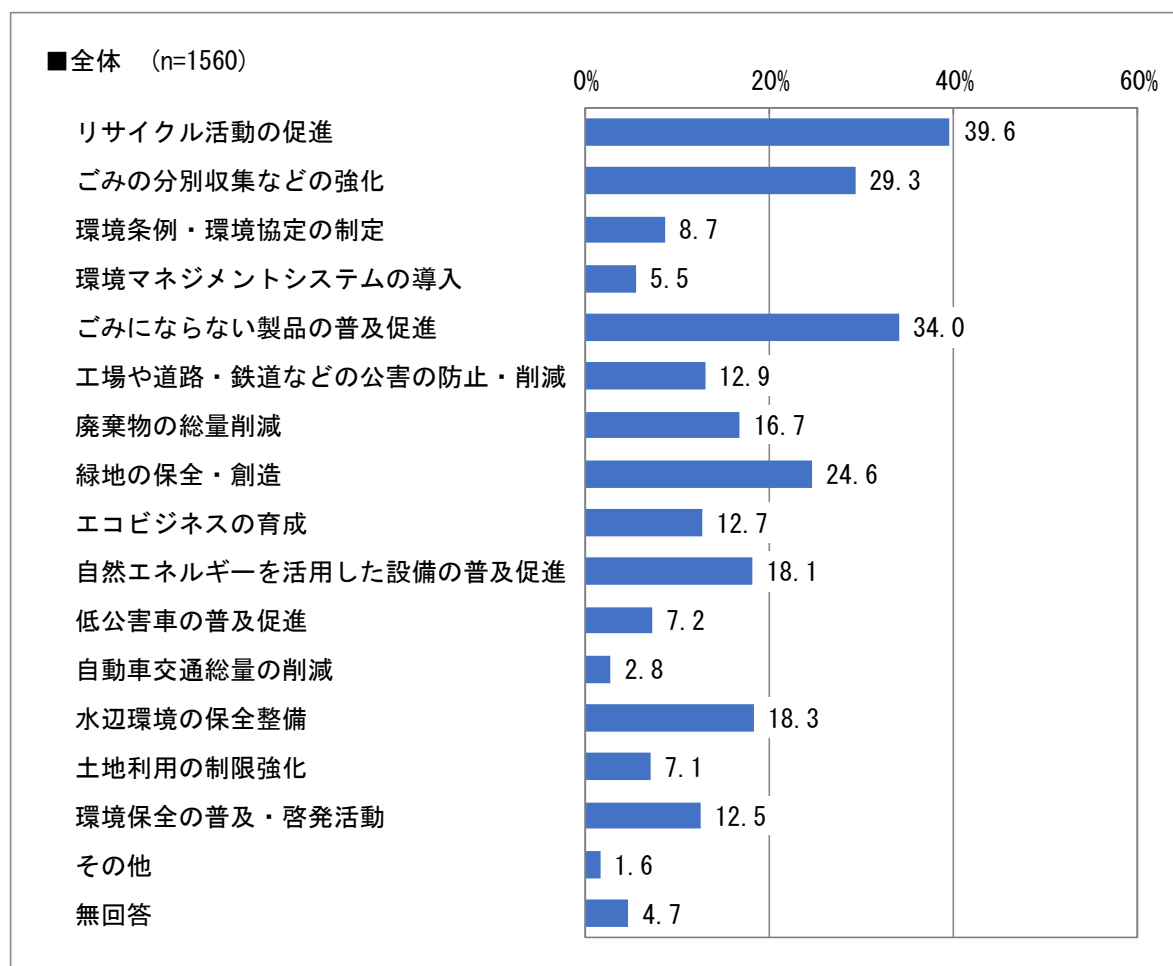
(2) 市の環境を保全・改善するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

■「リサイクル活動の促進」が第1位。次いで「ごみにならない製品の普及促進」が続く。

環境保全・改善のために強化すべき活動は、「リサイクル活動の促進」(39.6%)が第1位に挙げられ、次いで「ごみにならない製品の普及促進」(34.0%)、「ごみの分別収集などの強化」(29.3%)、「緑地の保全・創造」(24.6%)などの順となっている。

性別、年齢別でみると、すべての層で「リサイクル活動の促進」が第1位に挙げられている。

環境保全・改善のために強化すべき活動（全体／複数回答）



環境保全・改善のために強化すべき活動（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	リサイクル活動の促進	ごみの分別収集などの強化	環境条例・環境協定の制定	環境マネジメントシステムの導入	ごみにならない製品の普及促進	工場や道路・鉄道などの公害の防止・削減	廃棄物の総量削減	緑地の保全・創造	エコビジネスの育成
全体		1560	39.6	29.3	8.7	5.5	34.0	12.9	16.7	24.6	12.7
性別	男性	689	37.2	28.6	10.2	7.3	34.8	13.1	17.0	21.8	12.0
	女性	861	41.6	29.7	7.4	4.2	33.6	12.9	16.6	27.1	13.2
	無回答	10	40.0	40.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0
年齢	18～29 歳	127	40.9	22.8	6.3	3.9	26.8	22.8	20.5	22.8	19.7
	30～39 歳	151	36.4	29.8	4.6	7.3	31.1	17.9	18.5	27.8	12.6
	40～49 歳	209	38.3	28.7	4.8	5.7	27.3	14.8	15.8	28.2	15.8
	50～59 歳	228	36.8	26.8	10.5	5.3	31.6	13.6	14.5	23.7	17.1
	60～69 歳	360	41.9	31.4	9.7	5.6	40.0	10.3	16.7	25.3	11.9
	70 歳以上	471	40.1	30.6	10.2	5.5	37.4	9.8	16.8	22.3	8.3
	無回答	14	50.0	35.7	21.4	0.0	7.1	7.1	14.3	28.6	0.0

		n	自然エネルギーを普及促進した設備の普及促進	低公害車の普及促進	自動車交通総量の削減	水辺環境の保全整備	土地利用の制限強化	環境保全の普及・啓発活動	その他	無回答
全体		1560	18.1	7.2	2.8	18.3	7.1	12.5	1.6	4.7
性別	男性	689	19.7	9.3	3.0	21.9	7.5	15.1	2.5	3.6
	女性	861	17.0	5.7	2.6	15.4	6.7	10.6	0.9	5.2
	無回答	10	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0
年齢	18～29 歳	127	25.2	5.5	3.9	18.1	6.3	7.1	1.6	1.6
	30～39 歳	151	21.9	11.9	3.3	21.2	8.6	4.6	1.3	2.6
	40～49 歳	209	20.6	7.7	2.9	20.1	6.7	11.5	1.0	2.4
	50～59 歳	228	19.7	7.0	3.1	17.1	5.3	13.2	0.4	3.9
	60～69 歳	360	16.1	6.1	2.2	18.9	8.6	16.7	3.1	2.2
	70 歳以上	471	14.6	7.2	2.5	16.8	6.8	13.6	1.5	8.9
	無回答	14	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	21.4

(4) 市のごみ収集体制

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

(3) 市のごみ収集体制（収集回数や分別方法など）についてどのようにお考えですか。次の中から4つまで○を付けてください。【複数回答】

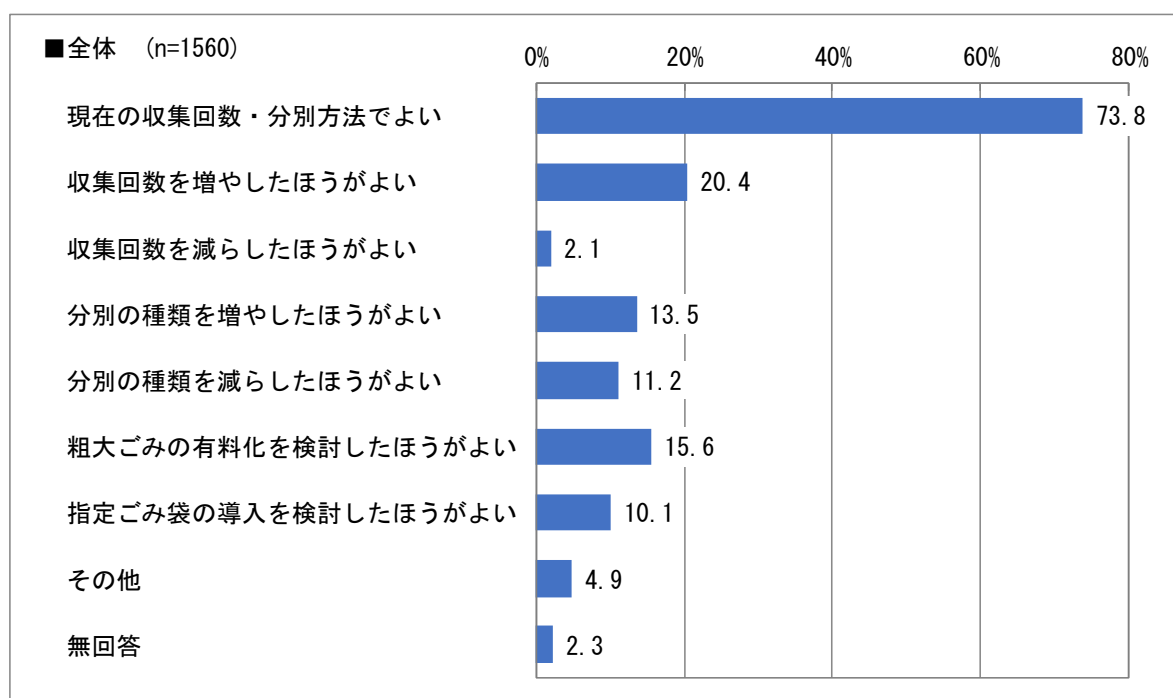
■「現在の収集回数・分別方法でよい」が他を大きく引き離して第1位。

ごみの収集回数については、「現在の収集回数・分別方法でよい」（73.8%）が他を大きく引き離して第1位となっており、多数の人が現状維持を望んでいることがうかがえる。次いで「収集回数を増やしたほうがよい」（20.4%）が続く。

性別、年齢別、居住年数別、居住地区別でも、すべての層で「現在の収集回数・分別方法でよい」が最も多くなっている。

また、居住地区別では、北河原で「分別の種類を減らしたほうがよい」と回答する割合が比較的多い。

市のごみ収集体制（全体／複数回答）



市のごみ収集体制（全体、性別、年齢、居住年数、居住地区／複数回答）

（単位：％）

		n	現在の収集回数・分別方法でよい	収集回数を増やしたほうがよい	収集回数を減らしたほうがよい	分別の種類を増やしたほうがよい	分別の種類を減らしたほうがよい	粗大ごみの有料化を検討	指定ごみ袋の導入を検討	その他	無回答
全体		1560	73.8	20.4	2.1	13.5	11.2	15.6	10.1	4.9	2.3
性別	男性	689	73.6	22.8	1.9	15.5	11.6	18.1	12.3	5.8	1.7
	女性	861	74.0	19.4	2.8	12.0	10.7	13.5	8.4	4.2	2.4
	無回答	10	70.0	10.0	0.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0	30.0
年齢	18～29 歳	127	72.4	22.8	2.4	7.1	11.0	7.9	6.3	6.3	0.0
	30～39 歳	151	60.3	27.8	3.3	12.6	17.2	11.3	7.3	4.6	0.0
	40～49 歳	209	72.2	22.0	1.4	11.5	10.5	10.0	7.2	6.7	0.5
	50～59 歳	228	68.0	22.8	1.3	11.8	9.6	12.3	6.6	4.8	1.3
	60～69 歳	360	76.9	20.3	2.8	16.4	10.6	16.9	11.4	4.7	0.8
	70 歳以上	471	79.8	17.0	2.8	15.1	10.8	22.1	13.6	4.0	5.5
	無回答	14	64.3	21.4	0.0	14.3	7.1	14.3	28.6	0.0	21.4
居住年数	5年未満	106	55.7	27.4	3.8	11.3	16.0	13.2	7.5	6.6	1.9
	5年以上 10 年未満	85	67.1	25.9	4.7	18.8	14.1	20.0	14.1	7.1	1.2
	10年以上 15 年未満	80	72.5	20.0	0.0	13.8	11.3	16.3	7.5	6.3	1.3
	15年以上 20 年未満	96	71.9	22.9	0.0	11.5	10.4	7.3	5.2	7.3	0.0
	20 年以上	1175	76.5	19.5	2.5	13.5	10.5	16.2	10.4	4.3	2.6
		無回答	18	50.0	38.9	0.0	11.1	16.7	11.1	27.8	0.0
居住地区	忍	100	77.0	20.0	2.0	13.0	8.0	20.0	10.0	5.0	1.0
	行田	93	78.5	20.4	3.2	9.7	11.8	17.2	8.6	3.2	3.2
	佐間	129	77.5	18.6	6.2	14.7	11.6	12.4	9.3	5.4	0.8
	持田	258	74.0	20.5	3.9	13.6	9.3	16.3	8.9	3.9	0.8
	星河	167	76.0	19.2	0.0	12.0	13.8	14.4	10.2	3.0	4.2
	長野	201	76.1	19.9	2.5	10.4	12.4	12.9	8.5	7.5	1.5
	星宮	31	67.7	16.1	0.0	6.5	16.1	9.7	12.9	0.0	6.5
	下忍	38	73.7	18.4	2.6	18.4	2.6	2.6	13.2	2.6	5.3
	荒木	53	73.6	20.8	0.0	15.1	11.3	24.5	15.1	7.5	0.0
	須加	32	68.8	18.8	0.0	18.8	12.5	18.8	12.5	3.1	3.1
	北河原	16	81.3	6.3	0.0	25.0	37.5	25.0	25.0	6.3	0.0
	埼玉	86	60.5	27.9	2.3	17.4	12.8	12.8	7.0	8.1	5.8
	太田	111	73.9	28.8	0.0	11.7	7.2	11.7	4.5	3.6	1.8
	太井	133	75.2	18.8	3.8	12.0	9.8	13.5	7.5	5.3	1.5
	南河原	62	64.5	19.4	1.6	24.2	9.7	27.4	19.4	6.5	4.8
	無回答	50	66.0	28.0	0.0	16.0	16.0	26.0	26.0	4.0	4.0

(5) 収集回数を増やしたほうがよいごみ

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

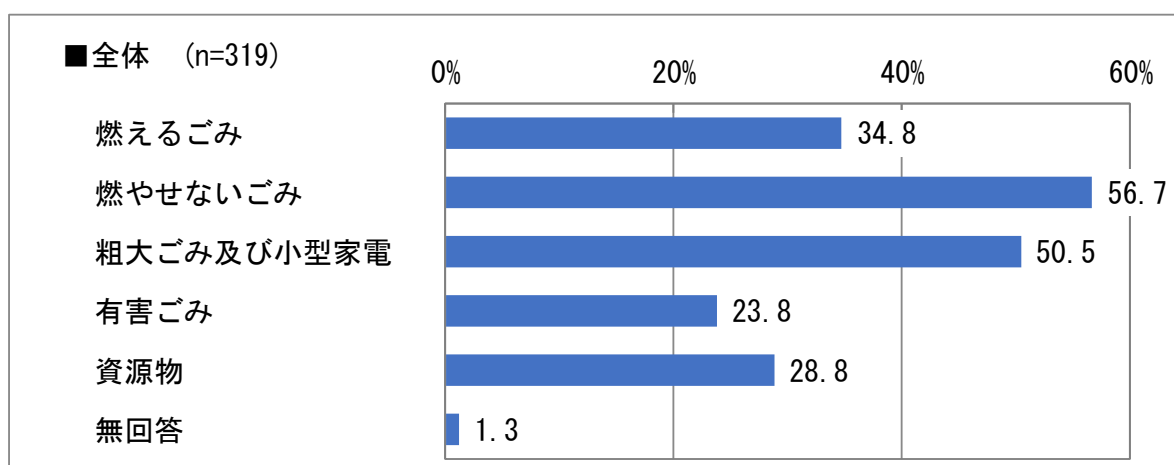
(4) 【(3)で「2. 収集回数を増やしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回収を増やしたほうがよいごみの種類は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■収集回数を増やしたほうがよいごみは、「燃やせないごみ」及び「粗大ごみ及び小型家電」。

ごみ収集回数を増やしたほうがよいと回答した人（319人）にその種類を尋ねたところ、「燃やせないごみ」（56.7%）及び「粗大ごみ及び小型家電」（50.5%）が上位に挙げられている。

性別で見ると、男性では「燃やせないごみ」（58.7%）が最も多く、女性では「燃やせないごみ」及び「粗大ごみ及び小型家電」（同率55.2%）が最も多くなっている。

収集回数を増やしたほうがよいごみ（全体／複数回答）



収集回数を増やしたほうがよいごみ（全体、性別／複数回答）

(単位: %)

		n	燃えるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ及び小型家電	有害ごみ	資源物	無回答
全体		319	34.8	56.7	50.5	23.8	28.8	1.3
性別	男性	155	33.5	58.7	45.8	21.9	23.2	1.9
	女性	163	35.6	55.2	55.2	25.8	34.4	0.6
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(6) 収集回数を減らしたほうがよいごみ

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

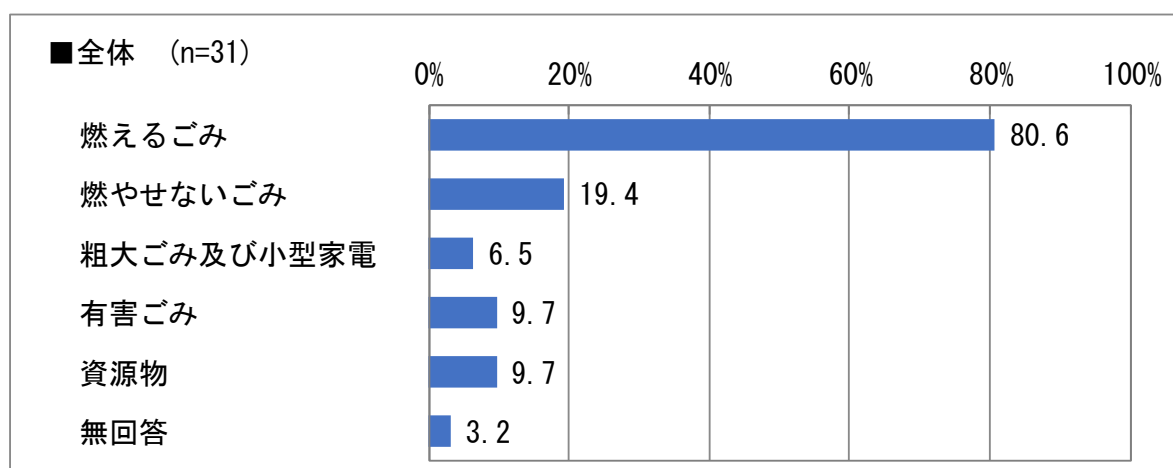
(5) 【(3)で「3. 収集回数を減らしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回収を減らしたほうがよいごみの種類は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■収集回数を減らしたほうがよいごみは「燃えるごみ」。

ごみ収集回数を減らしたほうがよいと回答した人(31人)にその種類を尋ねたところ、「燃えるごみ」(80.6%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられている。

性別でみると、男女ともに「燃えるごみ」が最も多い。

収集回数を減らしたほうがよいごみ(全体/複数回答)



収集回数を減らしたほうがよいごみ(全体、性別/複数回答)

(単位: %)

		n	燃えるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ及び小型家電	有害ごみ	資源物	無回答
全体		31	80.6	19.4	6.5	9.7	9.7	3.2
性別	男性	11	72.7	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1
	女性	20	85.0	20.0	5.0	10.0	5.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

7 健康について

(1) 自分が健康だと思うか

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(1) あなたは、自分が健康であると思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

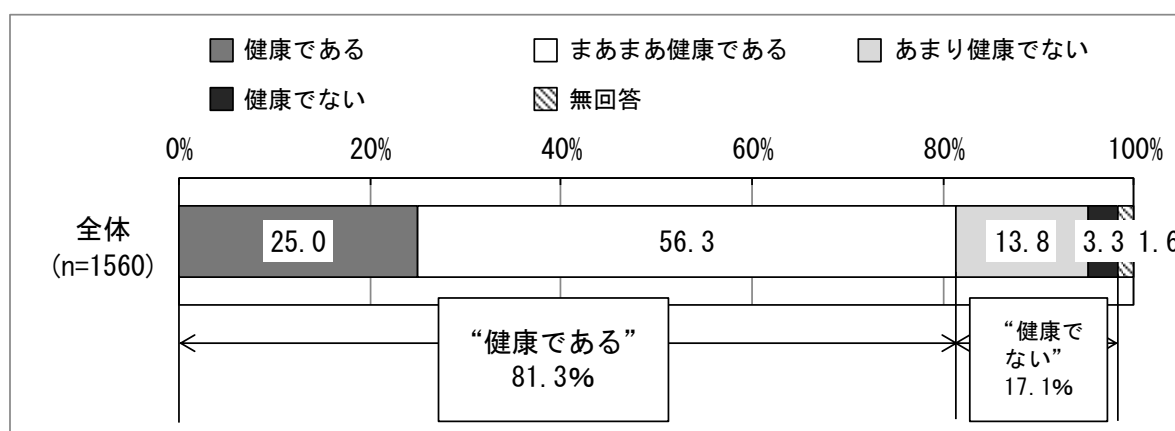
■ “健康である” は 81.3%。一方、“健康でない” は 17.1%。

自分の健康については、「まあまあ健康である」が 56.3%で最も多く、これに「健康である」(25.0%)を合わせた“健康である”が 81.3%と8割を超える。一方、“健康でない”(「健康でない」及び「あまり健康でない」の合計)は 17.1%となっている。

性別でみると、男女ともに“健康である”がほぼ8割となっている。

年齢別でみると、70歳未満の層で“健康である”が8割を超え、30～39歳で 90.1%と最も多くなっている。また、70歳以上では“健康である”が 74.9%となっている。一方、“健康でない”は 70歳以上で 21.7%と最も多い。

自分が健康だと思うか (全体)



自分が健康だと思うか（全体、性別、年齢）

（単位：％）

		n	“健康である”		“健康でない”		無回答
			健康である	まあまあ健康である	あまり健康でない	健康でない	
全体		1560	81.3		17.1		1.6
			25.0	56.3	13.8	3.3	
性別	男性	689	79.8		18.4		1.7
			23.4	56.5	14.1	4.4	
	女性	861	83.2		15.6		1.3
			26.5	56.7	13.1	2.4	
無回答		10	30.0		50.0		20.0
			10.0	20.0	50.0	0.0	
年齢	18～29 歳	127	87.4		12.6		0.0
			48.0	39.4	11.0	1.6	
	30～39 歳	151	90.1		9.3		0.7
			31.8	58.3	7.3	2.0	
	40～49 歳	209	80.9		17.7		1.4
			26.3	54.5	15.3	2.4	
	50～59 歳	228	82.0		17.1		0.9
			21.1	61.0	14.9	2.2	
	60～69 歳	360	84.7		15.0		0.3
			22.5	62.2	12.5	2.5	
70 歳以上	471	74.9		21.7		3.4	
		20.2	54.8	15.9	5.7		
無回答		14	57.1		28.6		14.3
			14.3	42.9	28.6	0.0	

(2) どのくらい体を動かしているか

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(2) あなたは、日ごろ、どのくらい体を動かすことを意識していますか。次の中から1つに○を付けてください。

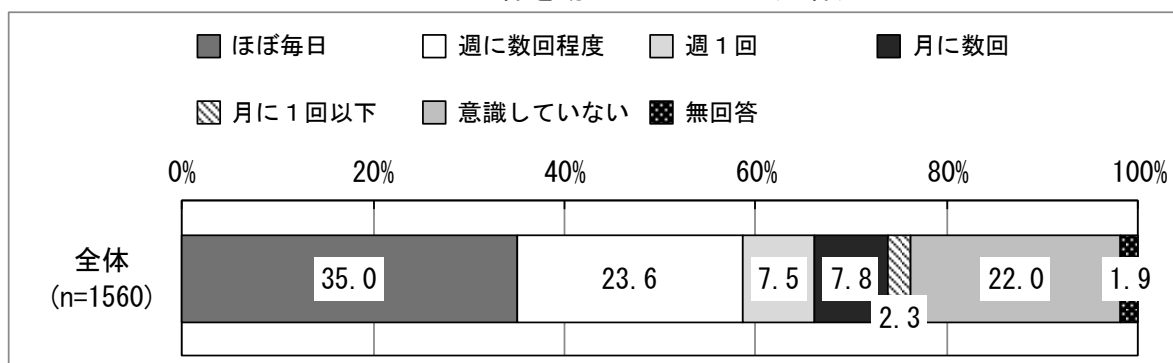
■「ほぼ毎日」が35.0%で最も多く、体を動かすことを意識している人は7割以上となっている。

どのくらい体を動かしているかについては、「ほぼ毎日」が35.0%で最も多く、「週に数回程度」が23.6%、「週1回」が7.5%、「月に数回」が7.8%、「月に1回以下」が2.3%となっており、これらを合わせた体を動かすことを意識している人は76.2%と7割を超える。一方、「意識していない」は22.0%であった。

性別でみると、男女ともに「ほぼ毎日」が最も多くなっている。

年齢別でみると、体を動かすことを意識している人が加齢とともに増加しており、特に70歳以上では「ほぼ毎日」が50.3%となっている。一方、30～39歳、40～49歳では「意識していない」(33.8%、35.9%)が3割を超えている。

どのくらい体を動かしているか (全体)



どのくらい体を動かしているか (全体、性別、年齢)

(単位: %)

	n	ほぼ毎日	週に数回程度	週1回	月に数回	月に1回以下	意識していない	無回答	
全体	1560	35.0	23.6	7.5	7.8	2.3	22.0	1.9	
性別	男性	689	35.0	25.3	7.7	7.5	2.9	20.3	1.3
	女性	861	34.7	22.4	7.3	8.0	1.9	23.6	2.1
	無回答	10	60.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年齢	18～29歳	127	25.2	24.4	3.9	14.2	1.6	29.1	1.6
	30～39歳	151	15.9	19.2	10.6	15.2	4.6	33.8	0.7
	40～49歳	209	20.6	15.8	10.5	11.0	4.8	35.9	1.4
	50～59歳	228	26.3	20.2	11.0	10.1	4.4	26.8	1.3
	60～69歳	360	40.3	28.6	6.4	4.7	1.4	17.8	0.8
	70歳以上	471	50.3	26.1	5.1	3.6	0.4	11.3	3.2
	無回答	14	35.7	21.4	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3

(3) 食育への取組

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(3) あなたは、次の「食育（食生活に関する教育）」に関する取り組みで、日々の生活に取り入れたいと思うものがありますか。次の中から5つまで○を付けてください。【複数回答】

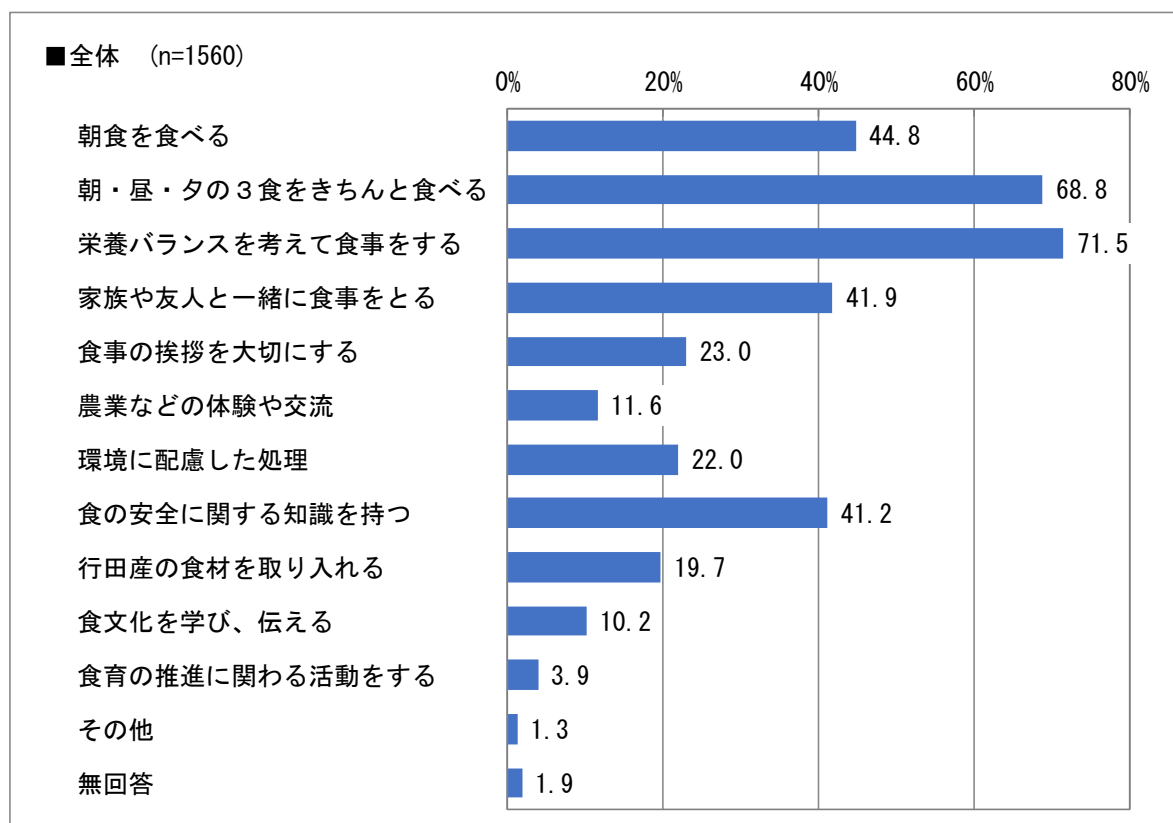


■「栄養バランスを考えて食事をする」及び「朝・昼・夕の3食をきちんと食べる」が上位を占める。

食育への取組については、「栄養バランスを考えて食事をする」(71.5%) 及び「朝・昼・夕の3食をきちんと食べる」(68.8%) がほぼ7割となっており、他を大きく引き離して上位を占める。次いで「朝食を食べる」(44.8%)、「家族や友人と一緒に食事をする」(41.9%)、「食の安全に関する知識を持つ」(41.2%) などの順となっている。

性別、年齢別でも、すべての層で「栄養バランスを考えて食事をする」及び「朝・昼・夕の3食をきちんと食べる」が上位を占める。

食育への取り組み（全体／複数回答）



食育への取り組み（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	朝食を食べる	朝食・昼・夕の3食をきちんと食べる	栄養バランスを考えて食事をする	家族や友人と一緒に食事をとる	食事の挨拶を大切にす	農業などの体験や交流	環境に配慮した処理
全体		1560	44.8	68.8	71.5	41.9	23.0	11.6	22.0
性別	男性	689	44.6	68.5	68.8	35.8	20.2	12.5	21.0
	女性	861	45.1	69.1	73.9	46.7	25.2	10.9	22.8
	無回答	10	40.0	70.0	60.0	40.0	30.0	10.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	44.9	60.6	65.4	43.3	27.6	11.0	15.0
	30～39 歳	151	44.4	58.9	74.2	51.0	31.8	17.9	19.9
	40～49 歳	209	39.7	60.3	69.9	44.5	20.6	18.7	17.2
	50～59 歳	228	40.4	59.2	71.5	37.7	19.7	11.4	21.1
	60～69 歳	360	51.1	73.1	75.0	40.3	23.1	10.6	25.6
	70 歳以上	471	44.8	79.2	70.9	40.8	21.4	7.4	24.8
	無回答	14	35.7	78.6	57.1	35.7	28.6	14.3	7.1

		n	食の安全に関する知識を持つ	行田産の食材を取り入れる	食文化を学び、伝える	食育の推進に関わる活動をする	その他	無回答
全体		1560	41.2	19.7	10.2	3.9	1.3	1.9
性別	男性	689	40.1	17.0	9.1	2.6	1.2	1.9
	女性	861	42.2	21.7	11.1	4.9	1.4	1.6
	無回答	10	30.0	40.0	0.0	10.0	0.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	36.2	18.1	8.7	2.4	1.6	0.0
	30～39 歳	151	37.1	17.2	13.9	1.3	0.7	0.7
	40～49 歳	209	38.3	18.2	15.3	6.2	1.0	1.4
	50～59 歳	228	42.1	20.6	11.0	3.9	0.9	1.3
	60～69 歳	360	45.8	22.2	11.4	4.7	1.4	1.1
	70 歳以上	471	41.6	18.9	6.2	3.6	1.7	3.4
	無回答	14	21.4	35.7	0.0	0.0	0.0	14.3

(4) 健康診断や検査の受診

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。
 (4) あなたは、過去1年以内に健康診断や検査を受けましたか。項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

①血圧、血液検査などの健康診査

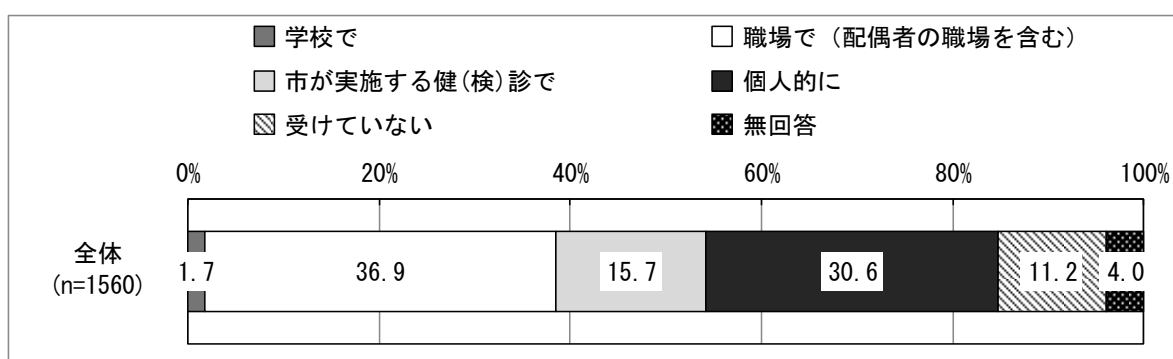
■「職場で（配偶者の職場を含む）」が36.9%で最も多く、次いで「個人的に」が30.6%で続き、受診した人は合わせて8割を超える。一方、「受けていない」は11.2%。

血圧、血液検査などの健康診査については、「職場で（配偶者の職場を含む）」が36.9%で最も多く、次いで「個人的に」（30.6%）、「市が実施する健診で」（15.7%）、「学校で」（1.7%）となっており、これらを合わせた受診した人は84.9%となっている。なお、「受けていない」は11.2%であった。

性別でみると、男女とも「職場で（配偶者の職場を含む）」が最も多い。また、「受けていない」という回答は女性（13.8%）が男性（8.0%）を上回る。

年齢別にみると、60歳未満の層では「職場で（配偶者の職場を含む）」、60歳以上では「個人的に」が最も多い。

血圧、血液検査などの健康診査（全体）



血圧、血液検査などの健康診査（全体、性別、年齢）

(単位:%)

		n	学校で	職場で(配偶者の職場を含む)	市が実施する健診で	個人的に	受けていない	無回答
全体		1560	1.7	36.9	15.7	30.6	11.2	4.0
性別	男性	689	2.0	40.9	14.5	31.5	8.0	3.0
	女性	861	1.4	34.0	16.4	30.2	13.8	4.2
	無回答	10	0.0	0.0	40.0	0.0	10.0	50.0
年齢	18～29歳	127	18.1	55.1	0.8	8.7	15.0	2.4
	30～39歳	151	0.7	60.9	2.0	14.6	18.5	3.3
	40～49歳	209	0.5	66.0	3.8	13.9	12.4	3.3
	50～59歳	228	0.0	61.4	3.1	22.8	11.4	1.3
	60～69歳	360	0.0	30.6	19.2	38.6	9.4	2.2
	70歳以上	471	0.0	4.7	33.1	46.9	8.7	6.6
	無回答	14	7.1	21.4	7.1	21.4	7.1	35.7

②胃がん検診

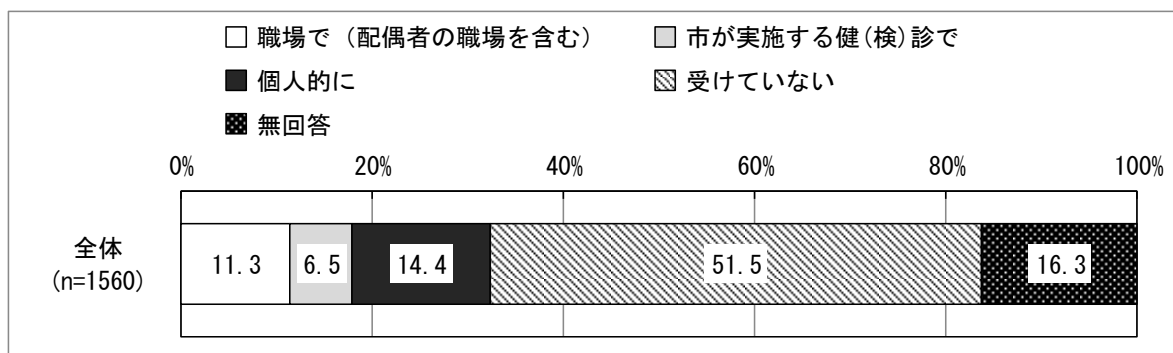
■ 「受けていない」が51.5%。一方、受診した人は32.2%。

胃がん検診については、「受けていない」が51.5%と半数以上を占め、「個人的に」が14.4%、「職場で（配偶者の職場を含む）」が11.3%、「市が実施する健診で」が6.5%となっており、受診した人は合わせて32.2%であった。

性別でみると、男女ともに「受けていない」が多数を占めるが、受診した人は男性で36.8%、女性で29.0%となっている。

年齢別でみると、40歳未満の層では「受けていない」が多数を占める。また、40～49歳、50～59歳では「職場で（配偶者の職場を含む）」（24.4%、25.9%）、60～69歳、70歳以上では「個人的に」（18.1%、22.1%）と回答する割合が比較的多い。

胃がん検診（全体）



胃がん検診（全体、性別、年齢）

（単位：%）

		n	職場で（配偶者の職場を含む）	市が実施する健診で	個人的に	受けていない	無回答
全体		1560	11.3	6.5	14.4	51.5	16.3
性別	男性	689	14.2	7.8	14.8	47.9	15.2
	女性	861	9.2	5.6	14.2	54.8	16.3
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
年齢	18～29歳	127	2.4	0.0	2.4	81.9	13.4
	30～39歳	151	9.3	0.0	2.0	74.8	13.9
	40～49歳	209	24.4	1.0	6.2	56.5	12.0
	50～59歳	228	25.9	3.1	14.9	46.9	9.2
	60～69歳	360	12.2	10.8	18.1	46.1	12.8
	70歳以上	471	1.3	11.5	22.1	40.3	24.8
	無回答	14	0.0	0.0	14.3	35.7	50.0

③肺がん検診

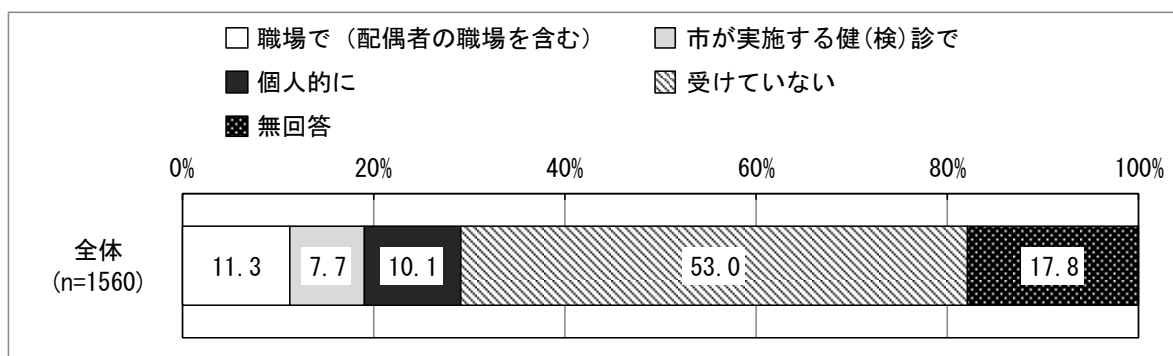
■ 「受けていない」が53.0%。一方、受診した人は29.1%。

肺がん検診については、「受けていない」が53.0%と半数以上を占め、「職場で（配偶者の職場を含む）」が11.3%、「個人的に」が10.1%、「市が実施する健診で」が7.7%となっており、受診した人は合わせて29.1%であった。

性別でみると、男女ともに「受けていない」が多数を占めるが、受診した人は男性で34.9%、女性で24.8%となっている。

年齢別でみると、40歳未満の層では「受けていない」が多数を占める。また、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「職場で（配偶者の職場を含む）」（17.7%、25.4%、15.3%）、70歳以上では、「市が実施する健診で」（15.9%）と回答する割合が比較的多い。

肺がん検診（全体）



肺がん検診（全体、性別、年齢）

（単位：%）

		n	職場で（配偶者の職場を含む）	市が実施する健診で	個人的に	受けていない	無回答
全体		1560	11.3	7.7	10.1	53.0	17.8
性別	男性	689	14.5	7.8	12.6	48.9	16.1
	女性	861	8.9	7.7	8.2	56.8	18.4
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
年齢	18～29歳	127	4.7	0.0	0.8	81.1	13.4
	30～39歳	151	9.3	0.0	0.7	76.2	13.9
	40～49歳	209	17.7	1.0	3.8	64.1	13.4
	50～59歳	228	25.4	2.6	10.1	50.0	11.8
	60～69歳	360	15.3	10.3	14.2	45.6	14.7
	70歳以上	471	1.5	15.9	15.7	40.6	26.3
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	42.9	57.1

④大腸がん検診

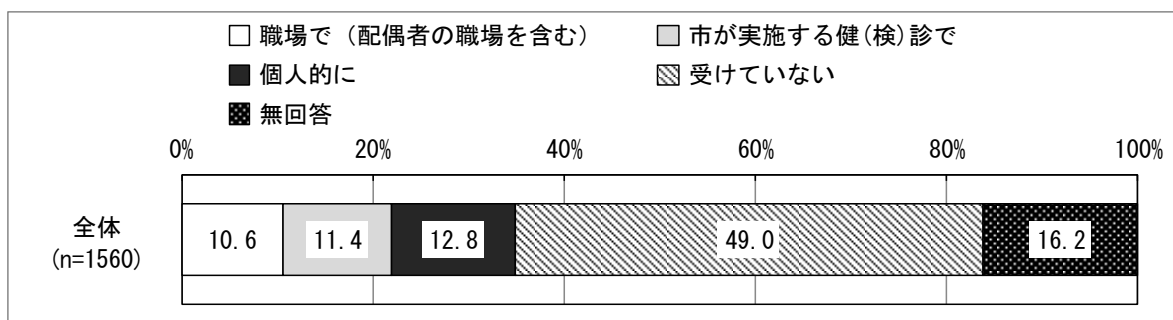
■「受けていない」が49.0%。一方、受診した人は34.8%。

大腸がん検診については、「受けていない」が49.0%で約半数を占め、「個人的に」が12.8%、「市が実施する健診で」が11.4%、「職場で（配偶者の職場を含む）」が10.6%、となっており、受診した人は合わせて34.8%であった。

性別でみると、男女ともに「受けていない」が約半数を占めるが、受診した人は男性で38.6%、女性で32.3%となっている。

年齢別でみると、40歳未満の層では「受けていない」が多数を占める。また、40～49歳、50～59歳では「職場で（配偶者の職場を含む）」（21.5%、23.7%）、60～69歳、70歳以上では「個人的に」（17.5%、19.3%）及び「市が実施する健診で」（16.9%、21.2%）と回答する割合が比較的多い。

大腸がん検診（全体）



大腸がん検診（全体、性別、年齢）

（単位：%）

		n	職場で（配偶者の職場を含む）	市が実施する健診で	個人的に	受けていない	無回答
全体		1560	10.6	11.4	12.8	49.0	16.2
性別	男性	689	12.6	11.5	14.5	47.6	13.8
	女性	861	9.2	11.5	11.6	50.5	17.2
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
年齢	18～29歳	127	2.4	0.0	1.6	81.1	15.0
	30～39歳	151	7.3	0.0	1.3	76.8	14.6
	40～49歳	209	21.5	2.9	7.2	54.5	13.9
	50～59歳	228	23.7	4.8	10.5	50.0	11.0
	60～69歳	360	13.3	16.9	17.5	41.9	10.3
	70歳以上	471	1.1	21.2	19.3	34.4	24.0
	無回答	14	0.0	0.0	21.4	28.6	50.0

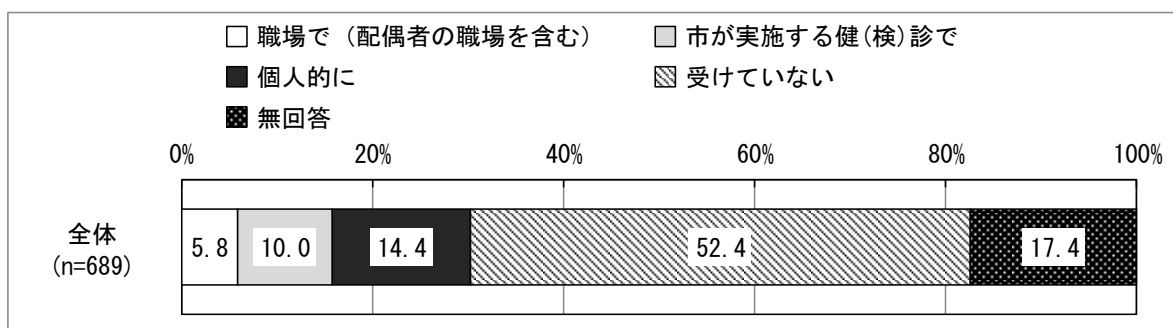
⑤前立腺がん検診(男性のみ)

■「受けていない」が52.4%。一方、受診した人は30.2%。

前立腺がん検診については、「受けていない」が52.4%と半数以上を占め、受診した人では「個人的に」が14.4%、「市が実施する健診で」が10.0%、「職場で（配偶者の職場を含む）」が5.8%となっており、受診した人は合わせて30.2%であった。

年齢別でみると、60歳未満の層では「受けていない」が6割以上、60～69歳、70歳以上では「市が実施する健診で」（13.5%、19.0%）及び「個人的に」（18.2%、26.5%）と回答する割合が比較的多い。

前立腺がん（男性のみ）（全体）



前立腺がん（男性のみ）（全体、年齢）

（単位：%）

		n	職場で（配偶者の職場を含む）	市が実施する健診で	個人的に	受けていない	無回答
全体		689	5.8	10.0	14.4	52.4	17.4
年齢	18～29歳	52	0.0	0.0	0.0	84.6	15.4
	30～39歳	64	6.3	0.0	0.0	71.9	21.9
	40～49歳	74	8.1	0.0	2.7	66.2	23.0
	50～59歳	98	11.2	3.1	5.1	67.3	13.3
	60～69歳	170	9.4	13.5	18.2	48.8	10.0
	70歳以上	226	1.3	19.0	26.5	31.4	21.7
	無回答	5	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0

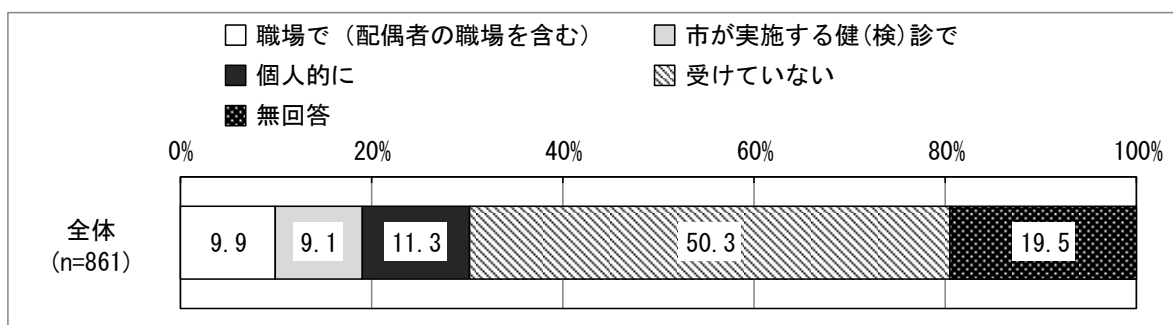
⑥乳がん検診(女性のみ)

■ 「受けていない」が50.3%。一方、受診した人は30.3%。

乳がん検診については、「受けていない」が50.3%とほぼ半数を占め、「個人的に」が11.3%、「職場で(配偶者の職場を含む)」が9.9%、「市が実施する健診で」が9.1%となっており、受診した人は合わせて30.3%であった。

年齢別でみると、18～29歳、30～39歳では「受けていない」(78.7%、64.4%)が多数を占める。また、受診したなかでは、40～49歳、50～59歳が「職場で(配偶者の職場を含む)」(20.0%、23.8%)、60～69歳、70歳以上では、「市が実施する健診で」(15.3%、10.5%)と回答する割合が比較的多い。

乳がん検診(女性のみ)(全体)



乳がん検診(女性のみ)(全体、年齢)

(単位: %)

	n	職場で(配偶者の職場を含む)	市が実施する健診で	個人的に	受けていない	無回答	
全体	861	9.9	9.1	11.3	50.3	19.5	
年齢	18～29歳	75	2.7	1.3	4.0	78.7	13.3
	30～39歳	87	9.2	8.0	9.2	64.4	9.2
	40～49歳	135	20.0	6.7	17.0	48.1	8.1
	50～59歳	130	23.8	5.4	13.1	44.6	13.1
	60～69歳	190	7.4	15.3	14.7	45.8	16.8
	70歳以上	239	0.8	10.5	7.1	43.9	37.7
	無回答	5	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0

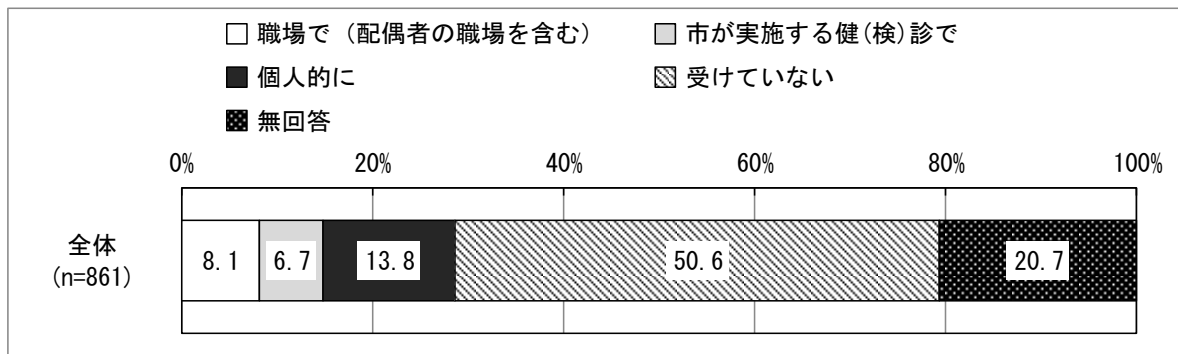
⑦子宮がん検診(女性のみ)

■ 「受けていない」が50.6%。

子宮がん検診については、「受けていない」が50.6%と約半数を占め、「個人的に」が13.8%、「職場で（配偶者の職場を含む）」が8.1%、「市が実施する健診で」が6.7%となっており、受診した人は合わせて28.6%であった。

年齢別でみると、18～29歳では「受けていない」(72.0%)が多数を占める。また、30～39歳、40～49歳、60～69歳では「個人的に」(23.0%、19.3%、14.2%)、50～59歳では「職場で（配偶者の職場を含む）」(18.5%)と回答する割合が比較的多い。70歳以上では、受診したなかでは「市が実施する健診で」及び「個人的に」(同率7.5%)と回答する割合が多い。

子宮がん検診（女性のみ）（全体）



子宮がん検診（女性のみ）（全体、年齢）

（単位：%）

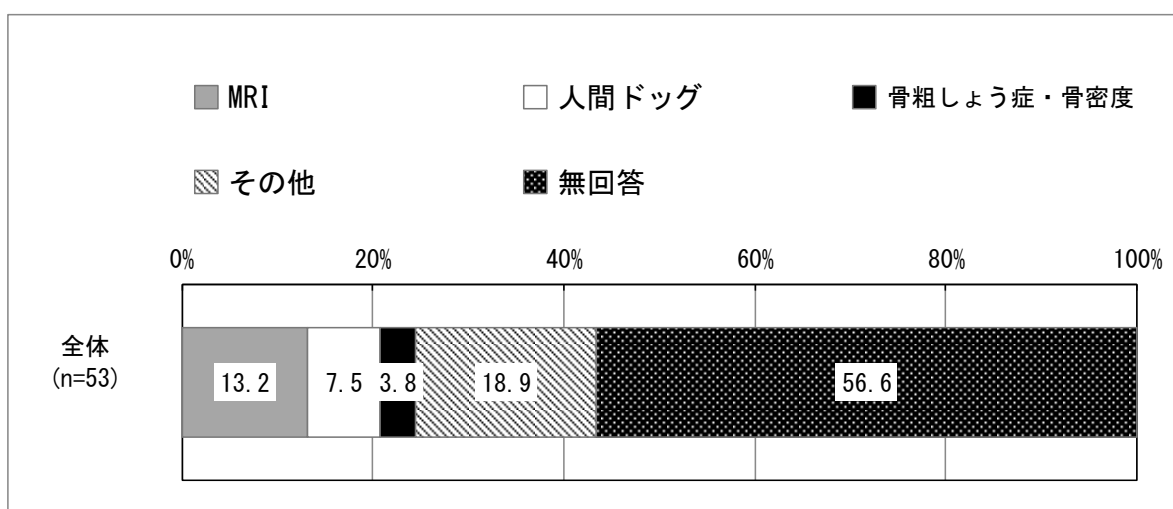
		n	職場で（配偶者の職場を含む）	市が実施する健診で	個人的に	受けていない	無回答
全体		861	8.1	6.7	13.8	50.6	20.7
年齢	18～29歳	75	1.3	6.7	6.7	72.0	13.3
	30～39歳	87	5.7	6.9	23.0	57.5	6.9
	40～49歳	135	17.0	8.9	19.3	44.4	10.4
	50～59歳	130	18.5	2.3	16.9	50.8	11.5
	60～69歳	190	6.8	7.4	14.2	48.9	22.6
	70歳以上	239	0.8	7.5	7.5	46.4	37.7
	無回答	5	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0

⑧その他の検査

■その他の検査として、具体的には「MRI」、「人間ドック」など。

その他の検査について記入した人（53人）の記入された内容を集約すると、「MRI」が13.2%で最も多く、次いで「人間ドック」（7.5%）、「骨粗しょう症・骨密度」（3.8%）の順となっている。また、受診方法については、多くの人が「個人的に」という回答となっている。

その他の検査（全体）



(5) 定期的な歯科検診

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(5) あなたは、定期的に歯の健(検)診を受けていますか。次の中から1つに○を付けてください。

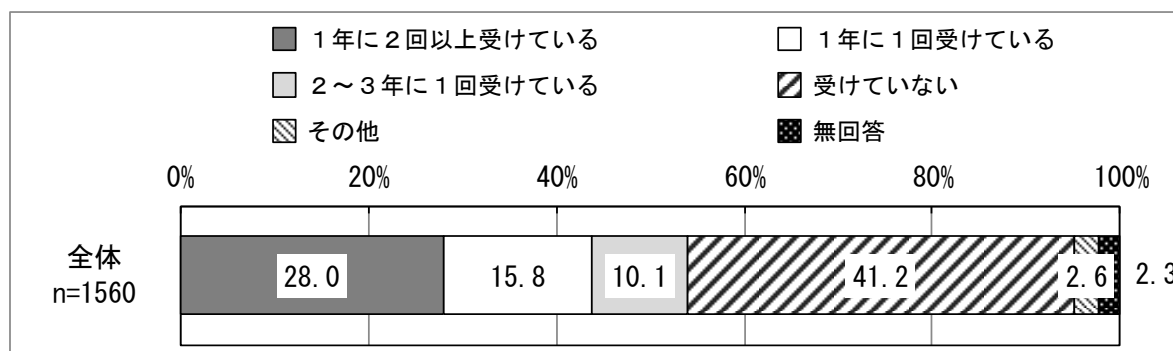
■定期的に歯科検診を受けている人は 53.9%。

歯科検診の受診について、「1年に2回以上受けている」が28.0%で最も多く、「1年に1回受けている」が15.8%、「2～3年に1回受けている」が10.1%で、これらを合わせた定期的を受けている人は53.9%となっている。また、「受けていない」と回答した人は41.2%であった。

性別でみると、男性は「受けていない」(48.9%)が女性(35.1%)に比べて多くなっている。

年齢別でみると、年齢が下がるにつれて「受けていない」の割合が多くなり、18～29歳では50.4%となっている。

定期的な歯科検診（全体）



定期的な歯科検診（全体、性別、年齢）

(単位: %)

		n	1年に2回以上受けている	1年に1回受けている	2～3年に1回受けている	受けていない	その他	無回答
全体		1560	28.0	15.8	10.1	41.2	2.6	2.3
性別	男性	689	23.9	14.2	8.7	48.9	2.0	2.2
	女性	861	31.4	17.2	11.3	35.1	3.1	2.0
	無回答	10	20.0	10.0	0.0	30.0	0.0	40.0
年齢	18～29歳	127	18.9	20.5	9.4	50.4	0.8	0.0
	30～39歳	151	22.5	17.2	9.3	49.0	1.3	0.7
	40～49歳	209	19.6	18.2	14.4	45.9	0.5	1.4
	50～59歳	228	24.6	12.3	14.0	46.1	1.8	1.3
	60～69歳	360	36.1	14.7	7.8	37.8	3.1	0.6
	70歳以上	471	31.8	15.5	8.5	34.2	4.7	5.3
	無回答	14	14.3	21.4	7.1	42.9	0.0	14.3

(6) 健康増進や健康寿命の延伸のために必要な施策

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(6) 健康増進や健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸のためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から5つまで○を付けてください。【複数回答】



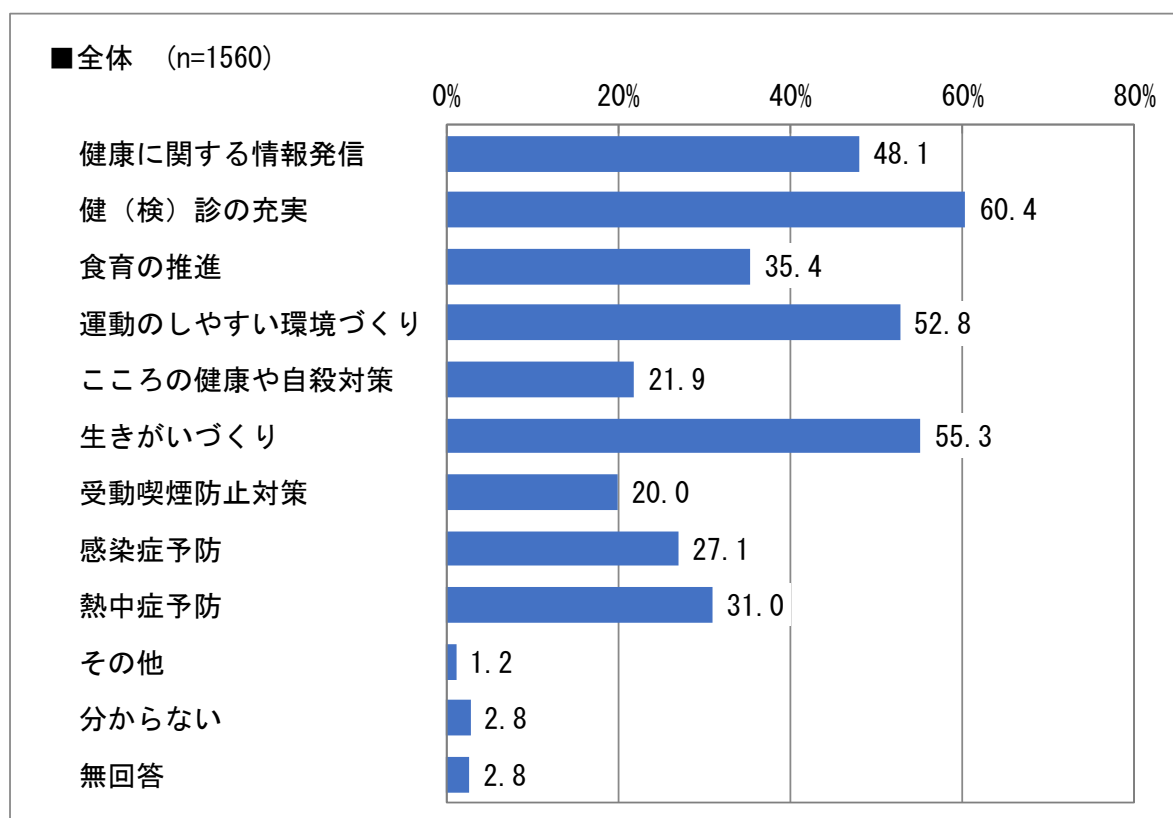
■ 「健（検）診の充実」が第1位に挙げられ、次いで「生きがいつくり」、「運動のしやすい環境づくり」の順。

健康増進や健康寿命の延伸のために必要な施策は、「健（検）診の充実」（60.4%）が第1位に挙げられ、次いで「生きがいつくり」（55.3%）、「運動のしやすい環境づくり」（52.8%）、「健康に関する情報発信」（48.1%）などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「健（検）診の充実」が第1位に挙げられている。

年齢別でみると、50歳未満、60～69歳では「健（検）診の充実」が第1位に挙げられ、50～59歳、70歳以上では「生きがいつくり」が第1位に挙げられている。

健康増進や健康寿命の延伸のために必要な施策（全体／複数回答）



健康増進や健康寿命の延伸のために必要な施策（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	健康に関する 情報発信	健康（検）診の 充実	食育の 推進	運動のしやす い環境づくり	自殺対策 の健康や	生きがいづく り
全体		1560	48.1	60.4	35.4	52.8	21.9	55.3
性別	男性	689	47.6	59.9	32.5	54.4	23.2	54.1
	女性	861	48.4	61.1	37.5	51.8	21.1	56.6
	無回答	10	50.0	40.0	60.0	30.0	0.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	39.4	66.1	29.9	55.9	33.1	44.9
	30～39 歳	151	35.8	69.5	31.1	53.0	34.4	51.0
	40～49 歳	209	37.8	65.1	29.2	54.5	31.1	47.8
	50～59 歳	228	44.3	54.4	32.5	52.6	24.6	59.6
	60～69 歳	360	55.0	62.5	37.8	59.2	20.6	61.4
	70 歳以上	471	55.6	55.8	40.3	47.1	11.3	56.7
	無回答	14	42.9	42.9	50.0	28.6	0.0	28.6

		n	受動喫煙防 止対策	感 染 症 予 防	熱 中 症 予 防	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全体		1560	20.0	27.1	31.0	1.2	2.8	2.8
性別	男性	689	19.9	28.6	30.0	1.7	2.5	2.5
	女性	861	20.2	25.9	31.8	0.7	3.1	2.8
	無回答	10	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	20.0
年齢	18～29 歳	127	36.2	29.1	28.3	3.9	1.6	0.8
	30～39 歳	151	26.5	25.2	32.5	1.3	0.0	0.7
	40～49 歳	209	19.6	18.7	30.6	0.5	4.3	1.4
	50～59 歳	228	20.2	25.0	20.2	0.4	2.6	0.9
	60～69 歳	360	18.9	28.3	30.0	1.7	2.2	1.1
	70 歳以上	471	14.6	30.4	37.4	0.6	4.0	6.4
	無回答	14	14.3	42.9	35.7	0.0	0.0	14.3

(7) こころの健康づくりや自殺予防

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(7) こころの健康づくりや自殺予防のために、どんなまちになったらよいとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

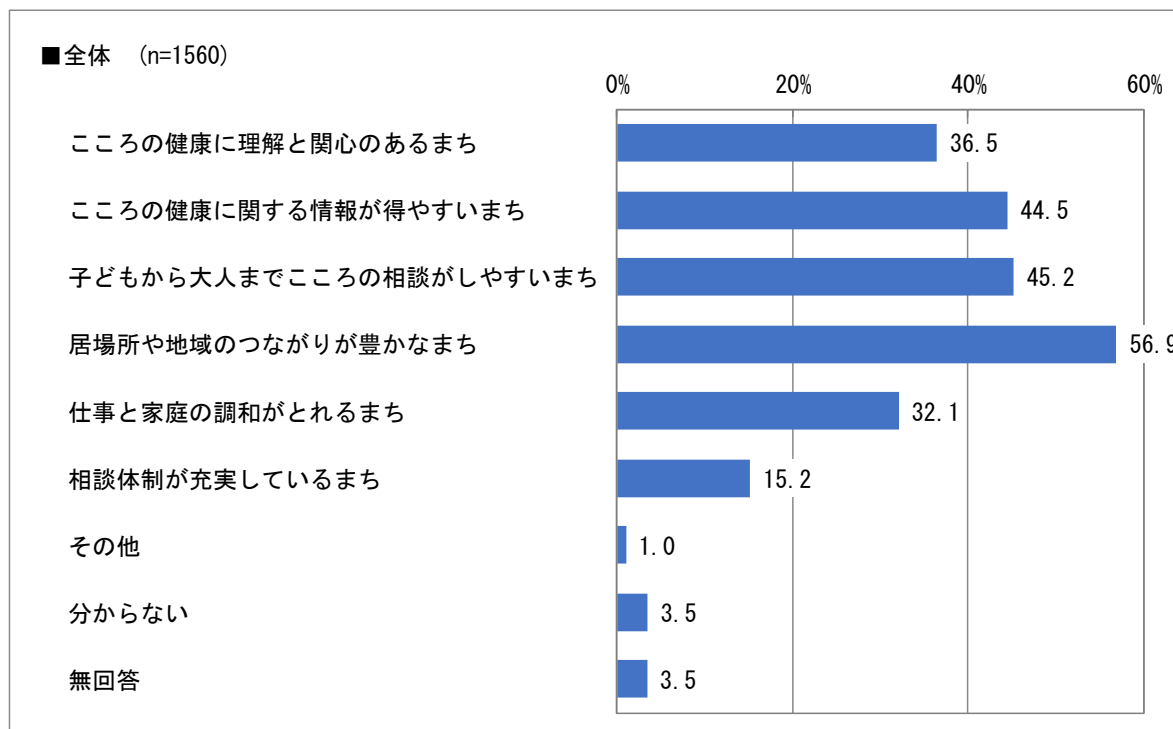
■「居場所や地域のつながりが豊かなまち」が第1位に挙げられ、次いで「子どもから大人までこころの相談がしやすいまち」、「こころの健康に関する情報が得やすいまち」の順。

こころの健康づくりや自殺予防のために、どんなまちになったらよいかについて尋ねたところ、「居場所や地域のつながりが豊かなまち」(56.9%)が第1位に挙げられ、次いで「子どもから大人までこころの相談がしやすいまち」(45.2%)、「こころの健康に関する情報が得やすいまち」(44.5%)、「こころの健康に理解と関心のあるまち」(36.5%)、「仕事と家庭の調和がとれるまち」(32.1%)などの順となっている。

性別でみると、男女とも「居場所や地域のつながりが豊かなまち」が第1位に挙げられている。

年齢別でみると、すべての年齢で「居場所や地域のつながりが豊かなまち」が第1位に挙げられている。また、「仕事と家庭の調和がとれるまち」と回答する割合は年齢が下がるにつれて増加し、18～29歳で47.2%、30～39歳で48.3%と比較的多くなっている。

こころの健康づくりや自殺予防のために、どんなまちになったらよいか（全体／複数回答）



こころの健康づくりや自殺予防のために、どんなまちになったらよいか
(全体、性別、年齢／複数回答)

(単位:%)

		n	こころの健康に理解 と関心のあるまち	こころの健康に 情報が得やすいまち	子どもから大人まで の相談がしやすいまち	つながりが豊かな 居場所や地域のまち	仕事と家庭の調和が とれるまち	相談体制が充実して いるまち	その他	分からない	無回答
全体		1560	36.5	44.5	45.2	56.9	32.1	15.2	1.0	3.5	3.5
性別	男性	689	39.3	45.3	46.0	54.0	30.3	16.3	0.9	4.2	3.5
	女性	861	34.4	44.1	44.6	59.3	33.6	14.4	1.2	3.0	3.1
	無回答	10	20.0	20.0	40.0	50.0	30.0	10.0	0.0	0.0	30.0
年齢	18～29 歳	127	28.3	37.8	50.4	54.3	47.2	26.0	3.9	3.1	0.8
	30～39 歳	151	35.8	37.1	49.0	53.0	48.3	18.5	0.7	1.3	0.7
	40～49 歳	209	32.1	44.0	43.1	48.3	39.7	17.2	1.4	2.9	2.4
	50～59 歳	228	31.6	43.4	41.7	53.5	37.7	18.0	1.3	3.5	1.3
	60～69 歳	360	35.8	51.1	48.3	62.8	28.9	13.9	0.6	3.1	2.2
	70 歳以上	471	44.2	45.2	42.3	60.3	19.3	10.0	0.4	5.1	6.8
	無回答	14	21.4	14.3	64.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6

8 景観について

(1) 魅力ある景観づくりに重要なこと

問 14 歴史や文化遺産を生かしたまちづくりのためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

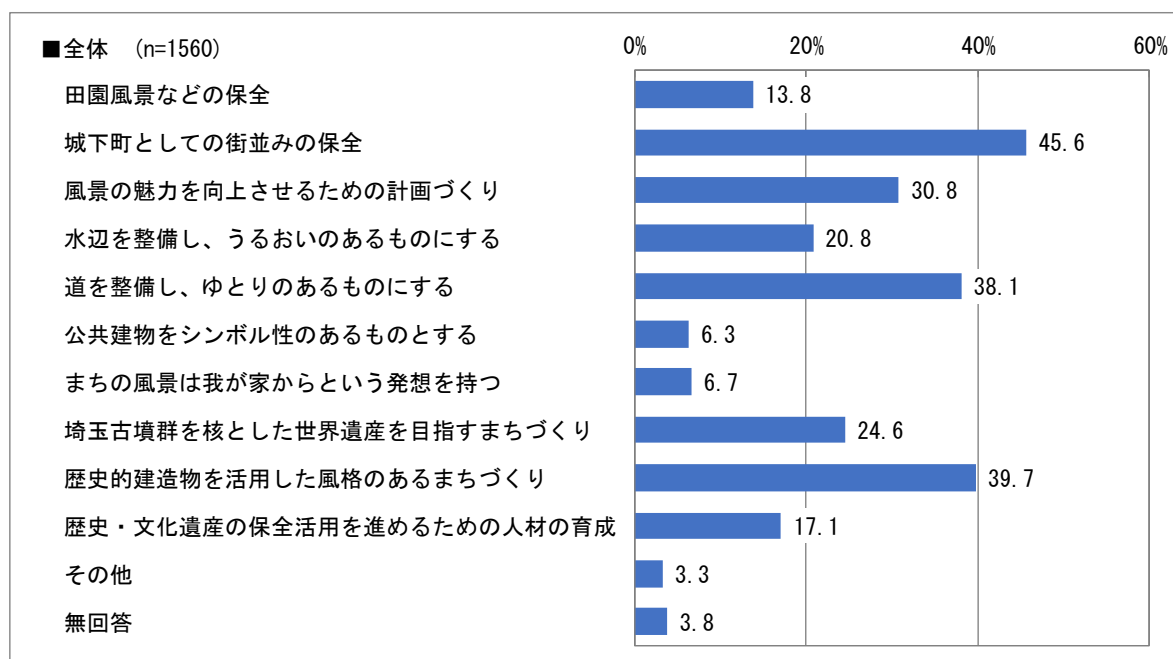
■「城下町としての街並みの保全」が第1位に挙げられ、次いで「歴史的建造物を活用した風格のあるまちづくり」、「道を整備し、ゆとりのあるものにする」が続く。

歴史を生かした魅力ある景観づくりに重要なことは、「城下町としての街並みの保全」(45.6%)が第1位に挙げられ、次いで「歴史的建造物を活用した風格のあるまちづくり」(39.7%)、が続き、以下、「道を整備し、ゆとりのあるものとする」(38.1%)、「風景の魅力を向上させるための計画づくり」(30.8%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「城下町としての街並みの保全」が第1位に挙げられている。また、男性では「水辺を整備し、うるおいのあるものにする」(24.7%)、女性では「歴史的建造物を活用した風格のあるまちづくり」(44.1%)と回答する割合が比較的多い。

年齢別でみると、60歳未満の層では「城下町としての街並みの保全」、60～69歳では「歴史的建造物を活用した風格のあるまちづくり」、70歳以上では「道を整備し、ゆとりのあるものとする」がそれぞれ第1位に挙げられている。

魅力ある景観づくりに重要なこと（全体／複数回答）



魅力ある景観づくりに重要なこと（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	田園風景などの保全	城下町としての街並みの保全	風景の魅力向上させるための計画づくり	水辺を整備し、うるおいのあるものにする	道を整備し、ゆとりのあるものにする	公共建物をシンボル性のあるものとする
全体		1560	13.8	45.6	30.8	20.8	38.1	6.3
性別	男性	689	15.5	46.7	32.9	24.7	37.0	6.4
	女性	861	12.4	45.2	29.4	17.8	39.1	6.3
	無回答	10	20.0	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0
年齢	18～29歳	127	22.0	52.8	30.7	20.5	30.7	11.0
	30～39歳	151	14.6	52.3	29.1	23.8	33.1	6.6
	40～49歳	209	15.8	54.5	26.8	15.3	33.0	9.6
	50～59歳	228	14.0	48.2	31.6	18.9	35.1	6.6
	60～69歳	360	10.6	40.6	36.1	22.5	40.8	7.8
	70歳以上	471	12.7	41.2	29.5	22.7	43.5	2.3
	無回答	14	21.4	14.3	7.1	0.0	28.6	7.1

		n	まちの風景は我が家からという発想を持つ	埼玉古墳群を核とした世界遺産を目指すまちづくり	歴史的建造物を活用した風格のあるまちづくり	歴史・文化遺産の保全活用を進めるための人材の育成	その他	無回答
全体		1560	6.7	24.6	39.7	17.1	3.3	3.8
性別	男性	689	8.0	26.3	34.5	17.9	4.1	3.3
	女性	861	5.7	23.2	44.1	16.7	2.8	3.8
	無回答	10	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0
年齢	18～29歳	127	2.4	28.3	40.9	9.4	3.1	1.6
	30～39歳	151	6.0	23.8	44.4	17.2	3.3	3.3
	40～49歳	209	2.4	24.4	48.3	18.7	5.7	1.0
	50～59歳	228	3.5	22.8	43.9	17.1	3.1	1.3
	60～69歳	360	9.2	21.1	42.8	19.2	4.4	1.1
	70歳以上	471	9.8	26.3	29.7	17.0	1.7	8.5
	無回答	14	0.0	57.1	42.9	14.3	0.0	28.6

9 産業振興について

(1) 商業や産業の振興に重要なこと

問 15 市の商業や産業の振興のためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。【複数回答】

■「商店街の整備」が第1位に挙げられ、次いで「歴史・文化資産を生かした施設や産業づくり」が続く。

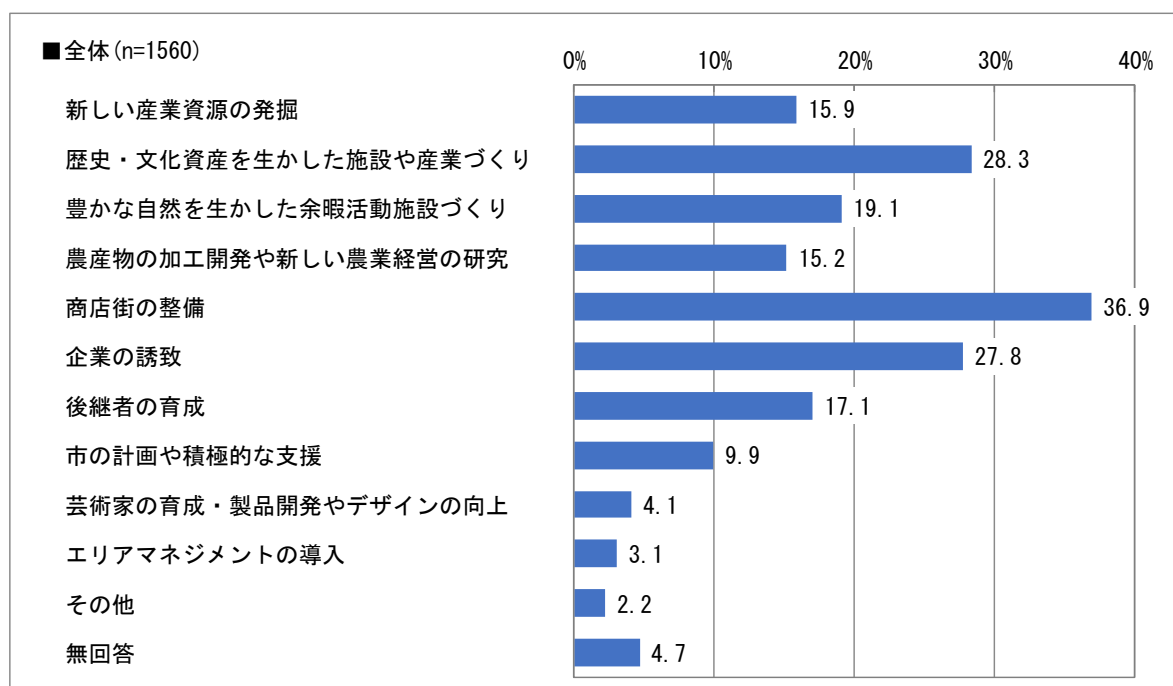
商業や産業の振興に重要なことは、「商店街の整備」(36.9%)が第1位に挙げられ、次いで「歴史・文化資産を生かした施設や産業づくり」(28.3%)、「企業の誘致」(27.8%)、「豊かな自然を生かした余暇活動施設づくり」(19.1%)、「後継者の育成」(17.1%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「商店街の整備」が第1位となっている。また、男性では「企業の誘致」(30.2%)と回答する割合が多い。

年齢別でも、すべての層で「商店街の整備」が第1位となっている。

職業別でみると、多くの職業では「商店街の整備」が第1位となっているが、公務員、教職員、学生では「歴史・文化資産を生かした施設や産業づくり」(35.6%、45.2%)、農林漁業、畜産業では「農産物の加工開発や新しい農業経営の研究」(40.7%)が第1位となっている。

商業や産業の振興のために重要なこと（全体／複数回答）



商業や産業の振興のために重要なこと（全体、性別、年齢、職業／複数回答）

（単位：％）

		n	新しい産業資源の発掘	歴史・文化施設や産業づくりを生かした	豊かな自然を生かした余暇活動施設づくり	農産物の加工開発や新しい農業経営の研究	商店街の整備	企業の誘致	後継者の育成	市の計画や積極的な支援	芸術家の育成・製品開発やデザインの向上	エリアマネジメントの導入	その他	無回答
全体		1560	15.9	28.3	19.1	15.2	36.9	27.8	17.1	9.9	4.1	3.1	2.2	4.7
性別	男性	689	20.5	27.3	19.6	14.9	31.3	30.2	15.7	11.6	4.2	3.2	3.0	4.4
	女性	861	12.2	29.4	18.8	15.4	41.6	25.9	18.1	8.7	4.1	3.0	1.6	4.5
	無回答	10	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	11.0	31.5	25.2	8.7	42.5	23.6	12.6	14.2	6.3	2.4	3.9	0.8
	30～39 歳	151	10.6	29.8	29.1	6.6	38.4	28.5	19.9	11.3	6.6	5.3	0.7	2.6
	40～49 歳	209	11.5	35.4	21.1	14.8	39.2	25.4	19.1	8.1	4.3	3.3	4.3	2.4
	50～59 歳	228	14.5	30.7	17.1	14.5	33.8	26.3	20.6	8.3	4.8	7.0	3.1	2.2
	60～69 歳	360	19.2	24.4	18.6	18.1	38.6	30.8	17.5	10.6	4.2	1.7	2.5	1.9
	70 歳以上	471	19.3	25.9	14.2	18.3	34.2	28.9	14.6	9.1	2.3	1.7	0.8	10.0
	無回答	14	7.1	21.4	35.7	7.1	35.7	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	28.6
職業	専門職	56	19.6	25.0	21.4	14.3	25.0	42.9	17.9	12.5	3.6	1.8	3.6	1.8
	会社役員	39	17.9	35.9	15.4	10.3	48.7	20.5	20.5	10.3	5.1	2.6	2.6	2.6
	会社員	283	15.5	32.2	21.2	12.0	35.3	29.3	17.3	10.6	4.2	4.6	3.5	2.5
	公務員、教職員	59	5.1	35.6	22.0	11.9	33.9	28.8	18.6	13.6	5.1	8.5	6.8	0.0
	製造業、小売業等 従事者、運転手	94	13.8	24.5	16.0	13.8	39.4	30.9	20.2	10.6	7.4	2.1	2.1	3.2
	農林漁業、畜産業	27	14.8	25.9	18.5	40.7	11.1	22.2	14.8	7.4	3.7	3.7	7.4	11.1
	サービス業	82	12.2	28.0	28.0	15.9	52.4	19.5	19.5	11.0	2.4	2.4	0.0	2.4
	自営業	50	12.0	26.0	20.0	14.0	34.0	18.0	24.0	14.0	6.0	2.0	12.0	2.0
	学生	31	6.5	45.2	29.0	9.7	29.0	29.0	12.9	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0
	主婦(主夫)	354	12.4	29.4	19.8	16.4	40.4	26.8	17.8	9.0	3.1	2.0	0.0	3.4
	無職	349	22.3	26.1	14.3	17.2	35.5	27.5	14.0	9.7	2.3	2.3	0.9	10.0
	その他	103	23.3	17.5	16.5	13.6	31.1	34.0	16.5	5.8	9.7	5.8	2.9	3.9
	無回答	33	6.1	27.3	24.2	15.2	45.5	18.2	12.1	6.1	3.0	3.0	0.0	12.1

10 公園の管理について

(1) 地域の公園の望ましい維持管理体制

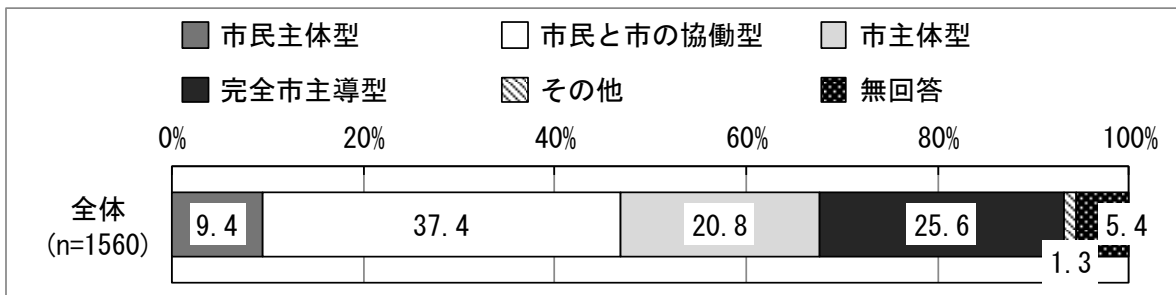
問16 市民の憩いの場であり、また子どもたちの遊び場である地域の公園の維持管理についてどのようにすべきだとお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

■「市民と市の協働型」が37.4%で最も多く、次いで「完全市主導型」が25.6%で続く。

公園の維持管理については、「市民と市の協働型」が37.4%で最も多く、次いで「完全市主導型」が25.6%、「市主体型」が20.8%、「市民主体型」が9.4%となっている。

居住地区別でみると、ほとんどの地区で「市民と市の協働型」が最も多くなっているが、星宮では「市民と市の協働型」及び「市主体型」（同率32.3%）、須加では「市主体型」（31.3%）が最も多い。

地域の公園の望ましい維持管理体制（全体）



地域の公園の望ましい維持管理体制（全体、居住地区）

(単位:%)

	n	市民主体型	市民と市の協働型	市主体型	完全市主導型	その他	無回答	
全体	1560	9.4	37.4	20.8	25.6	1.3	5.4	
居住地区	忍	100	6.0	45.0	20.0	22.0	1.0	6.0
	行田	93	16.1	35.5	16.1	25.8	2.2	4.3
	佐間	129	8.5	34.9	16.3	34.1	0.0	6.2
	持田	258	6.6	37.2	22.9	27.5	0.4	5.4
	星河	167	10.2	32.9	24.0	23.4	3.0	6.6
	長野	201	9.0	41.8	19.4	25.4	1.0	3.5
	星宮	31	6.5	32.3	32.3	19.4	3.2	6.5
	下忍	38	15.8	34.2	15.8	21.1	2.6	10.5
	荒木	53	9.4	35.8	18.9	26.4	3.8	5.7
	須加	32	3.1	28.1	31.3	28.1	6.3	3.1
	北河原	16	12.5	56.3	18.8	6.3	0.0	6.3
	埼玉	86	10.5	34.9	19.8	25.6	1.2	8.1
	太田	111	10.8	36.9	17.1	28.8	0.9	5.4
	太井	133	9.8	40.6	21.8	21.8	1.5	4.5
	南河原	62	8.1	45.2	22.6	21.0	0.0	3.2
無回答	50	16.0	26.0	24.0	28.0	0.0	6.0	

11 市の情報について

(1) 市政情報の入手元

問 17 普段、何から市政情報を得ていますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

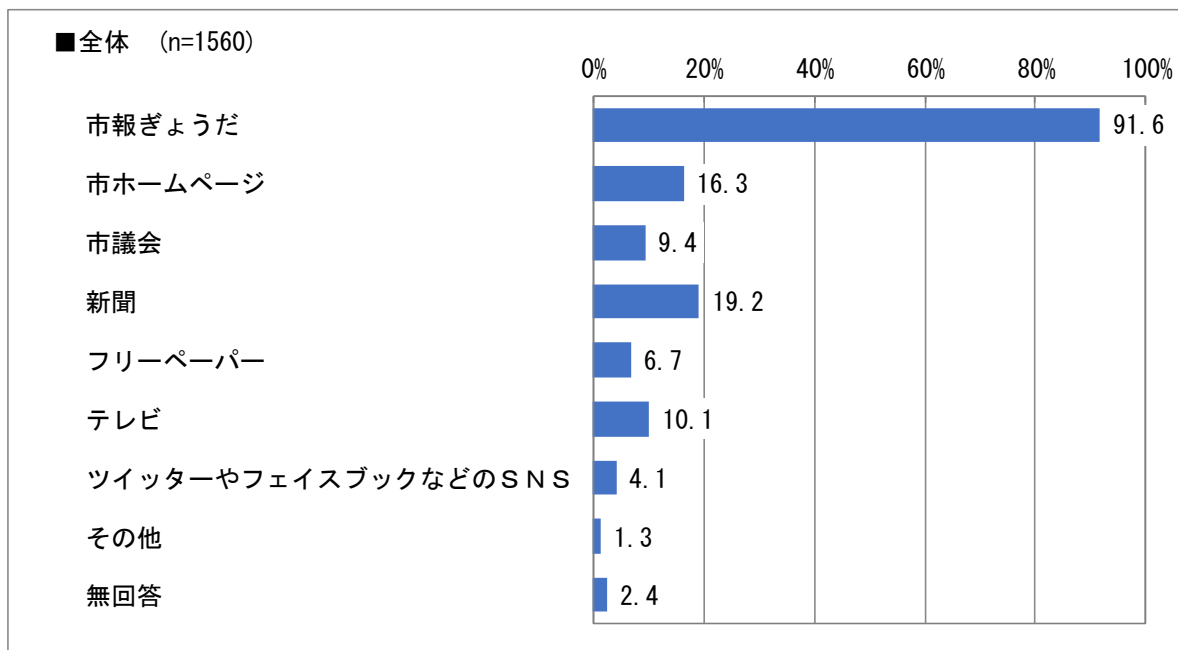
■「市報ぎょうだ」から9割が市政情報を得ている。

何から市政情報を得ているかを尋ねたところ、「市報ぎょうだ」(91.6%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられている。次いで「新聞」(19.2%)、「市ホームページ」(16.3%)、「テレビ」(10.1%)の順となっている。

性別で見ると、男女とも「市報ぎょうだ」が最も多くなっている。

年齢別で見ると、すべての年齢で「市報ぎょうだ」が最も多くなっているが、18～29歳(74.0%)では他の年齢層に比べて割合が少なくなっている。一方、18～29歳では「ツイッターやフェイスブックなどのSNS」(18.9%)と回答する割合が比較的多い。

市政情報の入手元 (全体/複数回答)



市政情報の入手元（全体、性別、年齢、居住年数／複数回答）

（単位：％）

		n	市報ぎようだ	市ホームページ	市議会	新聞	フリーペーパー	テレビ	ツイッターなどのSNS	その他	無回答
全体		1560	91.6	16.3	9.4	19.2	6.7	10.1	4.1	1.3	2.4
性別	男性	689	91.3	18.3	9.7	20.0	4.5	10.2	3.8	1.3	2.6
	女性	861	92.3	14.8	8.9	18.2	8.6	10.1	4.4	1.4	1.9
	無回答	10	50.0	20.0	20.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	74.0	13.4	1.6	11.0	10.2	12.6	18.9	4.7	1.6
	30～39 歳	151	88.1	13.9	2.0	7.9	7.9	6.6	11.9	2.0	0.7
	40～49 歳	209	90.4	19.6	3.8	10.5	9.6	4.3	5.3	1.4	1.9
	50～59 歳	228	95.6	25.4	4.8	16.7	6.6	6.6	1.8	0.9	0.9
	60～69 歳	360	95.8	17.8	12.8	21.4	6.4	11.1	1.1	0.6	0.8
	70 歳以上	471	93.4	11.3	15.9	28.7	4.5	14.0	0.6	1.1	4.7
	無回答	14	71.4	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	28.6
居住年数	5年未満	106	80.2	17.0	4.7	6.6	10.4	6.6	9.4	2.8	0.0
	5年以上 10年未満	85	89.4	20.0	8.2	5.9	11.8	7.1	2.4	0.0	3.5
	10年以上 15年未満	80	93.8	15.0	8.8	8.8	12.5	8.8	3.8	0.0	1.3
	15年以上 20年未満	96	88.5	15.6	1.0	11.5	7.3	12.5	9.4	2.1	1.0
	20年以上	1175	93.0	16.4	10.7	22.8	5.5	10.6	3.4	1.4	2.6
	無回答	18	83.3	0.0	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	16.7

(2) 詳しく知りたい市の情報

問 18 あなたは、市から提供される情報でもっと詳しく知りたいものがありますか。次の中から3つまで○を付けてください。【複数回答】

■詳しく知りたい2大情報は、「保健・医療・福祉についての情報」及び「困ったときに利用できる施設の案内情報」。

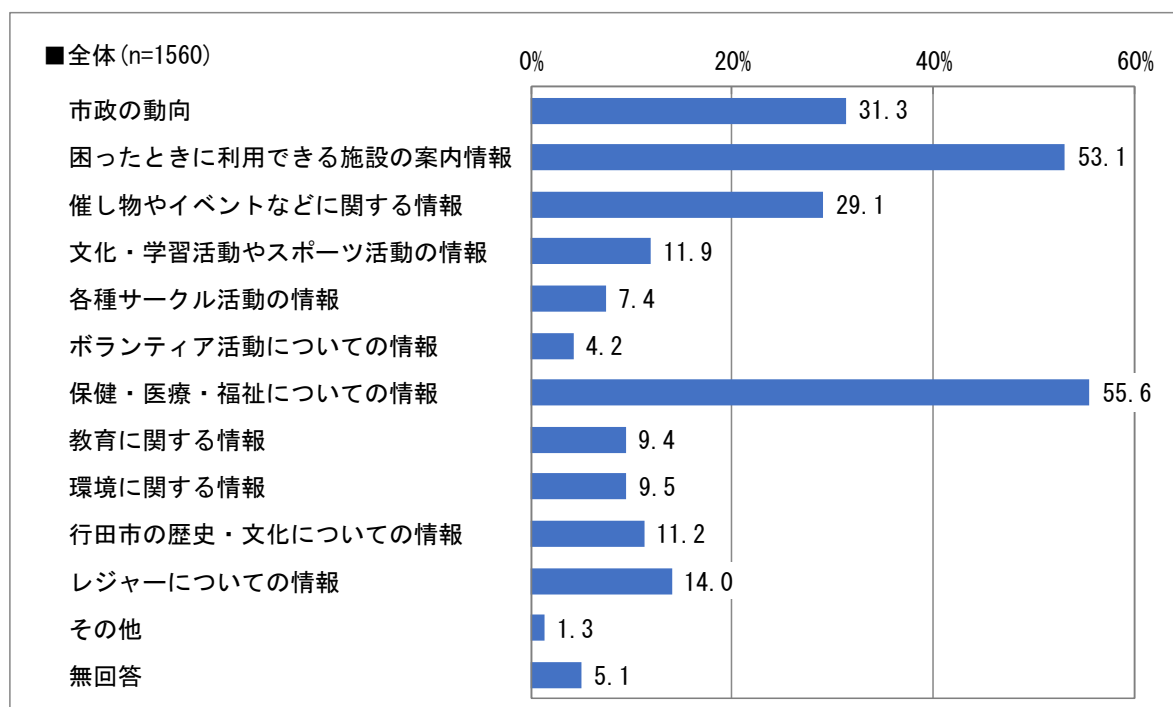
市から提供される情報の中で詳しく知りたい情報としては、「保健・医療・福祉についての情報」(55.6%)が第1位に挙げられ、次いで「困ったときに利用できる施設の案内情報」(53.1%)が続き、これらが他を引き離して知りたい2大情報となっている。

性別でみても、男女ともに「保健・医療・福祉についての情報」及び「困ったときに利用できる施設の案内情報」が上位を占める。また、男性では「市政の動向」(38.5%)と回答する割合が比較的多い。

年齢別でみても、すべての層で「保健・医療・福祉についての情報」及び「困ったときに利用できる施設の案内情報」が上位を占める。また、30～39歳、40～49歳では「催し物やイベントなどに関する情報」(38.4%、36.4%)、60～69歳、70歳以上では「市政の動向」(36.4%、37.6%)、18～29歳、30～39歳では「レジャーについての情報」(28.3%、26.5%)と回答する割合が比較的多い。

居住年数別でみても、すべての層で「保健・医療・福祉についての情報」及び「困ったときに利用できる施設の案内情報」が上位を占める。

詳しく知りたい情報（全体／複数回答）



詳しく知りたい情報（全体、性別、年齢、居住年数／複数回答）

(単位: %)

		n	市政の動向	き困った施設と 案に内情用 報で	催し物やイ ベント 情報	文化・学 習活動の 情報	各種サー クル活動 の	ボランティア の活動に 関する情 報	保健・医 療・福祉 に関する 情報
全体		1560	31.3	53.1	29.1	11.9	7.4	4.2	55.6
性別	男性	689	38.5	51.2	27.3	13.8	7.1	4.4	52.7
	女性	861	25.6	55.1	30.8	10.5	7.8	4.2	58.1
	無回答	10	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	26.0	35.4	26.0	14.2	6.3	7.1	50.4
	30～39 歳	151	23.2	43.7	38.4	10.6	7.9	3.3	45.7
	40～49 歳	209	25.8	52.6	36.4	13.4	3.8	4.8	56.0
	50～59 歳	228	25.4	57.5	32.5	11.8	7.9	4.4	50.9
	60～69 歳	360	36.4	55.3	30.3	16.1	11.1	3.9	57.5
	70 歳以上	471	37.6	57.7	21.9	7.9	6.4	3.6	61.6
	無回答	14	7.1	42.9	7.1	14.3	0.0	7.1	28.6
居住年数	5年未満	106	24.5	38.7	31.1	9.4	5.7	8.5	46.2
	5年以上 10年未満	85	25.9	52.9	28.2	8.2	10.6	5.9	54.1
	10 年以上 15 年未満	80	30.0	52.5	38.8	15.0	3.8	5.0	52.5
	15 年以上 20 年未満	96	24.0	45.8	31.3	17.7	7.3	5.2	57.3
	20 年以上	1175	33.1	55.3	28.2	11.6	7.7	3.5	56.8
	無回答	18	27.8	38.9	27.8	22.2	0.0	11.1	44.4

		n	教育に 関する情 報	環境に 関する情 報	に 行 つ た り の 歴 史 情 報 ・ 文 化	レ ジ ャ ー に つ い て の 情 報	そ の 他	無 回 答
全体		1560	9.4	9.5	11.2	14.0	1.3	5.1
性別	男性	689	8.0	10.4	15.4	14.2	1.6	4.9
	女性	861	10.7	8.8	8.0	13.9	1.2	4.8
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	18.1	7.9	6.3	28.3	3.1	3.9
	30～39 歳	151	22.5	11.3	9.9	26.5	0.7	2.6
	40～49 歳	209	20.6	7.2	12.9	12.9	1.9	2.4
	50～59 歳	228	7.5	8.8	13.2	16.2	1.3	3.5
	60～69 歳	360	4.2	12.2	12.8	13.1	1.9	2.2
	70 歳以上	471	3.2	8.7	10.2	6.4	0.4	9.1
	無回答	14	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	42.9
居住年数	5年未満	106	21.7	3.8	8.5	25.5	1.9	7.5
	5年以上10年未満	85	17.6	5.9	14.1	22.4	2.4	3.5
	10 年以上 15 年未満	80	20.0	10.0	8.8	12.5	0.0	2.5
	15 年以上 20 年未満	96	16.7	10.4	11.5	17.7	1.0	3.1
	20 年以上	1175	6.5	10.3	11.6	12.2	1.4	5.1
	無回答	18	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0	16.7

12 市内循環バス、デマンドタクシーについて

(1) 市内循環バスの利用状況

問 19 市内循環バスについてお尋ねします。

(1) 市内循環バスを利用したことはありますか。次の中から1つに○を付けてください。



■ 市内循環バスを利用したことがあるが約3割。

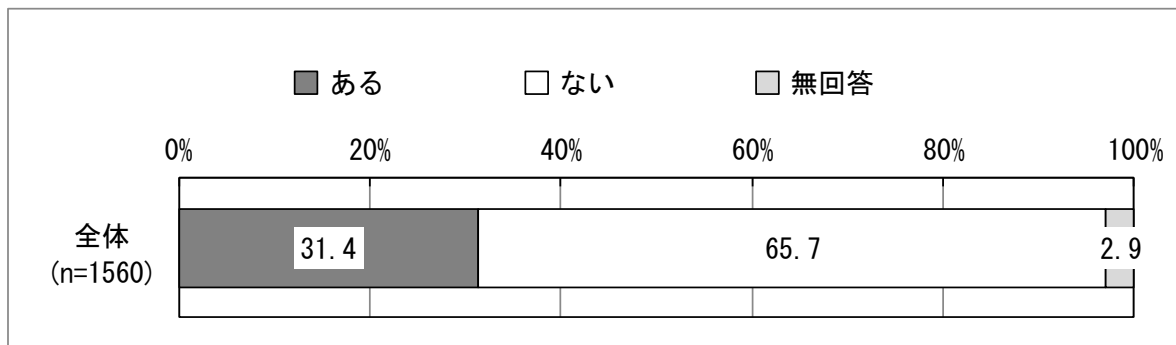
市内循環バスの利用については、「ある」が31.4%と約3割となっている。一方、「ない」は65.7%となっている。

性別でみると、男女の利用に差は無い。

年齢別でみると、「ある」が18～29歳で44.9%と最も多くなっている。

居住地区別でみると、忍、持田、太井では「ある」の回答が4割を超えている。一方、下忍、荒木、北河原、南河原では2割以下にとどまる。

市内循環バスの利用状況（全体）



市内循環バスの利用状況（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

		n	ある	ない	無回答
全体		1560	31.4	65.7	2.9
性別	男性	689	30.5	66.9	2.6
	女性	861	32.2	65.2	2.7
	無回答	10	30.0	30.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	44.9	54.3	0.8
	30～39 歳	151	35.8	62.9	1.3
	40～49 歳	209	33.0	65.1	1.9
	50～59 歳	228	34.6	64.9	0.4
	60～69 歳	360	27.2	71.4	1.4
	70 歳以上	471	28.2	66.0	5.7
	無回答	14	0.0	64.3	35.7
居住地区	忍	100	41.0	53.0	6.0
	行田	93	25.8	74.2	0.0
	佐間	129	33.3	62.8	3.9
	持田	258	47.7	50.4	1.9
	星河	167	21.0	76.0	3.0
	長野	201	22.4	74.6	3.0
	星宮	31	29.0	67.7	3.2
	下忍	38	15.8	78.9	5.3
	荒木	53	13.2	84.9	1.9
	須加	32	37.5	59.4	3.1
	北河原	16	12.5	75.0	12.5
	埼玉	86	27.9	69.8	2.3
	太田	111	35.1	63.1	1.8
	太井	133	43.6	54.9	1.5
	南河原	62	16.1	82.3	1.6
無回答	50	24.0	68.0	8.0	

(2) 市内循環バスの利用目的

問 19 市内循環バスについてお尋ねします。

(2) 【(1) で「1. ある」と答えた方にお尋ねします】どのような目的で利用していますか。
次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

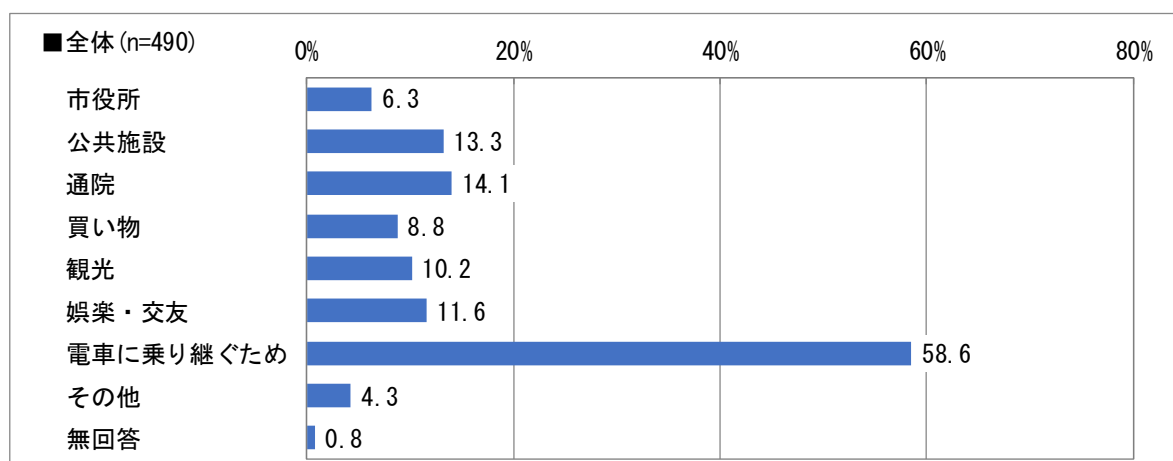
■利用目的は「電車に乗り継ぐため」が半数以上を占める。

市内循環バスを利用したことのある人（490人）に利用目的を尋ねたところ、「電車に乗り継ぐため」が58.6%と半数以上を占め、次いで「通院」（14.1%）、「公共施設」（13.3%）、「娯楽・交友」（11.6%）、「観光」（10.2%）などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「電車に乗り継ぐため」が最も多く、女性では「公共施設」（15.5%）と回答する割合が比較的多い。

年齢別でも、すべての層で「電車に乗り継ぐため」が最も多く、特に18歳～29歳（70.2%）、60～69歳（67.3%）では7割前後となっている。また、70歳以上では「通院」（30.1%）、「市役所」（13.5%）も比較的多い。

市内循環バスの利用目的（全体／複数回答）



市内循環バスの利用目的（全体、性別、年齢／複数回答）

(単位: %)

	n	市役所	公共施設	通院	買い物	観光	娯楽・交友	電車に乗り継ぐため	その他	無回答	
全体	490	6.3	13.3	14.1	8.8	10.2	11.6	58.6	4.3	0.8	
性別	男性	210	4.8	10.5	14.3	10.0	9.5	11.0	57.1	3.8	1.0
	女性	277	7.2	15.5	13.7	7.6	10.8	12.3	59.9	4.7	0.7
	無回答	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
年齢	18～29歳	57	5.3	15.8	7.0	8.8	3.5	3.5	70.2	5.3	0.0
	30～39歳	54	1.9	14.8	0.0	9.3	11.1	27.8	51.9	0.0	0.0
	40～49歳	69	2.9	10.1	4.3	8.7	7.2	15.9	62.3	5.8	0.0
	50～59歳	79	2.5	11.4	13.9	10.1	8.9	8.9	57.0	3.8	1.3
	60～69歳	98	5.1	8.2	11.2	3.1	11.2	8.2	67.3	5.1	0.0
	70歳以上	133	13.5	18.0	30.1	12.0	14.3	10.5	48.9	4.5	2.3
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 電車乗り継ぎの利用目的

問 19 市内循環バスについてお尋ねします。

(2) また、「7. 電車に乗り継ぐため」に回答した方はその目的もお答えください。



■電車乗り継ぎのために市内循環バスを利用している人の目的は、「通勤・通学以外」が77.4%と8割近くを占め、「通勤・通学」は19.9%となっている。

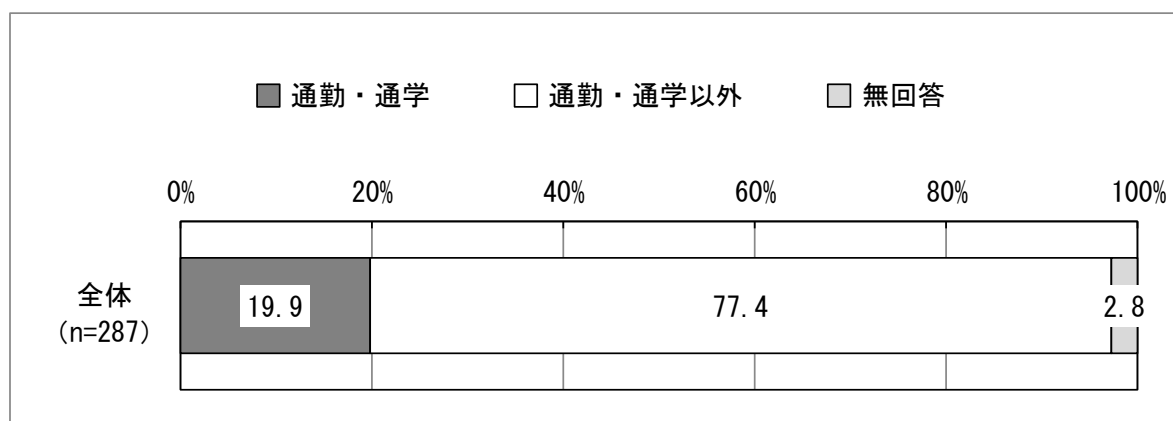
電車乗り継ぎのために市内循環バスを利用している人(287人)に、その目的を尋ねたところ、「通勤・通学以外」が77.4%と8割近くを占め、「通勤・通学」は19.9%となっている。

性別でみると、男女ともに「通勤・通学以外」が多数を占めるが、男性では「通勤・通学」(27.5%)と回答する割合が比較的多い。

年齢別でみると、すべての層で「通勤・通学以外」が多数を占める。また、「通勤・通学」と回答する割合は、若い年齢の18~29歳(47.5%)で多くなっている。

居住地区別でみると、ほとんどの地区で「通勤・通学以外」が多数を占めるが、行田では「通勤・通学」(50.0%)、「通勤・通学以外」(50.0%)となっている。

電車乗り継ぎの利用目的(全体)



電車乗り継ぎの利用目的（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

		n	通勤・通学	通勤・通学以外	無回答
全体		287	19.9	77.4	2.8
性別	男性	120	27.5	70.0	2.5
	女性	166	14.5	82.5	3.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0
年齢	18～29 歳	40	47.5	52.5	0.0
	30～39 歳	28	10.7	89.3	0.0
	40～49 歳	43	25.6	72.1	2.3
	50～59 歳	45	15.6	80.0	4.4
	60～69 歳	66	19.7	78.8	1.5
	70 歳以上	65	6.2	87.7	6.2
	無回答	0	0.0	0.0	0.0
居住地区	忍	29	31.0	62.1	6.9
	行田	12	50.0	50.0	0.0
	佐間	26	19.2	76.9	3.8
	持田	96	17.7	79.2	3.1
	星河	12	0.0	100.0	0.0
	長野	29	20.7	79.3	0.0
	星宮	6	33.3	66.7	0.0
	下忍	0	0.0	0.0	0.0
	荒木	1	100.0	0.0	0.0
	須加	3	33.3	66.7	0.0
	北河原	0	0.0	0.0	0.0
	埼玉	14	7.1	92.9	0.0
	太田	23	13.0	82.6	4.3
	太井	29	20.7	75.9	3.4
	南河原	1	0.0	100.0	0.0
無回答	6	0.0	100.0	0.0	

(4) 市内循環バスの今後の利用条件

問 19 市内循環バスについてお尋ねします。

(3) 【(1) で「2. ない」と答えた方にお尋ねします】どのようになれば利用しますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

■「運行便数の増加」が第1位。次いで「鉄道への乗り継ぎの改善」、「バス停の増設やフリー乗降制の導入」の順。

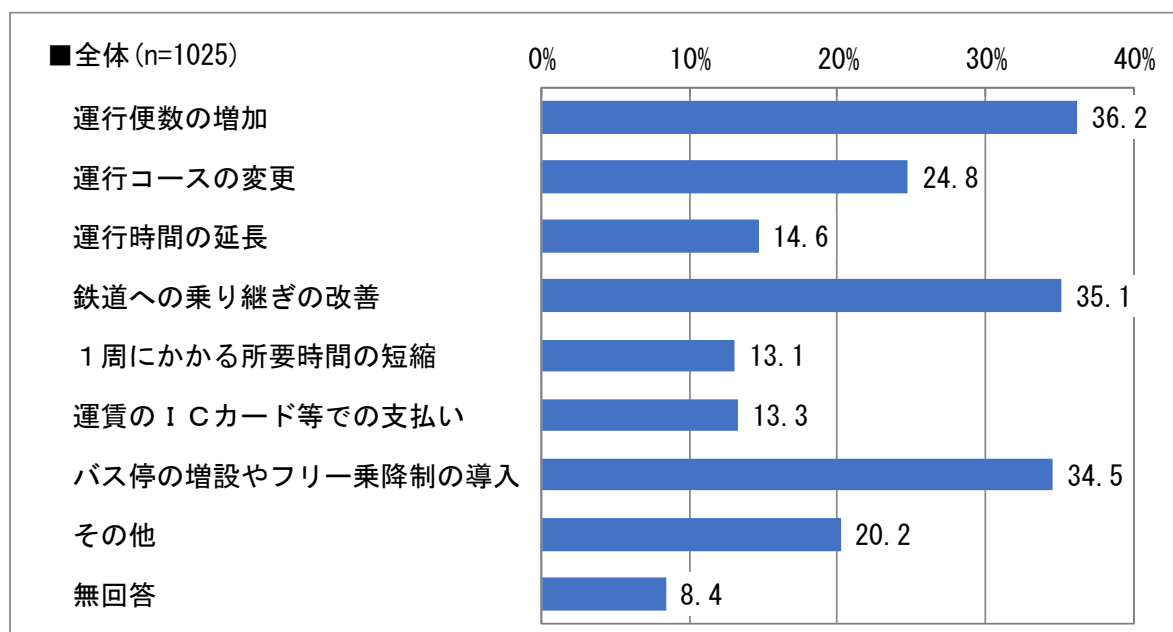
市内循環バスを利用したことがない人(1,025人)に今後の利用条件を尋ねたところ、「運行便数の増加」(36.2%)が第1位に挙げられ、次いで「鉄道への乗り継ぎの改善」(35.1%)、「バス停の増設やフリー乗降制の導入」(34.5%)、「運行コースの変更」(24.8%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「運行便数の増加」が第1位となっている。

年齢別でみると、50歳未満では「運行便数の増加」、50～59歳では「鉄道への乗り継ぎの改善」、60歳以上では「バス停の増設やフリー乗降制の導入」が第1位となっている。

居住地区別でみると、「運行便数の増加」に対して佐間、須加、北河原、南河原で4割を超えている。「鉄道への乗り継ぎの改善」に対しては長野、星宮、下忍、埼玉で4割を超え、「バス停の増設やフリー乗降制の導入」に対しては星宮、下忍、荒木、北河原、南河原で4割を超えている。

市内循環バスの今後の利用条件（全体／複数回答）



市内循環バスの今後の利用条件（全体、性別、年齢、居住地区／複数回答）

（単位：％）

		n	運 行 便 数 の 増 加	運 行 コ ー ス の 変 更	運 行 時 間 の 延 長	の 鉄 道 へ の 乗 り 継 ぎ 改 善	時 間 の 短 縮 に か か る 所 要	運 賃 の 支 払 い に 関 し た IC カ ー ド 等	フ リ ー 乗 降 制 の 導 入	そ の 他	無 回 答
全体		1025	36.2	24.8	14.6	35.1	13.1	13.3	34.5	20.2	8.4
性別	男性	461	36.2	25.8	17.6	35.8	11.9	14.5	33.8	21.0	8.5
	女性	561	36.2	23.9	12.1	34.6	14.1	12.3	35.1	19.6	8.2
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
年齢	18～29 歳	69	50.7	29.0	26.1	46.4	8.7	34.8	29.0	14.5	5.8
	30～39 歳	95	49.5	22.1	26.3	45.3	10.5	24.2	27.4	17.9	3.2
	40～49 歳	136	45.6	26.5	18.4	36.8	20.6	23.5	36.0	19.9	1.5
	50～59 歳	148	42.6	31.8	20.9	46.6	16.9	14.2	30.4	20.9	1.4
	60～69 歳	257	29.2	23.7	11.3	33.9	10.1	7.0	42.8	23.7	8.6
	70 歳以上	311	27.0	21.9	6.4	24.1	11.9	5.8	33.1	19.0	16.4
	無回答	9	55.6	11.1	22.2	44.4	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2
居住地区	忍	53	28.3	26.4	5.7	37.7	17.0	11.3	22.6	22.6	5.7
	行田	69	33.3	13.0	7.2	27.5	7.2	21.7	30.4	17.4	10.1
	佐間	81	40.7	23.5	17.3	48.1	7.4	14.8	28.4	21.0	7.4
	持田	130	35.4	22.3	14.6	28.5	13.1	12.3	30.8	19.2	12.3
	星河	127	36.2	25.2	15.0	35.4	18.1	12.6	35.4	18.1	4.7
	長野	150	34.7	26.7	16.0	40.7	13.3	19.3	34.7	20.0	10.0
	星宮	21	38.1	33.3	33.3	42.9	9.5	9.5	42.9	9.5	9.5
	下忍	30	36.7	30.0	10.0	40.0	6.7	6.7	46.7	13.3	0.0
	荒木	45	35.6	13.3	11.1	24.4	6.7	6.7	42.2	33.3	8.9
	須加	19	42.1	21.1	15.8	26.3	26.3	26.3	31.6	21.1	10.5
	北河原	12	58.3	41.7	33.3	25.0	25.0	8.3	41.7	25.0	0.0
	埼玉	60	28.3	30.0	15.0	50.0	16.7	10.0	38.3	13.3	13.3
	太田	70	34.3	27.1	17.1	31.4	15.7	8.6	38.6	28.6	4.3
	太井	73	34.2	24.7	8.2	21.9	5.5	9.6	38.4	23.3	8.2
	南河原	51	41.2	31.4	15.7	33.3	23.5	11.8	41.2	15.7	9.8
無回答	34	55.9	26.5	26.5	41.2	5.9	11.8	26.5	20.6	8.8	

(5) デマンドタクシーについて

問 20 平成 29 年度から 75 歳以上の方および障がいのある方を対象にタクシー料金の一部を市が補助するデマンドタクシー事業を実施しています。そこで、デマンドタクシーについてお尋ねします。

(1) デマンドタクシーを知っていますか。次の中から 1 つに○を付けてください。



■ 「知らない」が 52.5%と半数以上。

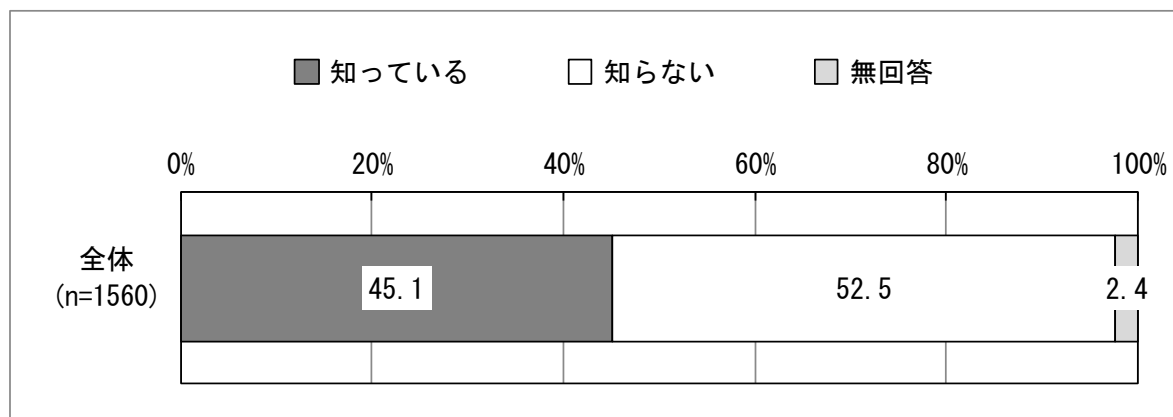
デマンドタクシーについて知っているかを尋ねたところ、「知らない」が 52.5%となっている。一方、「知っている」が 45.1%となっている。

性別でみると、「知らない」は男性 (58.5%) が女性 (48.2%) を上回る。

年齢別でみると、年齢が下がるにつれて「知らない」と回答する割合は増え、18～29 歳で 83.5%となっている。一方、年齢が上がるにつれて「知っている」と回答する割合は増え、70 歳以上で 58.8%となっている。

居住地区別でみると、行田、北河原、南河原では「知らない」と回答する割合が 7 割を超える。

デマンドタクシーについて (全体)



デマンドタクシーについて（全体、性別、年齢、居住地区）

（単位：％）

		n	知っている	知らない	無回答
全体		1560	45.1	52.5	2.4
性別	男性	689	39.9	58.5	1.6
	女性	861	49.1	48.2	2.7
	無回答	10	60.0	10.0	30.0
年齢	18～29 歳	127	16.5	83.5	0.0
	30～39 歳	151	23.8	76.2	0.0
	40～49 歳	209	38.3	60.3	1.4
	50～59 歳	228	47.4	51.3	1.3
	60～69 歳	360	49.2	50.0	0.8
	70 歳以上	471	58.8	35.7	5.5
	無回答	14	35.7	50.0	14.3
居住地区	忍	100	56.0	41.0	3.0
	行田	93	28.0	71.0	1.1
	佐間	129	54.3	45.7	0.0
	持田	258	41.9	57.0	1.2
	星河	167	49.1	48.5	2.4
	長野	201	46.8	49.8	3.5
	星宮	31	58.1	38.7	3.2
	下忍	38	44.7	50.0	5.3
	荒木	53	52.8	47.2	0.0
	須加	32	40.6	59.4	0.0
	北河原	16	25.0	75.0	0.0
	埼玉	86	55.8	41.9	2.3
	太田	111	43.2	49.5	7.2
	太井	133	47.4	51.9	0.8
	南河原	62	24.2	74.2	1.6
無回答	50	28.0	64.0	8.0	

(6) デマンドタクシーの検討すべき点

問 20 デマンドタクシーについてお尋ねします。

(2) 今後に向けて検討すべき点がありますか。次の中から2つまで○を付けてください。【複数回答】



■「運行範囲の拡大（市外への運行）」が第1位に挙げられ、次いで「対象年齢の拡大」が続く。

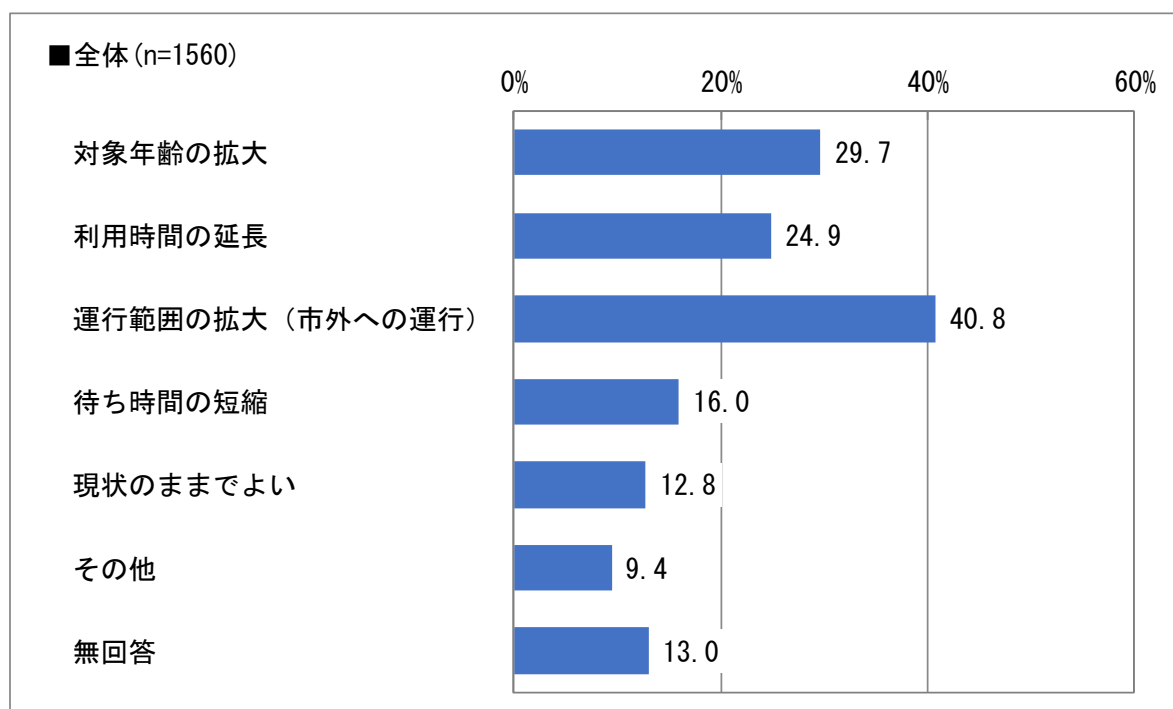
デマンドタクシーの検討すべき点について尋ねたところ、「運行範囲の拡大（市外への運行）」が40.8%と第1位に挙げられ、次いで「対象年齢の拡大」(29.7%)、「利用時間の延長」(24.9%)、「待ち時間の短縮」(16.0%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「運行範囲の拡大（市外への運行）」が第1位になっている。

年齢別でみると、ほとんどの年齢で「運行範囲の拡大（市外への運行）」が、30～39歳では「対象年齢の拡大」が第1位になっている。

居住地区別にみると、ほとんどの地区で「運行範囲の拡大（市外への運行）」が、南河原では「対象年齢の拡大」が第1位になっている。

デマンドタクシーの検討すべき点（全体／複数回答）



デマンドタクシーの検討すべき点（全体、性別、年齢、居住地区／複数回答）

（単位：％）

		n	対象年齢の拡大	利用時間の延長	運行範囲の拡大	待ち時間の短縮	現状のままでよい	その他	無回答
全体		1560	29.7	24.9	40.8	16.0	12.8	9.4	13.0
性別	男性	689	29.6	25.5	39.2	16.5	13.5	10.9	11.2
	女性	861	30.1	24.4	42.3	15.3	12.2	8.2	14.2
	無回答	10	0.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	25.2	17.3	30.7	14.2	28.3	9.4	8.7
	30～39 歳	151	43.7	23.8	36.4	13.9	13.9	9.9	7.9
	40～49 歳	209	30.6	28.7	46.9	13.9	12.9	11.0	6.7
	50～59 歳	228	33.8	23.2	44.7	16.7	11.4	11.0	8.8
	60～69 歳	360	34.7	28.3	40.3	14.4	9.7	9.2	11.1
	70 歳以上	471	19.7	24.2	40.8	18.7	11.3	8.1	21.9
	無回答	14	42.9	7.1	35.7	21.4	7.1	7.1	21.4
居住地区	忍	100	25.0	31.0	54.0	18.0	11.0	11.0	6.0
	行田	93	33.3	22.6	35.5	20.4	15.1	5.4	9.7
	佐間	129	30.2	25.6	37.2	14.7	13.2	12.4	10.1
	持田	258	30.6	20.9	37.2	20.5	11.6	10.5	14.3
	星河	167	30.5	25.7	43.7	13.8	14.4	10.8	10.8
	長野	201	27.4	26.4	37.3	20.4	13.4	10.4	12.4
	星宮	31	29.0	9.7	38.7	3.2	19.4	9.7	12.9
	下忍	38	34.2	28.9	55.3	10.5	7.9	5.3	13.2
	荒木	53	34.0	30.2	35.8	15.1	9.4	9.4	15.1
	須加	32	18.8	21.9	62.5	6.3	9.4	6.3	9.4
	北河原	16	37.5	18.8	50.0	12.5	6.3	6.3	18.8
	埼玉	86	24.4	34.9	48.8	9.3	14.0	7.0	12.8
	太田	111	22.5	25.2	49.5	13.5	9.0	6.3	20.7
	太井	133	33.8	21.8	34.6	12.8	16.5	12.8	9.8
	南河原	62	37.1	25.8	33.9	17.7	12.9	3.2	21.0
無回答	50	34.0	20.0	26.0	16.0	12.0	8.0	24.0	

13 国際交流について

(1) 望ましい国際交流の促進方法

問 21 国際化社会に対応して、本市の国際交流をどのように促進すべきだとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。【複数回答】

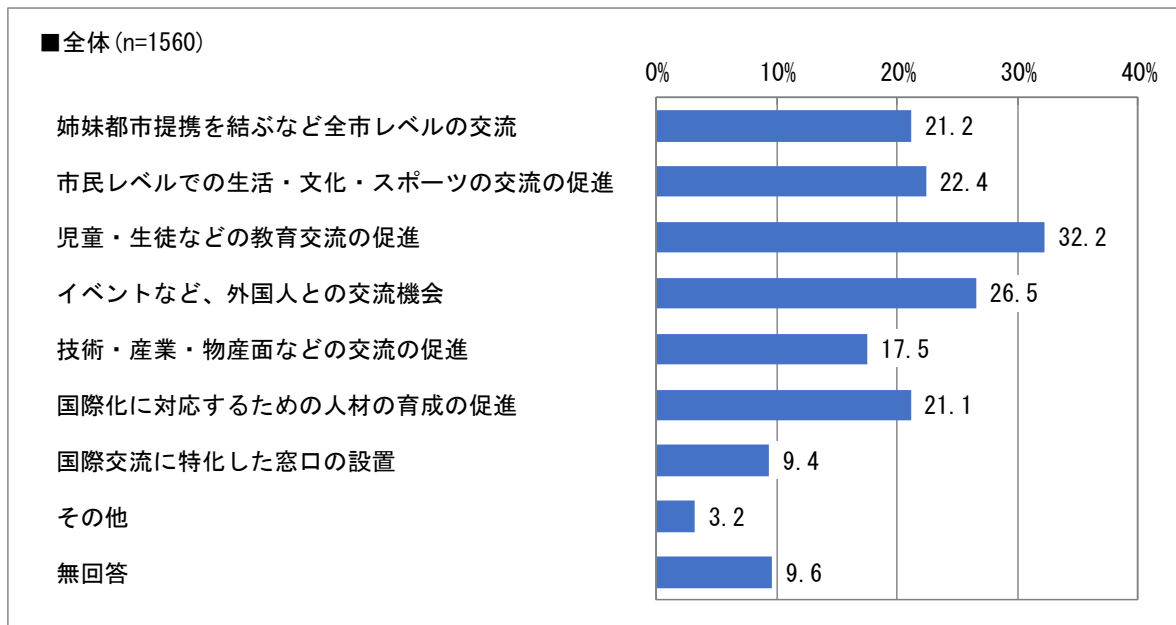
■「児童・生徒などの教育交流の促進」が第1位。

望ましい国際交流の促進方法は、「児童・生徒などの教育交流の促進」(32.2%)が第1位に挙げられ、次いで「イベントなど、外国人との交流機会」(26.5%)、「市民レベルでの生活・文化・スポーツ交流の促進」(22.4%)「姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルの交流」(21.2%)、「国際化に対応するための人材の育成の促進」(21.1%)などの順となっている。

性別でみると、男女ともに「児童・生徒などの教育交流の促進」が第1位となっている。

年齢別でみると、50～59歳では「イベントなど、外国人との交流機会」、それ以外の層では「児童・生徒などの教育交流の促進」がそれぞれ第1位となっている。

望ましい国際交流の促進方法（全体／複数回答）



望ましい国際交流の促進方法（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	全市レベルの交流	姉妹都市提携を結ぶなど	スポーツの交流の促進	市民レベルでの生活・文化・	児童・生徒などの教育交流の促進	イベントなど、外国人との交流機会	技術・産業・物産面などの交流の促進	国際化に対応するための人材の育成の促進	国際交流に特化した窓口の設置	その他	無回答
全体		1560	21.2	22.4	32.2	26.5	17.5	21.1	9.4	3.2	9.6		
性別	男性	689	22.6	24.7	26.9	25.3	19.0	22.9	8.7	4.6	9.0		
	女性	861	20.1	20.7	36.9	27.9	16.4	19.9	10.0	2.1	9.3		
	無回答	10	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	80.0		
年齢	18～29 歳	127	24.4	22.8	42.5	28.3	19.7	16.5	11.8	2.4	1.6		
	30～39 歳	151	26.5	17.2	36.4	30.5	13.9	24.5	11.3	6.0	0.7		
	40～49 歳	209	20.6	16.3	43.1	26.8	13.4	21.1	14.4	4.3	5.3		
	50～59 歳	228	25.4	21.9	24.1	32.0	21.9	22.8	8.8	3.1	3.5		
	60～69 歳	360	20.0	24.2	32.5	29.4	18.1	23.9	10.0	2.5	5.6		
	70 歳以上	471	18.0	25.7	27.2	20.0	17.6	18.5	5.9	2.5	21.7		
	無回答	14	7.1	14.3	28.6	21.4	7.1	14.3	0.0	7.1	42.9		

14 市の教育方針について

(1) 力を入れるべき教育

問 22 市の教育方針として、今後どのような教育に力を入れるべきとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。【複数回答】

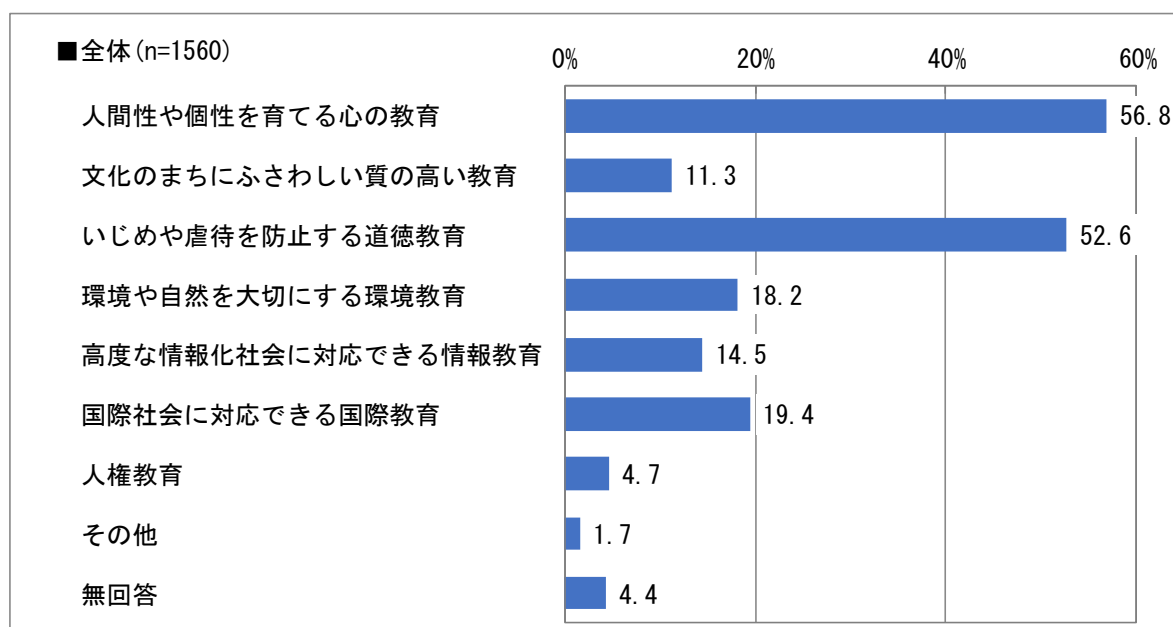
■「人間性や個性を育てる心の教育」及び「いじめや虐待を防止する道德教育」が2大要望。

力を入れるべき教育は、「人間性や個性を育てる心の教育」(56.8%)が第1位に挙げられ、次いで「いじめや虐待を防止する道德教育」(52.6%)が続き、これらが他を大きく引き離して2大要望となっている。

性別でみると、男女ともに「人間性や個性を育てる心の教育」及び「いじめや虐待を防止する道德教育」の2大要望が上位を占める。また、女性では「人間性や個性を育てる心の教育」(59.6%)と回答する割合が比較的多い。

年齢別でみると、すべての層で「人間性や個性を育てる心の教育」及び「いじめや虐待を防止する道德教育」の2大要望が上位を占める。また、30～39歳では「国際社会に対応できる国際教育」(31.1%)と回答する割合が比較的多い。

力を入れるべき教育（全体／複数回答）



力を入れるべき教育（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	心の教育 人間性や個性を育てる	文化の質 の高い教育 のまちにふさわしい	いじめや虐待を防止 する道徳教育	環境や自然を大切に する環境教育	高度な情報化社会に 対応できる情報教育	国際社会に対応できる 国際教育	人権教育	その他	無回答
全体		1560	56.8	11.3	52.6	18.2	14.5	19.4	4.7	1.7	4.4
性別	男性	689	53.8	11.0	52.8	19.9	15.2	19.0	4.8	2.2	4.2
	女性	861	59.6	11.5	52.7	17.1	13.9	20.0	4.6	1.3	3.9
	無回答	10	20.0	10.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年齢	18～29 歳	127	53.5	8.7	55.9	18.9	18.9	15.0	11.0	3.9	0.0
	30～39 歳	151	53.6	11.9	55.0	17.2	17.9	31.1	1.3	1.3	0.0
	40～49 歳	209	54.1	15.8	49.8	17.2	20.6	21.5	5.7	1.9	1.4
	50～59 歳	228	58.8	13.2	50.9	18.0	14.5	20.2	3.5	1.8	2.2
	60～69 歳	360	60.0	11.7	55.6	20.6	11.7	21.1	4.4	1.1	0.8
	70 歳以上	471	56.9	8.7	51.2	17.4	12.1	14.2	4.5	1.5	11.5
	無回答	14	42.9	7.1	42.9	7.1	0.0	21.4	0.0	0.0	21.4

15 防災体制について

(1) 防災体制として重要なこと

問 23 防災対策についてお尋ねします。

(1) 市の防災体制として、どのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。【複数回答】

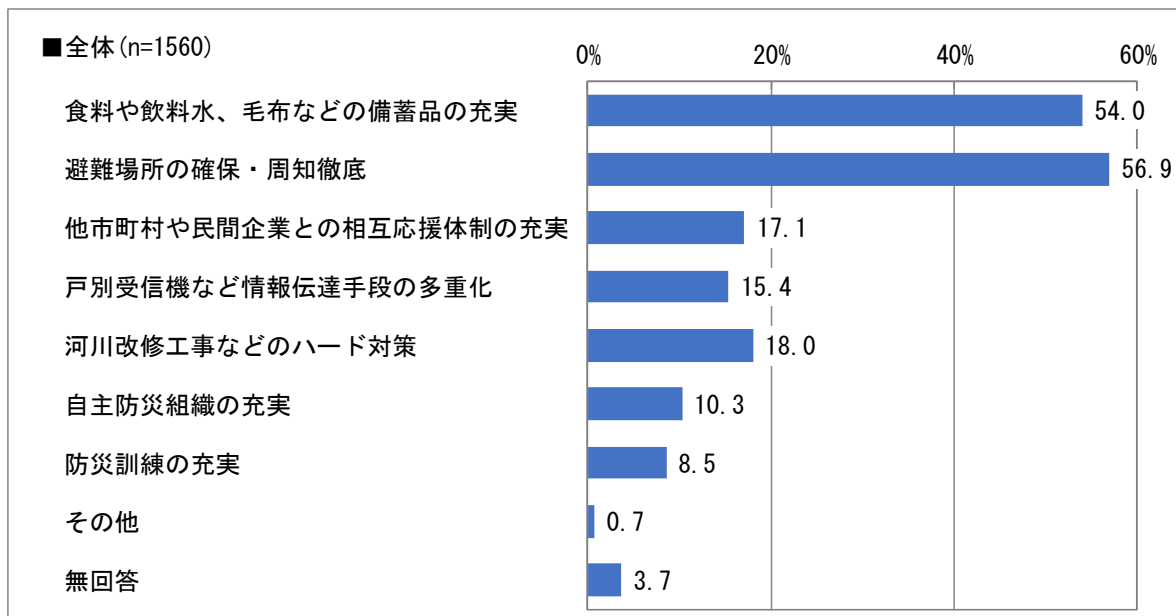
■「避難場所の確保・周知徹底」が第1位。次いで「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」で、この2つが特に多い。

防災体制として重要なことは、「避難場所の確保・周知徹底」(56.9%)が第1位に挙げられ、次いで「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」(54.0%)で、この2つが特に多い。次に「河川改修工事などのハード対策」(18.0%)、「他市町村や民間企業との相互応援体制の充実」(17.1%)が続いている。

性別でみると、男女ともに「避難場所の確保・周知徹底」が第1位に挙げられ、次いで「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」となっている。

年齢別でみると、すべての層で「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」及び「避難場所の確保・周知徹底」が上位を占める。また、40～49歳では「河川改修工事などのハード対策」(25.8%)が比較的多くなっている。

防災体制として重要なこと（全体／複数回答）



防災体制として重要なこと（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	食料や飲料水、毛布などの 備蓄品の充実	避難場所の確保・周知徹底	他市町村や民間企業との 相互応援体制の充実	戸別受信機など情報 伝達手段の多重化	河川改修工事などの ハード対策	自主防災組織の充実	防災訓練の充実	その他	無回答
全体		1560	54.0	56.9	17.1	15.4	18.0	10.3	8.5	0.7	3.7
性別	男性	689	52.0	54.6	17.6	16.1	18.7	12.0	8.9	1.2	3.2
	女性	861	55.6	59.0	16.8	14.9	17.7	8.9	8.4	0.3	3.6
	無回答	10	50.0	40.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
年齢	18～29 歳	127	68.5	69.3	7.9	7.1	19.7	7.1	7.1	0.0	0.0
	30～39 歳	151	65.6	57.0	17.2	13.2	19.9	7.9	6.6	1.3	0.7
	40～49 歳	209	53.1	56.9	22.0	11.5	25.8	4.3	7.7	1.0	2.4
	50～59 歳	228	54.4	53.9	17.5	17.5	18.4	9.2	10.1	1.3	1.3
	60～69 歳	360	48.6	56.9	18.3	18.6	18.3	15.6	9.4	0.8	1.4
	70 歳以上	471	50.7	55.6	16.3	16.6	13.6	11.3	8.7	0.2	8.1
	無回答	14	50.0	35.7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7

(2) 自身や家庭での防災対策の状況

問 23 防災対策についてお尋ねします。

(2) 災害時に備えて、自身や家庭で防災対策に取り組んでいますか。次の中から1つに○を付けてください。

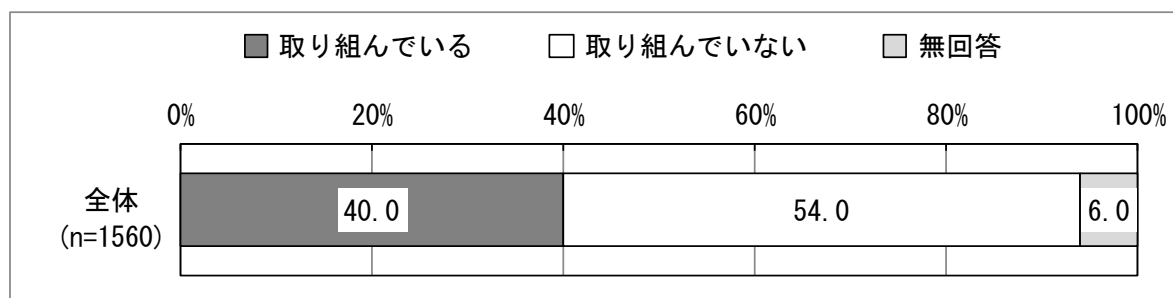
■「取り組んでいない」が54.0%、「取り組んでいる」が40.0%。

自身や家庭での防災対策の状況については、「取り組んでいない」が54.0%と半数以上となっている。一方、「取り組んでいる」が40.0%となっている。

性別でみると、男女ともに「取り組んでいない」が最も多くなっている。

年齢別でみると、年齢が下がるにつれて「取り組んでいない」の割合が増え、18～29歳では69.3%となっている。

自身や家庭での防災対策の状況（全体）



自身や家庭での防災対策の状況（全体、性別、年齢）

(単位: %)

		n	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全体		1560	40.0	54.0	6.0
性別	男性	689	41.1	53.1	5.8
	女性	861	39.4	55.1	5.6
	無回答	10	20.0	20.0	60.0
年齢	18～29歳	127	29.1	69.3	1.6
	30～39歳	151	38.4	60.3	1.3
	40～49歳	209	35.4	61.7	2.9
	50～59歳	228	50.0	48.2	1.8
	60～69歳	360	43.9	51.7	4.4
	70歳以上	471	38.2	49.3	12.5
	無回答	14	21.4	42.9	35.7

(3) 防災対策の取り組みの内容

問 23 防災対策についてお尋ねします。

(3) 【(2)で「1. 取り組んでいる」と答えた方にお尋ねします】どのような取り組みを行っていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

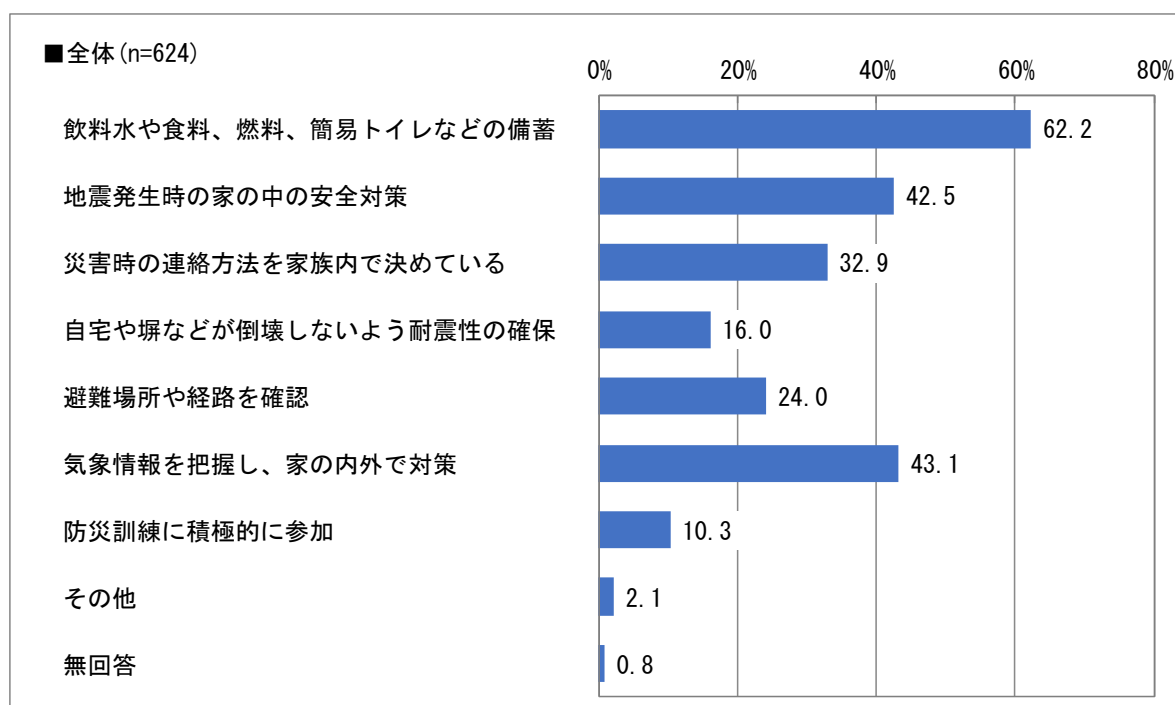


■「飲料水や食料、燃料、簡易トイレなどの備蓄」が第1位に挙げられ、6割を超える。

防災対策に「取り組んでいる」人(624人)に行っている取り組みを尋ねたところ、「飲料水や食料、燃料、簡易トイレなどの備蓄」(62.2%)が6割を超え、第1位に挙げられている。次いで「気象情報を把握し、家の内外で対策」(43.1%)、「地震発生時の家の中の安全対策」(42.5%)、「災害時の連絡方法を家族内で決めている」(32.9%)などの順となっている。

性別、年齢別でみると、すべての層で「飲料水や食料、燃料、簡易トイレなどの備蓄」が第1位に挙げられている。

防災対策の取り組みの内容 (全体/複数回答)



防災対策の取り組みの内容（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	飲料水や食料、燃料、簡易トイレなどの備蓄	地震発生時の家の中の安全対策	災害時の連絡方法を家族内で決めている	自宅やブロック塀などが倒壊しないよう耐震性の確保	避難場所や経路を確認	気象情報を把握し、家の内外で対策	防災訓練に積極的に参加	その他	無回答
全体		624	62.2	42.5	32.9	16.0	24.0	43.1	10.3	2.1	0.8
性別	男性	283	63.3	41.7	27.9	19.8	25.4	40.6	12.0	1.8	1.1
	女性	339	61.1	43.1	37.2	13.0	22.7	45.1	8.8	2.4	0.6
	無回答	2	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18～29 歳	37	67.6	51.4	40.5	8.1	21.6	45.9	2.7	2.7	0.0
	30～39 歳	58	65.5	43.1	31.0	22.4	17.2	39.7	3.4	1.7	0.0
	40～49 歳	74	67.6	41.9	31.1	13.5	27.0	45.9	8.1	4.1	0.0
	50～59 歳	114	66.7	46.5	39.5	18.4	28.9	48.2	7.0	1.8	0.0
	60～69 歳	158	65.2	34.8	30.4	14.6	20.9	38.6	12.7	1.9	1.3
	70 歳以上	180	52.8	45.0	30.0	16.7	24.4	42.8	14.4	1.7	1.7
	無回答	3	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0

(4) 防災対策に取り組んでいない理由

問 23 防災対策についてお尋ねします。

(4) 【(2) で「2. 取り組んでいない」と答えた方にお尋ねします】どのような理由なのか、次の中から1つに○を付けてください。【複数回答】

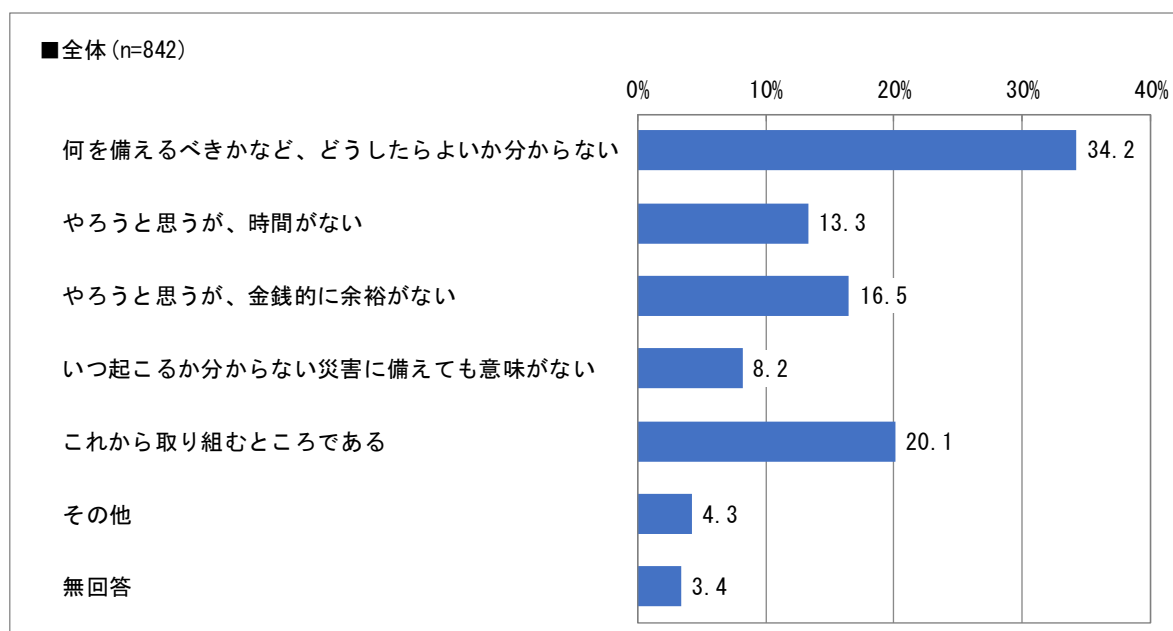
■「何を備えるべきかなど、どうしたらよいか分からない」が第1位。

防災対策に「取り組んでいない」人(842人)に取り組まない理由を尋ねたところ、「何を備えるべきかなど、どうしたらよいか分からない」(34.2%)が第1位に挙げられている。次いで「これから取り組むところである」(20.1%)、「やろうと思うが、金銭的に余裕がない」(16.5%)、「やろうと思うが、時間がない」(13.3%)などの順となっている。

性別でみると、男女とも「何を備えるべきかなど、どうしたらよいか分からない」が第1位に挙げられている。

年齢別でも、すべての層で「何を備えるべきかなど、どうしたらよいか分からない」が第1位に挙げられ、60歳以上で、「これから取り組むところである」と回答する割合が比較的多い。

防災対策に取り組んでいない理由(全体/複数回答)



防災対策に取り組んでいない理由（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	何を備えるべきかなど、 どうしたらよいか分からない	やろうと思うが、 時間がない	金的に余裕がない やろうと思うが、 金銭的に余裕がない	いつ起こるか分からない災害に 備えても、あまり意味がない	これから取り組むところである	その他	無回答
全体		842	34.2	13.3	16.5	8.2	20.1	4.3	3.4
性別	男性	366	32.5	10.7	15.8	11.2	21.0	4.6	4.1
	女性	474	35.4	15.4	17.1	5.9	19.2	4.0	3.0
	無回答	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年齢	18～29 歳	88	33.0	20.5	20.5	3.4	15.9	5.7	1.1
	30～39 歳	91	35.2	13.2	20.9	11.0	14.3	4.4	1.1
	40～49 歳	129	32.6	22.5	20.9	5.4	10.9	4.7	3.1
	50～59 歳	110	34.5	13.6	20.9	8.2	17.3	2.7	2.7
	60～69 歳	186	35.5	11.8	10.2	10.8	23.1	4.8	3.8
	70 歳以上	232	34.1	5.6	14.2	8.6	28.0	3.9	5.6
	無回答	6	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0

(5) 街頭防犯カメラの設置への意見

問 24 あなたは、路上など屋外の公共の場所に街頭防犯カメラを設置することについて、どのようにお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

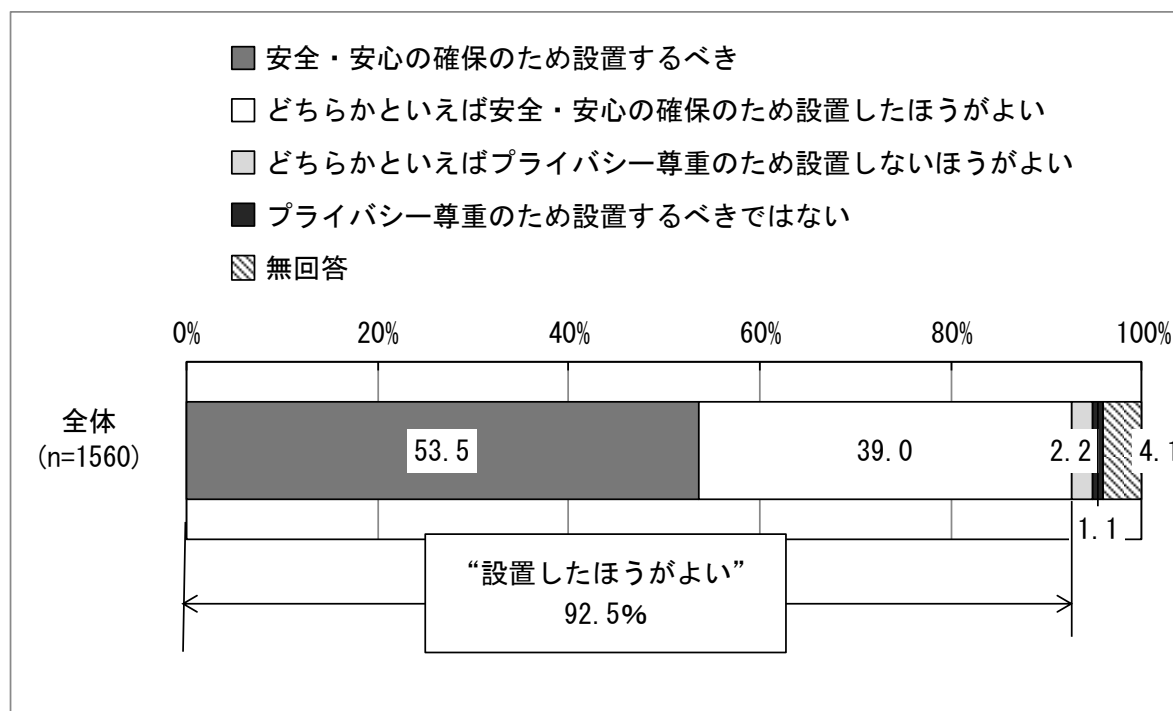
■ “設置したほうがよい” が9割以上。

街頭防犯カメラの設置について、「安全・安心の確保のため設置すべき」が53.5%と最も多く、これに「どちらかといえば安全・安心の確保のため設置したほうがよい」(39.0%)を合わせた“設置したほうがよい”は92.5%と9割以上を占める。一方、“設置しないほうがよい”(「どちらかといえばプライバシー尊重のため設置しないほうがよい」(2.2%)及び「プライバシー尊重のため設置すべきではない」(1.1%)の合計)はわずか3.3%にとどまる。

性別、年齢別でみると、すべての層で「安全・安心の確保のため設置すべき」が最も割合が多い。

居住地区別でみると、ほとんどの地区で「安全・安心の確保のため設置すべき」が最も割合が多く、下忍では「どちらかといえば安全・安心の確保のため設置したほうがよい」が最も多い。

街頭防犯カメラの設置への意見（全体）



街頭防犯カメラの設置への意見（全体、性別、年齢）

（単位：％）

	n	“設置したほうがよい”		どちらかといえばプライバシー 尊重のため設置しないほうがよい	プライバシー尊重のため 設置すべきではない	無回答	
		安全・安心の確保のため設置 すべき	どちらかといえば安全・安心の 確保のため設置したほうがよいの				
全体	1560	92.5		2.2	1.1	4.1	
		53.5	39.0				
性別	男性	689	90.9		3.8	1.5	3.9
			54.3	36.6			
	女性	861	94.4		1.0	0.8	3.7
			53.2	41.2			
無回答	10	50.0		0.0	0.0	50.0	
		30.0	20.0				
年齢	18～29 歳	127	97.6		0.8	1.6	0.0
			60.6	37.0			
	30～39 歳	151	94.0		5.3	0.0	0.7
			62.9	31.1			
	40～49 歳	209	91.9		2.4	3.3	2.4
			50.2	41.6			
	50～59 歳	228	92.1		3.5	0.9	3.5
			50.9	41.2			
	60～69 歳	360	95.0		2.2	1.1	1.7
			52.8	42.2			
70 歳以上	471	90.0		1.1	0.4	8.5	
		52.9	37.2				
無回答	14	71.4		0.0	0.0	28.6	
		21.4	50.0				

街頭防犯カメラの設置への意見（全体、居住地区）

（単位：％）

	n	“設置したほうがよい”		どちらかといえばプライバシー尊重のため設置しないほうがよい	プライバシー尊重のため設置すべきではない	無回答	
		安全・安心の確保のため設置すべき	どちらかといえば安全・安心の確保のため設置したほうがよい				
全体	1560	92.5		2.2	1.1	4.1	
		53.5	39.0				
居住地区	忍	100	95.0		2.0	1.0	2.0
			53.0	42.0			
	行田	93	91.4		2.2	3.2	3.2
			47.3	44.1			
	佐間	129	95.3		2.3	0.8	1.6
			54.3	41.1			
	持田	258	91.9		3.5	1.2	3.5
			54.7	37.2			
	星河	167	94.0		1.2	1.8	3.0
			48.5	45.5			
	長野	201	90.5		2.5	0.5	6.5
			53.2	37.3			
	星宮	31	90.3		3.2	0.0	6.5
			58.1	32.3			
	下忍	38	94.7		2.6	0.0	2.6
			39.5	55.3			
	荒木	53	90.6		3.8	0.0	5.7
			58.5	32.1			
	須加	32	96.9		0.0	0.0	3.1
			53.1	43.8			
北河原	16	93.8		0.0	6.3	0.0	
		50.0	43.8				
埼玉	86	94.2		0.0	1.2	4.7	
		59.3	34.9				
太田	111	88.3		2.7	0.9	8.1	
		54.1	34.2				
太井	133	91.7		3.8	0.8	3.8	
		54.1	37.6				
南河原	62	96.8		0.0	1.6	1.6	
		56.5	40.3				
無回答	50	92.0		0.0	0.0	8.0	
		64.0	28.0				

16 ものつくり大学について

(1) ものつくり大学施設の見学・利用状況

問 25 地域に開かれた大学を目指しているものつくり大学についてお尋ねします。

(1) 大学の施設を見学または利用したことがありますか。次の中から1つに○を付けてください。

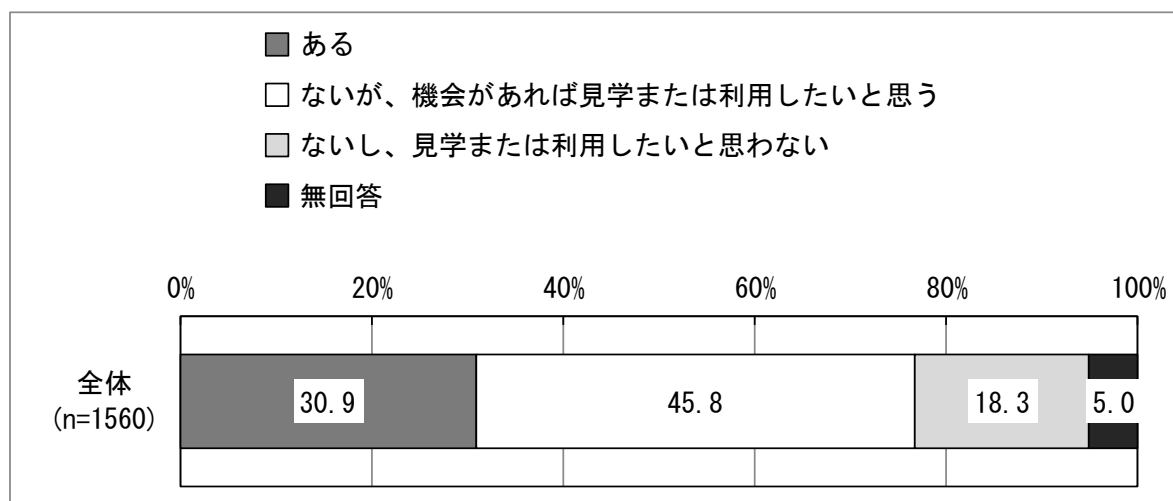
■「ないが、機会があれば見学または利用したいと思う」が45.8%を占め、
見学・利用意向のある人が約8割を占める。

ものつくり大学施設の見学・利用状況については、「ないが、機会があれば見学または利用したいと思う」が45.8%と最も多く、次いで「ある」が30.9%、「ないし、見学または利用したくないと思わない」が18.3%となっている。大学の見学・利用意向がある割合（「ある」及び「ないが、機会があれば見学または利用したいと思う」の合計）は76.7%と約8割を占めている。

性別でみると、男女ともに見学・利用意向がある割合が約8割となっている。

年齢別でみると、見学・利用意向のある割合は、40～49歳、50～59歳、60～69歳では8割以上を占めるが、40歳未満、70歳以上では7割前後と比較的少なくなっている。

ものつくり大学の施設の見学・利用状況（全体）



ものづくり大学の施設の見学・利用状況（全体、性別、年齢）

（単位：％）

		n	ある	ないが、機会があれば見学または利用したいと思う	ないし、見学または利用したいと思わない	無回答
全体		1560	30.9	45.8	18.3	5.0
性別	男性	689	27.6	50.1	17.9	4.5
	女性	861	33.8	43.0	18.4	4.9
	無回答	10	10.0	0.0	40.0	50.0
年齢	18～29 歳	127	43.3	27.6	28.3	0.8
	30～39 歳	151	25.2	45.0	27.2	2.6
	40～49 歳	209	34.4	47.4	16.7	1.4
	50～59 歳	228	36.4	48.2	13.2	2.2
	60～69 歳	360	27.5	56.7	13.9	1.9
	70 歳以上	471	27.6	41.4	19.3	11.7
	無回答	14	35.7	28.6	14.3	21.4

(2) ものづくり大学に期待すること

問 25 地域に開かれた大学を目指しているものづくり大学についてお尋ねします。

(2) 市では、ものづくり大学を核としたまちづくりに力を入れています。あなたが今後、大学に期待することは何ですか。次の中から2つまで○を付けてください。【複数回答】



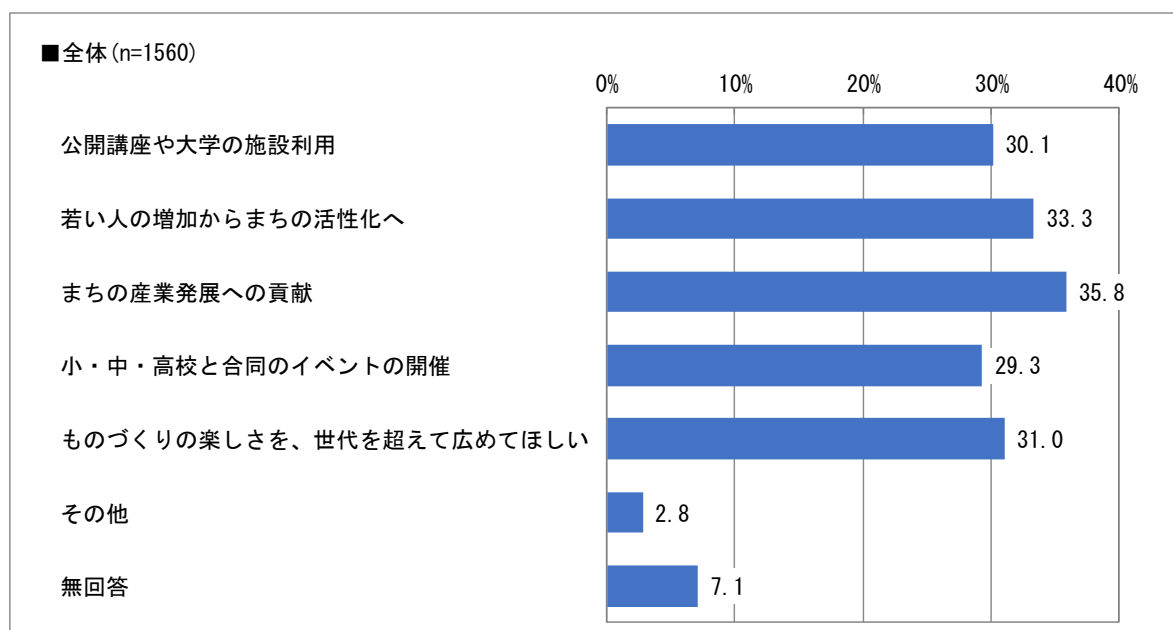
■「まちの産業発展への貢献」が第1位。次いで「若い人の増加からまちの活性化へ」が続く。

ものづくり大学に期待することは、「まちの産業発展への貢献」(35.8%)が第1位に挙げられ、次いで「若い人の増加からまちの活性化へ」(33.3%)、「ものづくりの楽しさを世代を超えて広めてほしい」(31.0%)、「公開講座や大学の施設利用」(30.1%)、「小・中・高校と合同のイベントの開催」(29.3%)の順となっている。

性別でみると、男女とも「まちの産業発展への貢献」が第1位に挙げられる。また、女性では「小・中・高校と合同のイベントの開催」(32.1%)と回答する割合が比較的多い。

年齢別でみると、ほとんどの層で「まちの産業発展への貢献」が、30～39歳では「若い人の増加からまちの活性化へ」が第1位に挙げられている。

ものづくり大学に期待すること (全体/複数回答)



ものづくり大学に期待すること（全体、性別、年齢／複数回答）

（単位：％）

		n	公開講座や大学の施設 利用	若い人の増加からまちの 活性化へ	まちの産業発展への貢献	小・中・高校と合同の イベントの開催	ものづくりの楽しさを世代 を超えて広めてほしい	その他	無回答
全体		1560	30.1	33.3	35.8	29.3	31.0	2.8	7.1
性別	男性	689	30.9	34.8	35.8	26.1	31.2	3.9	6.4
	女性	861	29.6	32.2	36.1	32.1	31.1	2.0	7.2
	無回答	10	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0	50.0
年齢	18～29 歳	127	26.8	31.5	39.4	30.7	30.7	3.1	3.1
	30～39 歳	151	28.5	38.4	33.8	35.8	25.2	4.6	2.6
	40～49 歳	209	34.4	28.7	38.8	37.8	29.2	2.4	2.4
	50～59 歳	228	34.2	34.6	36.4	24.6	34.6	3.9	2.6
	60～69 歳	360	36.7	34.2	37.5	27.8	30.8	2.8	4.2
	70 歳以上	471	22.9	33.1	33.5	26.1	32.3	1.9	15.7
	無回答	14	21.4	28.6	7.1	42.9	28.6	0.0	21.4

17 市民の通勤、買い物などの行き先について

(1) 市民の通勤・通学、買い物などの主な行き先

問 26 あなたの通勤・通学先や、買い物、行楽などの主な行き先はどこですか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

■ 『②日常的な買い物』『④病院等の利用』は「市内」、『③週末の買い物』では「近隣市町」、『⑧自然を親しむ近距離の行楽』では「県外」が最も多い。一方、『①通勤先・通学先』『⑤スポーツ・レクリエーション』『⑥生涯学習、サークル、文化活動』『⑦音楽会、観劇、美術鑑賞等』『⑨歴史・文化に親しむ近距離の行楽』では、「そのような行動はしていない」が最も多い。

通勤・通学、買い物などの主な行き先を尋ねたところ、『①通勤先・通学先』では「そのような行動はしていない」(26.2%)が最も多く、次いで「市内」(24.2%)、「近隣市町」(18.1%)などの順となっている。

『②日常的な買い物』では「市内」(68.5%)が最も多く、次いで「近隣市町」(21.0%)、「県内」(3.4%)などの順となっている。

『③週末の買い物』では「近隣市町」(39.0%)が最も多く、次いで「市内」(36.3%)、「県内」(7.6%)などの順となっている。

『④病院などの利用』では「市内」(61.7%)が最も多く、次いで「近隣市町」(22.9%)、「県内」(6.2%)などの順となっている。

『⑤スポーツ・レクリエーション』では「そのような行動はしていない」(34.4%)が最も多く、次いで「市内」(30.3%)、「近隣市町」(12.6%)などの順となっている。

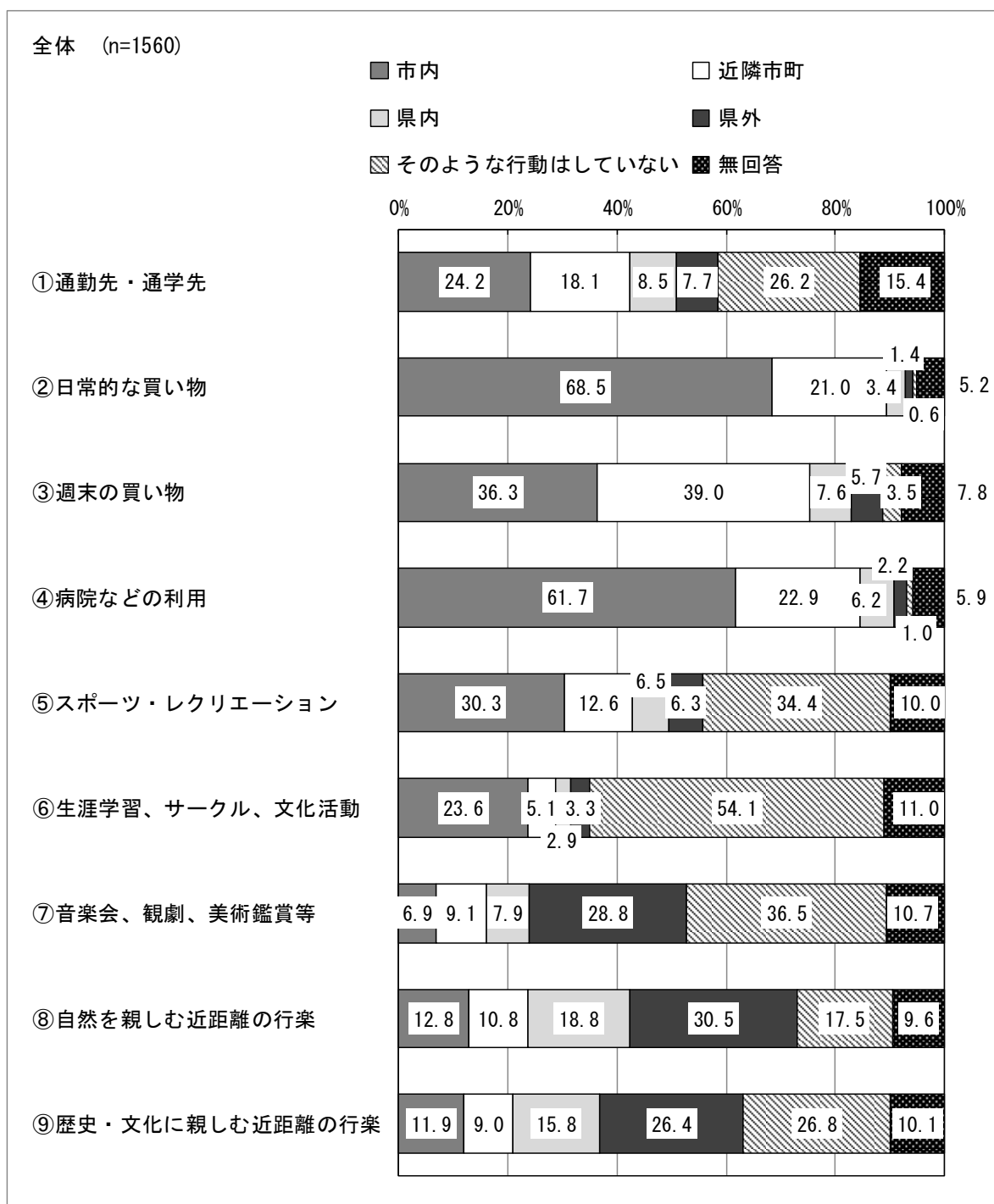
『⑥生涯学習、サークル、文化活動』では「そのような行動はしていない」(54.1%)が最も多く、次いで「市内」(23.6%)、「近隣市町」(5.1%)などの順となっている。

『⑦音楽会、観劇、美術鑑賞等』では「そのような行動はしていない」(36.5%)が最も多く、次いで「県外」(28.8%)、「近隣市町」(9.1%)などの順となっている。

『⑧自然を親しむ近距離の行楽』では「県外」(30.5%)が最も多く、次いで「県内」(18.8%)、「そのような行動はしていない」(17.5%)などの順となっている。

『⑨歴史・文化に親しむ近距離の行楽』では「そのような行動はしていない」(26.8%)が最も多く、次いで「県外」(26.4%)、「県内」(15.8%)などの順となっている。

市民の通勤・通学、買い物などの、主な行き先（全体）



18 インターネットの利用について

(1) インターネットが利用できる環境

問27 あなたは、インターネットを利用できる環境にありますか。次の中から1つに○を付けてください。

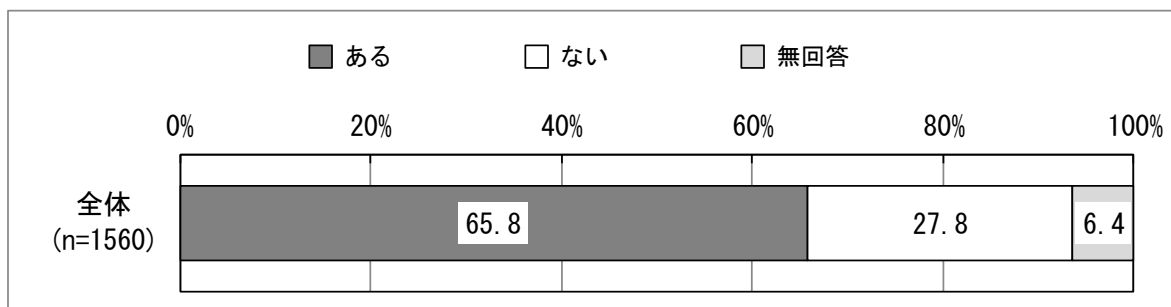
■インターネットの利用ができる環境が「ある」が65.8%。

インターネットが利用できる環境があるかについては、「ある」が65.8%と6割以上を占める一方、「ない」は27.8%となっている。

性別でみると、男女ともに「ある」が6割を超える。

年齢別でみると、「ある」と回答した人の割合が18～29歳で98.4%と最も多く、60歳未満の層では約9割以上となっている。一方、60～69歳では66.1%、70歳以上では26.1%と少なくなっている。

インターネットが利用できる環境（全体）



インターネットが利用できる環境（全体、性別、年齢）

(単位: %)

		n	ある	ない	無回答
全体		1560	65.8	27.8	6.4
性別	男性	689	66.5	26.4	7.1
	女性	861	66.0	28.6	5.5
	無回答	10	0.0	60.0	40.0
年齢	18～29歳	127	98.4	0.8	0.8
	30～39歳	151	94.7	2.6	2.6
	40～49歳	209	90.4	6.7	2.9
	50～59歳	228	88.2	8.3	3.5
	60～69歳	360	66.1	30.6	3.3
	70歳以上	471	26.1	60.1	13.8
	無回答	14	50.0	21.4	28.6

19 市政や市役所について

(1) 行政への信頼度

問 28 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。(1)～(4)の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。
(1) 行政への信頼度

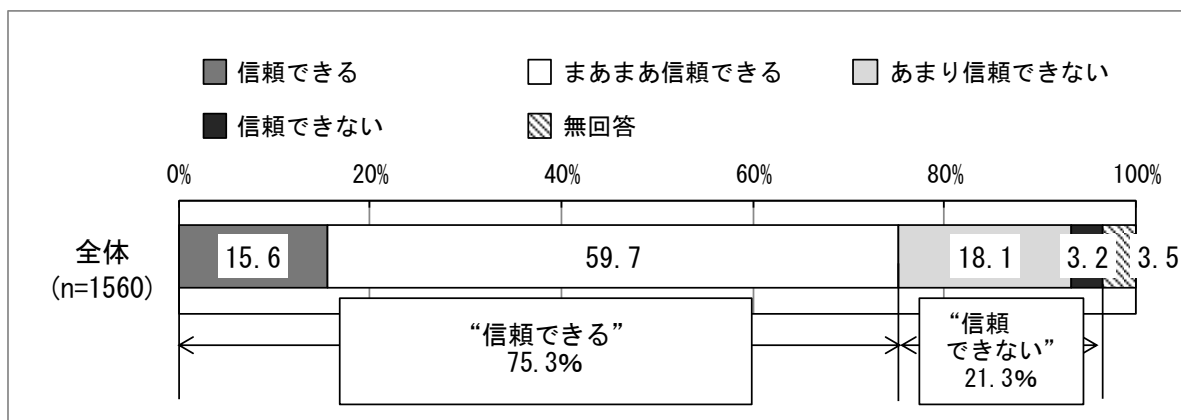
■ “信頼できる”が75.3%、“信頼できない”が21.3%。

行政への信頼度については、「まあまあ信頼できる」が59.7%で最も多く、これに「信頼できる」(15.6%)を合わせた“信頼できる”が75.3%と7割を超える。一方、“信頼できない”(「あまり信頼できない」(18.1%)及び「信頼できない」(3.2%))の合計は21.3%となっている。

性別でみると、男女ともに“信頼できる”が7割を超える。

年齢別でみると、すべての層で“信頼できる”がほぼ7割以上となっているが、年齢が上がるにつれて割合が多くなり、70歳以上では80.3%となっている。

行政への信頼度（全体）



行政への信頼度（全体、性別、年齢）

（単位：％）

	n	“信頼できる”		“信頼できない”		無回答	
		信頼できる	まあまあ信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない		
全体	1560	75.3		21.3		3.5	
		15.6	59.7	18.1	3.2		
性別	男性	75.2		21.5		3.3	
		16.8	58.3	17.9	3.6		
	女性	75.5		21.3		3.3	
		14.4	61.1	18.4	2.9		
	無回答	10	60.0		10.0		30.0
			30.0	30.0	10.0	0.0	
年齢	18～29 歳	70.9		27.6		1.6	
		10.2	60.6	22.0	5.5		
	30～39 歳	69.5		29.1		1.3	
		10.6	58.9	22.5	6.6		
	40～49 歳	72.7		25.8		1.4	
		10.0	62.7	23.0	2.9		
	50～59 歳	73.7		23.7		2.6	
		13.2	60.5	20.2	3.5		
	60～69 歳	75.6		22.8		1.7	
		12.8	62.8	19.7	3.1		
	70 歳以上	80.3		13.0		6.8	
		24.2	56.1	11.3	1.7		
	無回答	14	64.3		14.3		21.4
			21.4	42.9	14.3	0.0	

(2) 各施策の実行能力

問 28 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。(1)～(4)の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。
(2) 各施策の実行能力

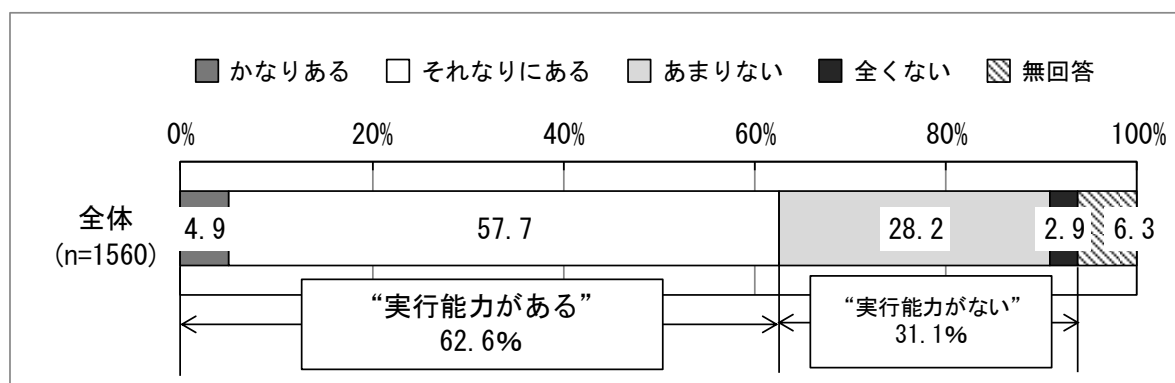
■ “実行能力がある” が 62.6%、“実行能力がない” が 31.1%。

各施策の実行能力については、「それなりにある」が 57.7%で最も多く、これに「かなりある」(4.9%)を合わせた“実行能力がある”が 62.6%と6割を超える。一方“実行能力がない”（「あまりない」(28.2%)及び「全くない」(2.9%)の合計）は 31.1%となっている。

性別でみると、男女ともに“実行能力がある”が6割を超える。

年齢別でみると、30歳以上で“実行能力がある”と回答する割合は年齢が上がるにつれて増加し、70歳以上で 68.4%と最も多くなっている。一方、18～29歳でも比較的多くなっており、63.8%となっている。

各施策の実行能力（全体）



各施策の実行能力（全体、性別、年齢）

（単位：％）

		n	“実行能力がある”		“実行能力がない”		無回答
			かなりある	それなりにある	あまりない	全くない	
全体		1560	62.6		31.1		6.3
			4.9	57.7	28.2	2.9	
性別	男性	689	62.8		30.8		6.4
			5.2	57.6	27.0	3.8	
	女性	861	62.6		31.6		5.8
			4.6	58.0	29.4	2.2	
	無回答	10	50.0		10.0		40.0
			10.0	40.0	10.0	0.0	
年齢	18～29 歳	127	63.8		33.9		2.4
			2.4	61.4	29.9	3.9	
	30～39 歳	151	53.0		44.4		2.6
			3.3	49.7	38.4	6.0	
	40～49 歳	209	57.9		38.3		3.8
			3.8	54.1	34.4	3.8	
	50～59 歳	228	60.5		33.3		6.1
			1.8	58.8	31.1	2.2	
	60～69 歳	360	63.3		32.5		4.2
			3.6	59.7	30.3	2.2	
	70 歳以上	471	68.4		20.8		10.8
			9.1	59.2	18.7	2.1	
	無回答	14	50.0		28.6		21.4
			7.1	42.9	28.6	0.0	

(3) 市役所の利用しやすさ

問 28 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。(1)～(4)の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。
(3) 市役所の利用しやすさ

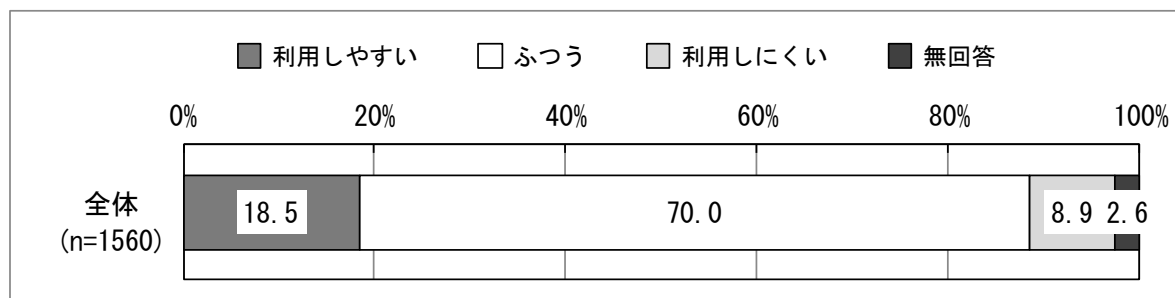
■「ふつう」が70.0%、「利用しやすい」が18.5%、「利用しにくい」が8.9%。

市役所の利用しやすさは、「ふつう」が70.0%と7割を占めている。「利用しやすい」は18.5%、「利用しにくい」は8.9%となっている。

性別でみると、男女ともに「ふつう」が7割前後を占める。

年齢別でみると、すべての層で「ふつう」が6割以上となっている。

市役所の利用しやすさ（全体）



市役所の利用しやすさ（全体、性別、年齢）

(単位: %)

		n	利用しやすい	ふつう	利用しにくい	無回答
全体		1560	18.5	70.0	8.9	2.6
性別	男性	689	20.5	68.2	8.6	2.8
	女性	861	17.0	71.5	9.2	2.3
	無回答	10	10.0	60.0	10.0	20.0
年齢	18～29歳	127	15.7	70.1	12.6	1.6
	30～39歳	151	19.9	63.6	14.6	2.0
	40～49歳	209	16.7	72.7	10.0	0.5
	50～59歳	228	18.4	67.1	12.7	1.8
	60～69歳	360	14.4	77.5	7.2	0.8
	70歳以上	471	23.1	66.5	5.1	5.3
	無回答	14	0.0	71.4	7.1	21.4

(4) 窓口の対応

問 28 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。(1)～(4)の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。
(4) 窓口の対応



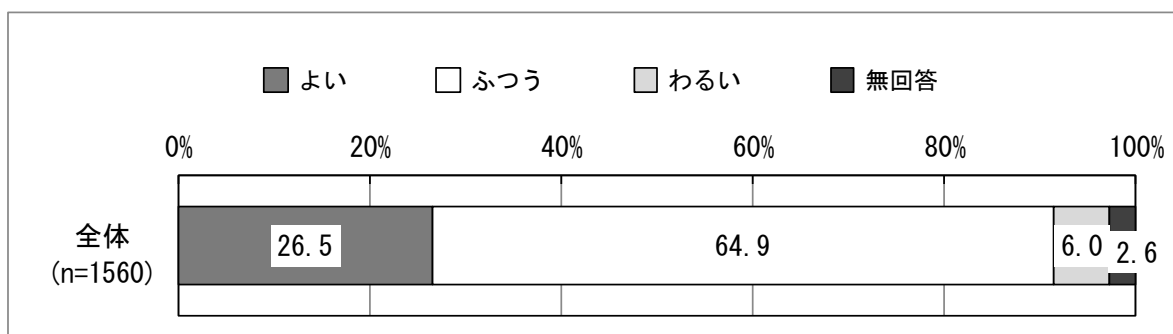
■ 「ふつう」が64.9%、「よい」が26.5%、「わるい」が6.0%。

窓口の対応については、「ふつう」が64.9%と6割を超え、「よい」が26.5%、「わるい」が6.0%となっている。

性別でみると、男女ともに「ふつう」が6割以上となっており、「よい」が2割半ばを超える。

年齢別でみると、すべての層で「ふつう」が多数を占める。また、70歳以上では「よい」(35.0%)と回答する割合が比較的多い。

窓口の対応 (全体)



窓口の対応 (全体、性別、年齢)

(単位: %)

		n	よい	ふつう	わるい	無回答
全体		1560	26.5	64.9	6.0	2.6
性別	男性	689	29.0	62.4	6.0	2.6
	女性	861	24.5	67.0	6.0	2.4
	無回答	10	30.0	50.0	0.0	20.0
年齢	18～29歳	127	18.1	69.3	11.8	0.8
	30～39歳	151	23.8	64.2	10.6	1.3
	40～49歳	209	23.9	68.4	7.7	0.0
	50～59歳	228	21.1	68.0	8.8	2.2
	60～69歳	360	25.0	70.0	4.2	0.8
	70歳以上	471	35.0	57.1	2.1	5.7
	無回答	14	14.3	57.1	7.1	21.4

(5) 市民の声を反映しやすくするために必要なこと

問 29 市政に市民の声を反映しやすくするためには、どんなことに力を入れることが必要だとお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

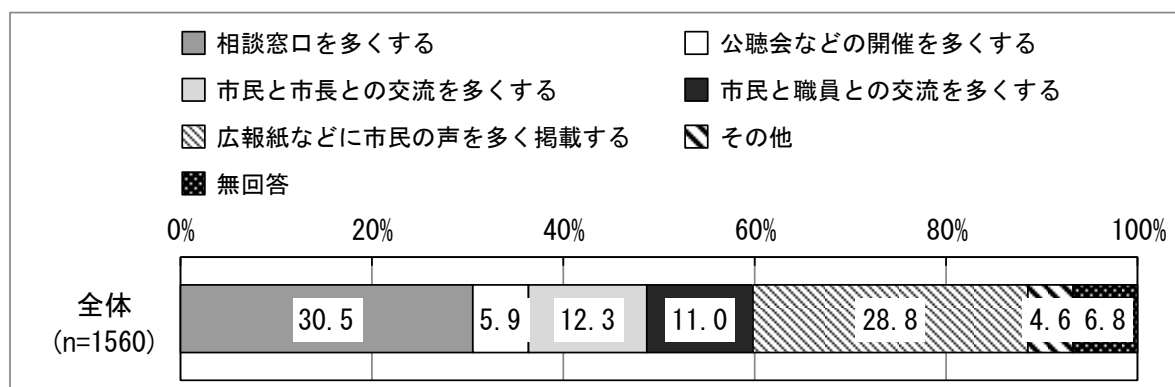
■「相談窓口を多くする」が最も多く、次いで「広報紙などに市民の声を多く掲載する」が続く。

市民の声を反映しやすくするために必要なことは、「相談窓口を多くする」が30.5%と最も多く、次いで「広報紙などに市民の声を多く掲載する」が28.8%、「市民と市長との交流を多くする」が12.3%、「市民と職員との交流を多くする」が11.0%などの順となっている。

性別で見ると、男女ともに「相談窓口を多くする」が最も多い。また、女性では「相談窓口を多くする」(33.1%)及び「広報紙などに市民の声を多く掲載する」(31.5%)が比較的多くなっている。

年齢別で見ると、ほとんどの層で「相談窓口を多くする」が最も多く、18～29歳、60～69歳(同率)では「広報紙などに市民の声を多く掲載する」が多くなっている。

市民の声を反映しやすくするために必要なこと (全体)



市民の声を反映しやすくするために必要なこと (全体、性別、年齢)

(単位: %)

	n	相談窓口を多くする	公聴会などの開催を多くする	市民と市長との交流を多くする	市民と職員との交流を多くする	広報紙などに市民の声を多く掲載する	その他	無回答
全体	1560	30.5	5.9	12.3	11.0	28.8	4.6	6.8
性別	男性	27.4	6.7	15.4	12.3	25.8	6.0	6.4
	女性	33.1	5.3	9.8	10.0	31.5	3.6	6.7
	無回答	20.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	40.0
		10						
年齢	18～29歳	22.0	6.3	13.4	15.0	30.7	9.4	3.1
	30～39歳	28.5	5.3	19.2	13.9	27.2	4.0	2.0
	40～49歳	30.6	7.2	10.0	14.8	27.8	6.7	2.9
	50～59歳	35.1	7.0	12.7	9.6	25.4	3.9	6.1
	60～69歳	30.3	6.7	11.9	10.6	30.3	4.4	5.8
	70歳以上	31.0	4.5	11.0	8.7	30.1	3.0	11.7
	無回答	471	42.9	0.0	7.1	0.0	21.4	7.1
	14							

(6) 市政への参加

問 30 市政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

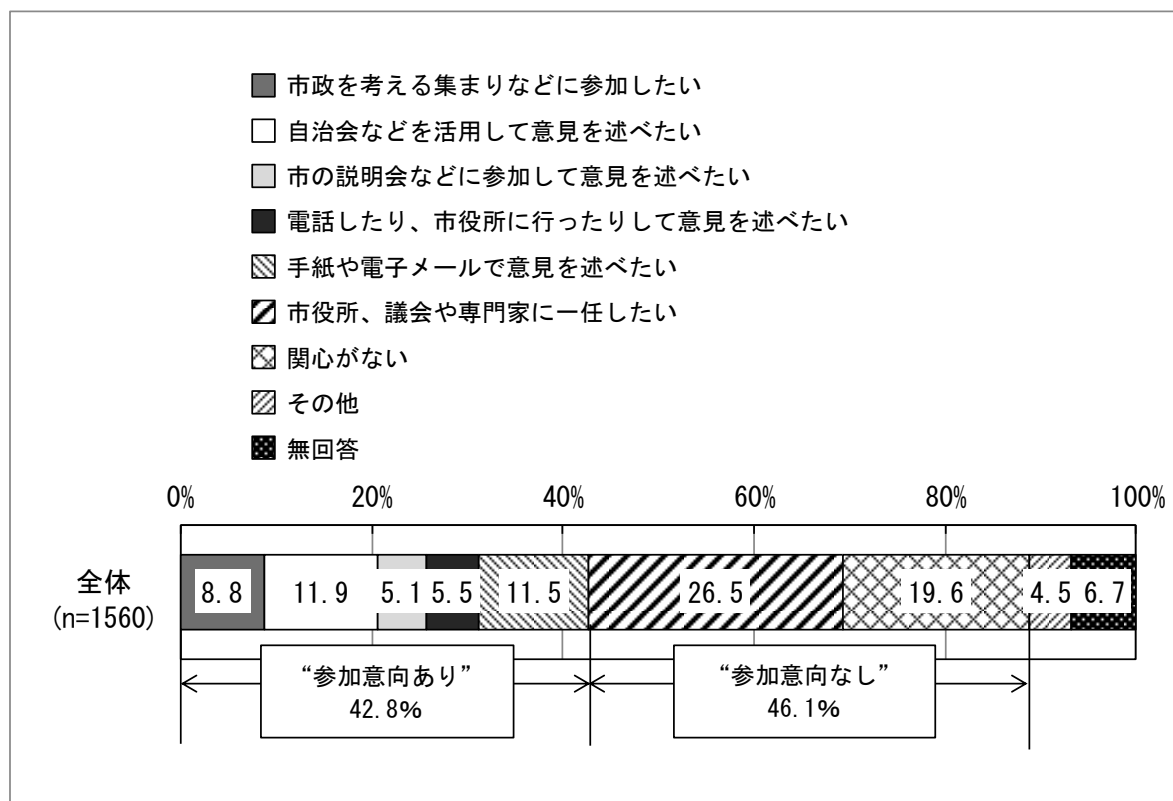
■市政への“参加意向あり”が42.8%、“参加意向なし”は46.1%。

市政への参加については、「自治会などを活用して意見を述べたい」(11.9%)、「手紙や電子メールで意見を述べたい」(11.5%)、「市政を考える集まりなどに参加したい」(8.8%)、「電話したり、市役所に行ったりして意見を述べたい」(5.5%)、「市の説明会などに参加して意見を述べたい」(5.1%)など何らかの形で参加や意見を述べたいと考える“参加意向あり”は42.8%となっている。一方、「関心がない」(19.6%)と「市役所、議会や専門家に一任したい」(26.5%)を合わせた“参加意向なし”は46.1%となっている。

性別でみると、“参加意向あり”は男性で49.1%、女性で37.9%となっている。

年齢別でみると、“参加意向あり”は50歳以上の層で割合が多い。一方、“参加意向なし”は50歳未満の層で割合が多い。

市政への参加（全体）



市政への参加（全体、性別、年齢）

（単位：％）

	n	“参加意向あり”					“参加意向なし”		その他	無回答	
		市政を考 えたい 集まり などに 参加 したい	自治会 などを 活用 して 意見 を 述べ たい	市の 説明 会 など に 参加 して 意見 を 述べ たい	電話 した り、 市 役 所 に 行 っ た り して 意見 を 述べ たい	手紙 や 電 子 メ ー ル で 意見 を 述べ たい	市役 所、 議 会 や 専 門 家 に 一 任 したい	関 心 が な い			
全体	1560	42.8					46.1		4.5	6.7	
		8.8	11.9	5.1	5.5	11.5	26.5	19.6			
性別	男性	689	49.1					40.6		3.9	6.4
			9.3	13.2	7.1	6.2	13.2	24.8	15.8		
	女性	861	37.9					50.5		5.0	6.6
			8.4	10.8	3.5	4.9	10.3	27.9	22.6		
無回答	10	30.0					30.0		0.0	40.0	
		10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0			
年齢	18～29 歳	127	35.4					56.7		5.5	2.4
			10.2	2.4	1.6	1.6	19.7	18.9	37.8		
	30～39 歳	151	37.7					53.6		6.0	2.6
			6.0	5.3	3.3	2.6	20.5	21.2	32.5		
	40～49 歳	209	41.1					53.1		4.8	1.0
			6.7	9.1	3.3	2.4	19.6	30.6	22.5		
	50～59 歳	228	46.9					43.9		5.3	3.9
			7.0	13.2	4.8	6.1	15.8	24.6	19.3		
	60～69 歳	360	45.6					44.7		5.3	4.4
			8.9	16.9	5.3	6.1	8.3	28.6	16.1		
70 歳以上	471	43.1					40.1		2.8	14.0	
		11.0	13.6	7.2	8.1	3.2	27.8	12.3			
無回答	14	35.7					28.6		0.0	35.7	
		7.1	0.0	7.1	7.1	14.3	21.4	7.1			

(7) 今後の行政運営について望ましいと思う方向

問 31 今後の行政運営について、どのような方向が望ましいと思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

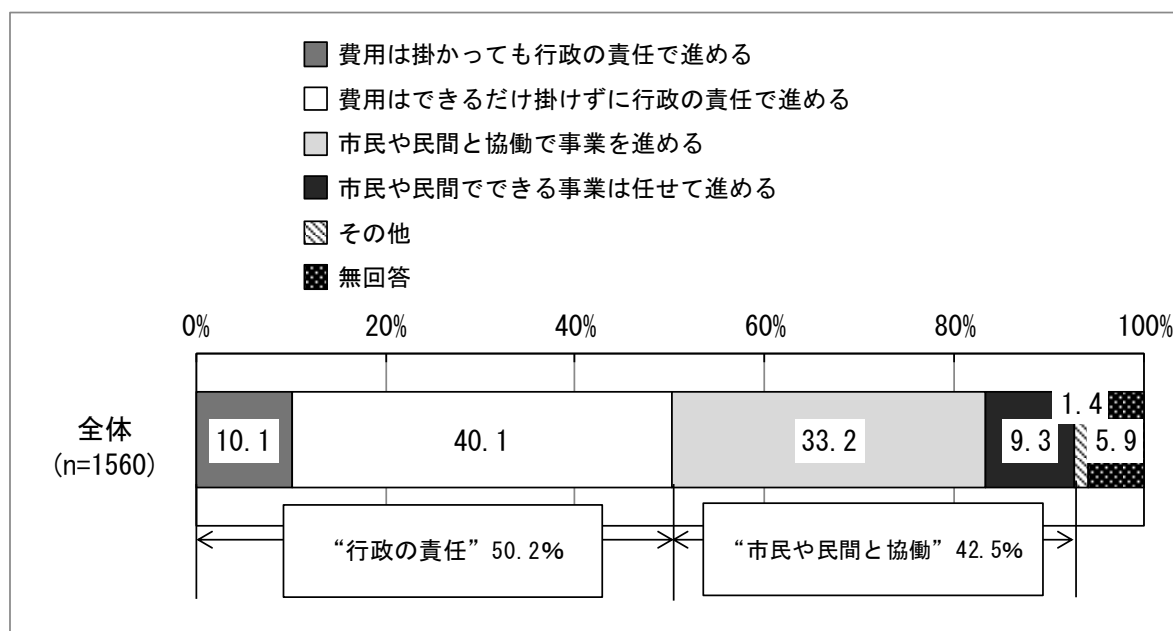
■ “行政の責任” が 50.2%、 “市民や民間と協働” が 42.5%。

今後の行政運営について望ましいと思う方向については、「費用はできるだけ掛けずに行政の責任で進める」が40.1%で最も多く、これに「費用は掛かっても行政の責任で進める」(10.1%)を合わせた“行政の責任”が50.2%となっている。一方、“市民や民間と協働”（「市民や民間と協働で事業を進める」(33.2%)及び「市民や民間でできる事業は任せて進める」(9.3%)の合計）は42.5%であった。

性別でみると、男女ともに“行政の責任”が5割前後を占める。

年齢別でみると、18～29歳、50歳以上では“行政の責任”の割合が多くなっており、30～39歳、40～49歳では、“市民や民間と協働”の割合が多くなっている。

今後の行政運営について望ましいと思う方向（全体）



今後の行政運営について望ましいと思う方向（全体、性別、年齢）

（単位：％）

	n	“行政の責任”		“市民や民間と協働”		その他	無回答	
		費用は掛かっても行政の責任で進める	費用はできるだけ掛けずに行政の責任で進める	市民や民間と協働で事業を進める	市民や民間でできる事業は任せて進める			
全体	1560	50.2		42.5		1.4	5.9	
		10.1	40.1	33.2	9.3			
性別	男性	51.7		40.6		1.6	6.1	
		12.5	39.2	31.5	9.1			
	女性	49.0		44.4		1.3	5.3	
		8.2	40.8	34.8	9.5			
無回答	10	50.0		10.0		0.0	40.0	
		10.0	40.0	10.0	0.0			
年齢	18～29 歳	47.2		45.7		3.1	3.9	
		11.8	35.4	40.2	5.5			
	30～39 歳	39.7		57.6		1.3	1.3	
		7.9	31.8	48.3	9.3			
	40～49 歳	48.3		49.3		0.5	1.9	
		15.8	32.5	39.2	10.0			
	50～59 歳	49.1		46.1		0.9	3.9	
		7.5	41.7	36.4	9.6			
	60～69 歳	56.1		36.9		1.9	5.0	
		8.6	47.5	30.6	6.4			
	70 歳以上	51.4		36.9		1.1	10.6	
		10.6	40.8	25.1	11.9			
	無回答	14	42.9		21.4		7.1	28.6
			0.0	42.9	7.1	14.3		

Ⅲ 自由回答一覽

1 記入状況

(1) 性・年齢別意見記述者数

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	不明	計
男性	21	17	22	36	67	71	1	235
女性	20	30	47	37	62	65	0	261
不明	0	0	0	0	0	3	2	5
計	41	47	69	73	129	139	3	501

(2) 分野別意見数

(1) 保健・医療・福祉分野	45
(2) 都市基盤分野	126
(3) 環境分野	60
(4) 産業・経済・観光分野	124
(5) 危機管理分野	12
(6) 教育・文化・芸術分野など	21
(7) コミュニティ分野	7
(8) 行財政分野	169
(9) その他	31
計	595

2 分野別意見一覧

(1) 保健・医療・福祉分野

高齢者について

- ・特別養護老人ホームはかなりの人数が待ち状況になっている。
- ・高齢化社会を迎えているので、市民レベルで文化、スポーツなどの交流を進めて介護に頼らない社会を構築すべき。
- ・高齢化社会に対応するため介護保険制度の充実は必須である。
- ・介護保険料が高額ではないか。
- ・杖を使用しているが、市内にはバリアフリーの工夫がなされていない場所がある。改善してもらいたい。

保健・医療について

- ・もっと医療機関を増やしてほしい。
- ・皮膚科や耳鼻科、心療内科などの医療機関が少なく不便である。
- ・各地区で健康診断をしてほしい。
- ・インフルエンザ予防接種の補助をしてほしい。

児童・子育て支援について

- ・子育て世代への補助をお願いしたい。
- ・保育所を増やしてほしい。
- ・学童保育室の入室条件が厳しいのではないかな。
- ・リフレッシュやちょっとした用事に対応してくれる託児所がほしい。
- ・子どもが室内で遊べる場所を整備してもらいたい。
- ・図書館や勉強スペースを充実させてほしい。
- ・フェンスや歩道がない場所があるので、子どもたちが安全に登下校できるよう設置してほしい。

障害者について

- ・障害者にとって優しいまちを作ってほしい。
- ・道路や施設など車イスに配慮したバリアフリー化を推進してもらいたい。
- ・古い公共施設へのバリアフリーの導入。
- ・軽中等度難聴児への助成制度を充実させてほしい。

(2) 都市基盤分野

道路、下水、街路灯について

- ・街路灯が少なく夜間が安全といえない。
- ・道路標識や路面標示を整備してほしい。

- ・近年、雨量が増える傾向にあるので水害の起きない対策を。
- ・道路の除草、街路樹の落ち葉の清掃をしっかりとやってもらいたい。
- ・道路の自転車レーンを拡幅してもらいたい。
- ・行田駅前のロータリー工事を早く進めてほしい。
- ・道路の段差を無くしてほしい。
- ・空き家が増え、犯罪や環境悪化が心配である。
- ・河川が流れるよう雑草を刈ってほしい。
- ・舗道の強度不足で樹の根が盛り上がり、目の不自由な人は歩かせられない。

交通

- ・高齢ドライバーが免許を返納した場合の交通手段の充実を図ってほしい。
- ・デマンドタクシーの利用時間を延長してほしい。
- ・デマンドタクシー「指定乗車場所」の審査は年1回となっているが、その都度審査するよう改善できないか。
- ・買い物や通院するにも車がないと生活ができない。市内循環バスの本数を増やしてもらいたい。
- ・高崎線の駅が遠く不便である。
- ・バス停に最低二人は座れるベンチを設置してもらいたい。

公園・緑地などについて

- ・公園の雑草などは住民が協力して除草をしたほうがよい。
- ・子どもの遊べる公園を増やしてほしい。
- ・高齢者が憩える場所がほしい。
- ・公園や街路樹の整備をして、その後のメンテナンスができていない。
- ・公園の遊具を充実させてもらいたい。
- ・幼児向けの遊具がある公園はあるが、小学生向けの遊具がない。

(3) 環境分野

- ・ごみ処理場は、小針の市有地の有効活用を考えるべき。
- ・ごみ出しのルールに関し、外国人への配慮が足りない。英語表記が多いが、市内に在住している外国人はベトナム人やブラジル人、ペルー人が多く、国際理解に力を入れてもらいたい。
- ・燃えるごみを燃やさず、生ごみは培養で分解させ、ビニール等は固形燃料化させて売却する方法もあるので、行田市も取り入れたらどうか。
- ・稲や麦の刈取り後の野焼きを止めさせてほしい。毎年野焼きの臭いが広がり洗濯物も干せない。
- ・飼い犬のフンの処理ができていない所が多い。ペットの飼育マナーを啓発してもらいたい。
- ・路上喫煙者のポイ捨てが見受けられる。
- ・空気がきれいでも自然の豊かな環境を壊さずに残してほしい。
- ・ごみ捨て場でネットを使用しているが、カラスにごみを荒らされてしまうため環境が悪い。

(4) 産業・経済・観光分野

- ・企業誘致を積極的に進め、雇用を促進してほしい。
- ・大型商業施設や店舗を誘致し、他市から人を呼び込んでほしい。
- ・商店街の店舗が閉店し、大きな商業施設もなく、JRの駅からも遠く不便に思う。もう少し活気がほしい。
- ・若い人の仕事場を創ること、優良企業を誘致すること。
- ・後継者がいないため廃業する農家が増加している。未来に向けた制度を考えられないか。
- ・埼玉古墳群、古代蓮の里、忍城址などの名所は数多くあるが、アクセスに難点がある。
- ・観光で訪れても食事のできる場所がない。もっと観光客にお金を使ってもらえる商業施設が必要ではないか。
- ・観光振興の難しさを意識してもらいたい。
- ・ドラマ陸王では大いに盛り上がった。テレビドラマや映画などの撮影を誘致し行田市をPRしてほしい。
- ・若い者が住みたいと思えるまちづくりが必要。大学、専門学校の設置、地場産業の開発、企業や大型店の誘致を行ってほしい。
- ・JR行田駅周辺の開発をしてほしい。高崎線利用者を商業に活かすべきである。
- ・開発、誘致等のプロを招いて改革すべきである。

(5) 危機管理分野

- ・防災行政無線の放送内容が聞き取れない。
- ・災害弱者の避難方法はどのようになっているのか。
- ・災害弱者に対しての防災情報をもっと発信してほしい。避難所がバリアフリーではないので避難ができない。
- ・避難所にペットを同行できない。昨今のペット事情を加味したうえで受け入れを検討してもらいたい。
- ・避難所の収容数が不足しているのではないか。
- ・災害に強いまちを目指してもらいたい。
- ・災害時、子どもの引き渡しをしっかりと行ってほしい。

(6) 教育・文化・芸術分野など

- ・給食費の無料化は大変だと思いが実現することを願っている。
- ・給食の無償化には反対である。子供たちの食事に関しては、保護者がすべきである。
- ・1日も早く学校の統合を推進してほしい。行田で育った若者が安心してUターンできる教育環境を整備してほしい。
- ・産業文化会館のイベントを増やしてほしい。
- ・公民館の利用を無料にしてもらいたい。
- ・地域の負担が大きい地区運動会や市民体育祭のあり方を検討してもらいたい。
- ・総合公園野球場にナイター設備があればと思う。独立リーグ、社会人、少年野球と使い道が広がるのではないか。

(7) コミュニティ分野

- ・自治会の世帯数が減っているため、近い将来、いくつかの自治会が合併する必要があるのではないかと。若い世帯が少なく10年後に存続しているのだろうか。
- ・自治会活動が高齢化により役員の人選が困難になっている。役員等が負担となり脱退を考える方々が増え始めている。また、自治会長や民生児童委員の選任も難しくなっている。
- ・自治会活動への参加協力を推進すべきである。
- ・月に2回の配布物を1回にしてもらいたい。
- ・自治会は市に余りにも関わりすぎであり、もっと市が機能すべきである。

(8) 行財政分野

職員について

- ・職員のコミュニケーション力を付けていただきたい。
- ・行田市のために働きたいという職員は市内に居住させるべきである。
- ・以前よりも窓口がよく対応してくれている。
- ・クールビズ期間中とはいえ服装はきちんと整えてもらいたい。
- ・職員数の多さが目立つ。
- ・市役所の職員もボランティアなどに積極的に参加してもらいたい。
- ・一部の窓口の対応が非常に悪い。改善を求める。

税金・財政について

- ・財政の健全化をお願いしたい。
- ・赤字財政を減らし消滅都市と言われない、市民が生活しやすい行田市にしてほしい。
- ・高い税金を支払っても納得のできる使い方をしてほしい。
- ・生産世代、子育て世代に適した税金の使い方をしてもらいたい。

市政について

- ・人口減少の中で持続可能なまちづくりを進めてほしい。
- ・行田市と同規模の自治体と対比させ、行田の強みと弱い部分を把握して、今後役に立ててほしい。
- ・なんでも市に任せるのではなく、市民にできることは市民にお願いしてほしい。
- ・人口流入のための施策をお願いしたい。
- ・公平、公正第一で行政に取り組んでもらいたい。
- ・市政の見える化を実現してほしい。
- ・行政サービスには限界がある。市民一人一人が自立心を養うことが大切。

行政改革、庁舎などについて

- ・コンビニで住民票等の交付ができるようにしてほしい。
- ・行政への信頼はあるが各施策の実行度が見えない。
- ・土曜日も午前中に開庁してほしい。

- ・相談事や困りごとを総合的に聞いてくれる場所が分からない。玄関に入って総合受付があることを明確にしてほしい。

まちづくりについて

- ・福祉や教育など住んでいる私たちが安心して生活できる、何よりも住民に優しいまちであってほしい。
- ・若い世代が行田市に住んでいることを誇りに思えるような運営をしてほしい。今では、行田市に住んでいることをあまり誇りに思うことができない。
- ・1、2キロメートルぐらいに集中してお店を出すなど魅力的な場所を作ってほしい。

(9) その他

- ・市政について、理解できないこと、知らないことが多く答えに困った。
- ・アンケートの質問が大量で負担になった。
- ・調査の集計結果を公表してほしい。
- ・返信用封筒のサイズが小さい。
- ・アンケート回答者の年齢を70歳以上とひとくくりしないでもらいたい。長寿の時代であり、80歳代、90歳代とすべきである。

IV 調査票

行 田 市 民 意 識 調 査

～皆様のご協力をお願いします～

日ごろから、市政につきましてご協力いただきありがとうございます。

市民意識調査は、住民基本台帳から18歳以上の市民の方3,000人を無作為に選んで、市政に対するさまざまなご意見をお伺いし、今後の市政運営の資料とするために行うものです。

このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することはないため、ご迷惑をお掛けすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、市民の皆様の声を市政に反映させるための取り組みですので、率直なご意見をお聞かせください。

令和元年7月

行 田 市 長 石 井 直 彦

ご記入にあたってのお願い

1. 宛名のご本人がお答えください。ご本人がお答えになれない場合はご家族の方が回答されても結構です。
2. お答えは、最初から1問ずつ、すべての質問にお答えください。
3. お答えは、あてはまるものに○を付けてください。質問によっては、回答が複数になるものもあります。
4. お答えの中で「その他」を選んだときは、お手数ですが、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
5. この調査で分からない点がありましたら、広報広聴課広報広聴担当へお尋ねください。

連絡先電話番号：048-556-1111（内線318）

**※調査票にご記入いただきましたら、恐縮ですが、同封の返信用封筒で
8月9日（金）までにご返送ください（切手は不要です）。**

I. あなた自身のことについて

◎はじめに、調査結果を統計的に集計・分析するために、あなた自身のことについて

(1)～(7)の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

(1) 性別	1. 男	2. 女		
(2) 年齢	1. 18～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳	4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上		
(3) 職業	1. 専門職（医師、税理士、専門技術職など） 2. 会社役員 3. 会社員（事務従事者など） 4. 公務員、教職員 5. 製造業、小売業等従事者、運転手 6. 農林漁業、畜産業 7. サービス業（理・美容、マッサージ、接客業など） 8. 自営業（商工業、建築業、製造業など） 9. 学生 10. 主婦（主夫） 11. 無職 12. その他			
(4) 居住年数	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上15年未満	4. 15年以上20年未満 5. 20年以上		
(5) 居住地区	1. 忍 2. 行田 3. 佐間 4. 持田	5. 星河 6. 長野 7. 星宮 8. 下忍	9. 荒木 10. 須加 11. 北河原 12. 埼玉	13. 太田 14. 太井 15. 南河原
(6) 家族構成	1. 夫婦のみ 2. 二世帯世帯 3. 三世帯世帯	4. 単身世帯 5. その他		
(7) 住居形態	1. (持ち家) 一戸建 2. (持ち家) マンション等 3. (借家) 一戸建 4. (借家) 民間アパート・マンション 5. 給与住宅（社宅、寮、公務員宿舎など） 6. その他			

Ⅱ. まちの暮らしやすさなどについて

問1 行田市の住み心地についてお尋ねします。

(1) 行田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 住みよい	⇒問1(2)へ
2. どちらかといえば住みよい	⇒問1(2)へ
3. ふつう	⇒問2へ
4. どちらかといえば住みにくい	⇒問1(3)へ
5. 住みにくい	⇒問1(3)へ

(2) 【(1)で「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」と答えた方にお尋ねします】住みやすい理由を、次の中から3つまで○を付けてください。

1. 住み慣れている	6. 交通の便がよい
2. 人間関係（近所付き合いなど）がよい	7. 買い物の便がよい
3. まちの雰囲気が良い	8. 子どもの教育環境がよい
4. 道路、排水などの都市施設が整っている	9. 自然環境がよい
5. 文化、スポーツなどの公共施設が整っている	10. 公害（騒音・振動・悪臭など）が少ない
	11. 商売や仕事がしやすい
	12. その他（ ）

⇒問2へ

(3) 【(1)で「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」と答えた方にお尋ねします】住みにくい理由を、次の中から3つまで○を付けてください。

1. 住み慣れていない	6. 交通の便がわるい
2. 人間関係（近所付き合いなど）がわるい	7. 買い物の便がわるい
3. まちの雰囲気がわるい	8. 子どもの教育環境がわるい
4. 道路、排水などの都市施設が整っていない	9. 自然環境がわるい
5. 文化、スポーツなどの公共施設が整っていない	10. 公害（騒音・振動・悪臭など）が多い
	11. 商売や仕事がしにくい
	12. その他（ ）

問2 今後も行田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 一生住み続けたい
2. ある程度住み続けたい
3. 転出したい
4. どちらともいえない

問3 行田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である
(1) 道路・交通					
①道路の整備について	1	2	3	4	5
②路線バスや市内循環バスの便と路線網について	1	2	3	4	5
③JR高崎線や秩父鉄道の便について	1	2	3	4	5
④交通安全対策について	1	2	3	4	5

(2) 生活環境

①上水道の整備について	1	2	3	4	5
②下水道の整備について	1	2	3	4	5
③ごみの収集処理について	1	2	3	4	5
④自然環境及び公園・緑地について	1	2	3	4	5
⑤子どもの遊び場について	1	2	3	4	5
⑥災害時の避難体制について	1	2	3	4	5
⑦防犯体制について	1	2	3	4	5
⑧河川・用水の整備について	1	2	3	4	5
⑨悪臭・騒音・振動などの公害について	1	2	3	4	5
⑩日用品などの買い物の便利さについて	1	2	3	4	5

(3) 教育・文化・コミュニティ

①小・中学校などの教育施設について	1	2	3	4	5
②小・中学校などの教育内容や取り組みについて	1	2	3	4	5
③幼稚園などの幼児施設について	1	2	3	4	5
④公民館や図書館などの公共施設について	1	2	3	4	5
⑤公共施設の集会機能について	1	2	3	4	5
⑥スポーツ・レクリエーション施設について	1	2	3	4	5
⑦生涯学習などの学習機会について	1	2	3	4	5
⑧文化・趣味・スポーツなどの地域活動やサークル活動への参加機会について	1	2	3	4	5
⑨広報紙などの広報活動について	1	2	3	4	5
⑩観光施設について	1	2	3	4	5

(4) 保健・医療・福祉

①健診などの保健活動について	1	2	3	4	5
②医療機関・医療体制について	1	2	3	4	5
③夜間・休日などの救急医療について	1	2	3	4	5
④保育所などの児童福祉について	1	2	3	4	5
⑤高齢者に対する福祉について	1	2	3	4	5
⑥障害者に対する福祉について	1	2	3	4	5

問4 これからの市政において、特に力を入れてほしいものは何ですか。次の中から3つまで○を付けてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 道路や橋の整備 | 14. 広域行政の推進 |
| 2. 公共交通の整備 | 15. 公共施設の市町村間の相互利用 |
| 3. 市街地や住宅の整備 | 16. 農業の活性化 |
| 4. 公園・街路樹整備 | 17. 工業の活性化 |
| 5. 水や緑など自然環境の保全 | 18. 商業の活性化 |
| 6. 歴史・文化遺産の保全 | 19. 観光・レクリエーションの充実 |
| 7. ごみ処理やリサイクル | 20. 学校教育の充実 |
| 8. 消防や防災・防犯 | 21. 社会教育・生涯学習の充実 |
| 9. 保健や医療の充実 | 22. 文化・スポーツの振興 |
| 10. 社会福祉の充実 | 23. 市財政の健全化、行政の合理化 |
| 11. 男女共同参画社会の推進 | 24. 市政への住民参加 |
| 12. 国際交流の推進 | 25. 児童・生徒の保護対策 |
| 13. 情報公開の推進 | 26. その他 () |

問5 行田市が、将来どんなまちになったらよいとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 歴史・文化や自然を生かしたまち |
| 2. 観光資源を生かした観光振興のまち |
| 3. 商業や産業が発展し、経済活動が盛んなまち |
| 4. 生活環境の整ったまち |
| 5. 教育・文化の充実したまち |
| 6. 社会福祉の充実したまち |
| 7. その他 () |

Ⅲ. 地域との関わりについて

問6 地域活動（「地域のまちづくり」や「コミュニティ（地域社会）づくり」など）についてお尋ねします。

（1）地域活動への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 積極的に参加する | ⇒問6（2）へ |
| 2. 求められれば参加する | ⇒問6（2）へ |
| 3. 参加したいが時間や暇がない | ⇒問7へ |
| 4. わずらわしいので参加しない | ⇒問7へ |
| 5. 意識していない | ⇒問7へ |

（2）【（1）で「1. 積極的に参加する」「2. 求められれば参加する」と答えた方にお尋ねします】主にどのような地域活動に参加したいとお考えですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

- | |
|--|
| 1. 地域の清掃・リサイクル活動 |
| 2. スポーツ・文化・学習活動 |
| 3. 自治会・子ども会・シルバークラブなどの地域活動 |
| 4. NPOやボランティア活動 |
| 5. お祭り |
| 6. PTA |
| 7. その他（ ） |

問7 ボランティア活動についてお尋ねします。

(1) あなたは、ボランティア活動に参加していますか。次の中から1つに○を付けてください。

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 積極的に参加している | ⇒問7(2)へ |
| 2. ときおり参加している | ⇒問7(2)へ |
| 3. 参加したいが機会がない | ⇒問7(3)へ |
| 4. 参加していない | ⇒問8へ |

(2) 【(1)で「1. 積極的に参加している」「2. ときおり参加している」と答えた方にお尋ねします】主にどのようなボランティア活動に参加されていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 福祉活動（高齢者・傷病者・障がい者の介護など） |
| 2. 環境保全活動（道路・公園・河川等の清掃など） |
| 3. スポーツ活動（少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など） |
| 4. 文化活動（書道・絵画・手芸等の指導など） |
| 5. 地域安全活動（交通事故防止・防犯運動など） |
| 6. 青少年健全育成活動（非行防止運動、キャンプ等の指導など） |
| 7. 国際交流活動 |
| 8. 子育て支援活動 |
| 9. 自治会活動 |
| 10. 災害救援活動 |
| 11. その他（) |

⇒問8へ

(3) 【(1)で「3. 参加したいが機会がない」と答えた方にお尋ねします】どのような理由なのか、次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 仕事が忙しくて時間がとれない |
| 2. 活動に参加している知人がいない |
| 3. どのようなボランティア活動があるのか分からない |
| 4. 活動に関する情報が得られない |
| 5. その他（) |

問8 福祉活動（高齢者・傷病者・障がい者の介護など）についてお尋ねします。あなたは、高齢者・傷病者・身障者の介護など福祉に関わるボランティア活動や地域の助け合い活動に興味がありますか。次の中から1つに○を付けてください。

1. とても興味がある
2. ある程度興味がある
3. あまり興味はない
4. まったく興味はない
5. 分からない

問9 地域での支え合いについてお尋ねします。

(1) あなたは、地域住民の自主的な支え合いや助け合いの必要性について、どのように考えていますか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 必要である
2. ある程度必要である
3. あまり必要だとは思わない
4. 必要ではない
5. その他 ()

(2) 近隣との付き合いについて、次の中から1つに○を付けてください。

1. いつも親しく付き合っている人がいる（いざという時に頼れる人がいる）
2. 会えば話をする人がいる
3. 顔を合わせれば挨拶をする人がいる
4. ほとんど付き合いはない

IV. 今後のまちづくりについて

問 10 少子・高齢化社会に対応したまちづくりについてお尋ねします。

(1) 今後の少子化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。

1. 多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応
2. 放課後児童対策の充実
3. 子育てや教育などの相談機能の強化
4. 子育てしやすい住環境の整備
5. 子育てしやすい都市環境（道路、駅、公共施設など）の整備
6. 保健・医療の充実
7. 女性の就労機会の拡大や就労環境の整備
8. 各種助成制度の充実などの経済的支援
9. 地域的な子育て支援（情報の提供や高齢者、異年齢者との交流など）
10. 援助活動など地域の人材の活用・育成
11. 子育てなどの学習機会の提供
12. 父親の育児参加の推進
13. その他（)

(2) 今後の高齢化社会に対応するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。

1. 介護保険制度の充実
2. 相談窓口の充実や相談機能の強化
3. 生涯学習等の学習機会の充実
4. ボランティアなどの地域の人材の活用と育成
5. 高齢者にやさしいバリアフリーなまちづくりの推進
6. 高齢者の余暇活動のための施設の充実
7. 高齢者の就労機会の充実
8. 認知症施策の推進
9. 介護予防教室や健康長寿体操などの普及による健康づくりの推進
10. 公共施設を活用した高齢者向けのさまざまなイベントの開催
11. 特殊詐欺（振り込め詐欺など）や悪質商法などの被害防止対策の充実
12. 成年後見や虐待防止など権利擁護対策の推進
13. 在宅医療と介護の連携推進
14. 地域において、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支えていく支え合いの仕組みづくりの推進
15. その他（)

問 11 施設（公共施設、病院、福祉施設など）や都市機能のありかた（配置や場所）についてお尋ねします。今後、インフラや公共施設などの維持更新コストの増大が見込まれますが、施設・都市機能はどのように整備すべきだと思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

- | |
|---|
| 1. できるだけ既存の公共施設の統廃合や複合化を行い、コストを抑えながら人口規模に合った施設の数にする |
| 2. 周辺部（市街化調整区域）にも配慮しつつ、効果の高い施設などを中心部に集約する |
| 3. 今ある公共施設は必要なものなのでコスト面よりも現状の配置を優先して更新を行っていく |
| 4. 中心部よりも周辺部に、バランスよく更新していく |
| 5. その他（ ） |

問 12 環境にやさしいまちづくりについてお尋ねします。

（1）行田市の環境についてどのように感じていますか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

	よいと感じる	どちらかといえばよいと感じる	ふつうである	悪いと感じる	どちらかといえば悪いと感じる
①緑の整備状況	1	2	3	4	5
②生き物の営みの保護と育成状況	1	2	3	4	5
③池や川の水のきれいさ	1	2	3	4	5
④空気のきれいさ	1	2	3	4	5
⑤歴史や文化との調和	1	2	3	4	5
⑥公園の整備状況	1	2	3	4	5
⑦道のきれいさ（たばこやごみのポイ捨てがない）	1	2	3	4	5
⑧ごみの分別状況	1	2	3	4	5

(2) 市の環境を保全・改善するためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。

1. リサイクル活動の促進
2. ごみの分別収集などの強化
3. 環境条例・環境協定の制定
4. 環境マネジメントシステム (ISO14000※) の導入
5. ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進
6. 工場や道路・鉄道などの騒音・振動・悪臭などの防止・削減
7. 廃棄物の総量削減
8. 公園等公共緑地の整備、民有地における緑地協定など緑地の保全・創造
9. エコビジネス (環境に配慮した業務を行うビジネス) の育成
10. 太陽光などの自然エネルギーを活用した設備の普及促進
11. 低公害車の普及促進
12. 市内の総合的な自動車交通総量の削減
13. 水辺環境の保全整備
14. 土地利用の制限強化
15. 環境保全の普及・啓発活動
16. その他 ()

※ISO14000：環境管理、環境保全体制に関する国際規格

(3) 市のごみ収集体制 (収集回数や分別方法など) についてどのようにお考えですか。次の中から4つまで○を付けてください。

1. 現在の収集回数・分別方法でよい
2. 収集回数を増やしたほうがよい ⇒問 12 (4) へ
3. 収集回数を減らしたほうがよい ⇒問 12 (5) へ
4. 分別の種類を増やしたほうがよい
5. 分別の種類を減らしたほうがよい
6. 粗大ごみの個別収集 (有料) を検討したほうがよい
7. 指定ごみ袋 (有料) の導入を検討したほうがよい
8. その他 ()

(4) 【(3) で「2. 収集回数を増やしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回数を増やしたほうがよいごみの種類は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 燃えるごみ | 4. 有害ごみ |
| 2. 燃やせないごみ | 5. 資源物 |
| 3. 粗大ごみ及び小型家電 | |

⇒問 13 へ

(5) 【(3) で「3. 収集回数を減らしたほうがよい」と答えた方にお尋ねします】収集回数を減らしたほうがよいごみの種類は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 燃えるごみ | 4. 有害ごみ |
| 2. 燃やせないごみ | 5. 資源物 |
| 3. 粗大ごみ及び小型家電 | |

問 13 健康でいきいきとしたまちづくりについてお尋ねします。

(1) あなたは、自分が健康であると思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 健康である	3. あまり健康でない
2. まあまあ健康である	4. 健康でない

(2) あなたは、日ごろ、どのくらい体を動かすことを意識していますか。次の中から1つに○を付けてください。

1. ほぼ毎日	4. 月に数回
2. 週に数回程度	5. 月に1回以下
3. 週1回	6. 意識していない

(3) あなたは、次の「食育（食生活に関する教育）」に関する取り組みで、日々の生活に取り入れたいと思うものがありますか。次の中から5つまで○を付けてください。

1. 朝食を食べる
2. 朝・昼・夕の3食をきちんと食べる
3. 栄養バランスを考えて食事をする
4. 家族や友人と一緒に食事をする
5. 食事の挨拶を大切にする
6. 農業などの体験や交流
7. 環境に配慮した処理（生ごみを減らす・油のリサイクルなど）
8. 食の安全に関する知識を持つ
9. 行田産の食材を取り入れる
10. 「郷土料理」「行事食」などの食文化を学び、伝える
11. 食育の推進に関わる活動をする
12. その他（)

(4) あなたは、過去1年以内に健康診断や検査を受けましたか。項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

	学校で	職場で(配偶者の職場を含む)	市が実施する健(検)診	個人的に	受けていない
血圧、血液検査などの健康診査	1	2	3	4	5
胃がん検診		2	3	4	5
肺がん検診		2	3	4	5
大腸がん検診		2	3	4	5
男性のみ		2	3	4	5
女性のみ		2	3	4	5
		2	3	4	5
その他 ()	1	2	3	4	5

(5) あなたは、定期的に歯の健(検)診を受けていますか。次の中から1つに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 1年に2回以上受けている | 4. 受けていない |
| 2. 1年に1回受けている | 5. その他 |
| 3. 2～3年に1回受けている | () |

(6) 健康増進や健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)の延伸のためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から5つまで○を付けてください。

- | |
|-----------------|
| 1. 健康に関する情報発信 |
| 2. 健(検)診の充実 |
| 3. 食育の推進 |
| 4. 運動のしやすい環境づくり |
| 5. こころの健康や自殺対策 |
| 6. 生きがいづくり |
| 7. 受動喫煙防止対策 |
| 8. 感染症予防 |
| 9. 熱中症予防 |
| 10. その他 () |
| 11. 分からない |

(7) こころの健康づくりや自殺予防のために、どんなまちになったらよいとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. こころの健康に理解と関心のあるまち |
| 2. 相談窓口や相談機関などを含め、こころの健康に関する情報が得やすいまち |
| 3. 子どもから大人までこころの相談がしやすいまち |
| 4. 安心して過ごせる居場所や地域のつながりが豊かなまち |
| 5. 仕事と家庭の調和がとれるまち |
| 6. 多重債務や失業などの相談体制が充実しているまち |
| 7. その他 () |
| 8. 分からない |

問 14 歴史や文化遺産を生かしたまちづくりのためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から3つまで○を付けてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 屋敷林のある田園風景などの保全 |
| 2. 城下町としての街並みの保全 |
| 3. まちの風景の魅力を向上させるための計画づくり |
| 4. 川辺や橋を整備し、うるおいのあるものにする |
| 5. 街路樹や歩道、車道を整備し、ゆとりのあるものにする |
| 6. 公共建物をシンボル性のあるものにする |
| 7. まちの風景は我が家からという発想を持つ |
| 8. 埼玉古墳群を核とした世界遺産を目指すまちづくり |
| 9. 足袋蔵など歴史的建造物を保存・活用した風格のあるまちづくり |
| 10. 歴史遺産や文化遺産の保全活用を進めるための人材の育成 |
| 11. その他 () |

問 15 市の商業や産業の振興のためにはどのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 新しい産業資源の発掘 |
| 2. 歴史・文化資産を生かした施設や産業づくり |
| 3. 豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり |
| 4. 農産物の加工開発や新しい農業経営の研究 |
| 5. 商店街の整備 |
| 6. 企業の誘致 |
| 7. 後継者の育成 |
| 8. 市の計画や積極的な支援 |
| 9. 芸術家の育成とその能力を生かした製品開発能力やデザインの向上 |
| 10. エリアマネジメントの導入 |
| 11. その他 () |

問 16 市民の憩いの場であり、また子どもたちの遊び場である地域の公園の維持管理についてどのようにすべきだとお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

- | |
|--|
| 1. 日常点検・定期点検及び清掃は市民、修繕は市が行うような市民主体で管理をすべきである（市民主体型） |
| 2. 日常点検や清掃は市民、定期点検・修繕は市が行うような市民と市が協働で管理をすべきである（市民と市の協働型） |
| 3. 日常点検は市民、清掃・定期点検・修繕は市が行うような管理をすべきである（市主体型） |
| 4. 日常点検・定期点検・清掃などすべてを市が行うような管理をすべきである（完全市主導型） |
| 5. その他 () |

問 17 普段、何から市政情報を得ていますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

- | | |
|------------|-------------------------|
| 1. 市報ぎょうだ | 5. フリーペーパー |
| 2. 市ホームページ | 6. テレビ |
| 3. 市議会 | 7. ツイッターやフェイスブックなどの SNS |
| 4. 新聞 | 8. その他 () |

問 18 あなたは、市から提供される情報でもっと詳しく知りたいものがありますか。
次の中から3つまで○を付けてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 市政の動向 |
| 2. 困ったときに利用できる相談窓口などの案内情報 |
| 3. 催し物やイベントなどに関する情報 |
| 4. 文化・学習活動やスポーツ活動の情報 |
| 5. 各種サークル活動の情報 |
| 6. ボランティア活動についての情報 |
| 7. 保健・医療・福祉についての情報 |
| 8. 教育に関する情報 |
| 9. 環境に関する情報 |
| 10. 行田市の歴史・文化についての情報 |
| 11. 観光・レクリエーションなどのレジャーについての情報 |
| 12. その他 () |

問 19 市内循環バスについてお尋ねします。

(1) 市内循環バスを利用したことはありますか。次の中から1つに○を付けてください。

- | |
|-------------------|
| 1. ある ⇒問 19 (2) へ |
| 2. ない ⇒問 19 (3) へ |

(2) 【(1) で「1. ある」と答えた方にお尋ねします】どのような目的で利用していますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。また、「7. 電車に乗り継ぐため」に回答した方はその目的もお答えください。

- | |
|----------------|
| 1. 市役所に行くため |
| 2. 公共施設に行くため |
| 3. 通院のため |
| 4. 買い物のため |
| 5. 観光のため |
| 6. 娯楽・交友のため |
| 7. 電車に乗り継ぐため → |
| 8. その他 () |
- | |
|-------------|
| 利用目的 (1つに○) |
| 1. 通勤・通学 |
| 2. 通勤・通学以外 |

⇒問 20 へ

(3) 【(1) で「2. ない」と答えた方にお尋ねします】どのようになれば利用しますか。
次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 運行便数の増加 |
| 2. 運行コースの変更 |
| 3. 運行時間の延長 |
| 4. JR高崎線や秩父鉄道への乗り継ぎの改善 |
| 5. 1周にかかる所要時間の短縮 |
| 6. 運賃のICカード等での支払い |
| 7. バス停の増設やフリー乗降制の導入 |
| 8. その他 () |

問20 平成29年度から75歳以上の方および障がいのある方を対象にタクシー料金の一部を市が補助するデマンドタクシー事業を実施しています。そこで、デマンドタクシーについてお尋ねします。

(1) デマンドタクシーを知っていますか。次の中から1つに○を付けてください。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

(2) 今後に向けて検討すべき点がありますか。次の中から2つまで○を付けてください。

- 1. 対象年齢の拡大
- 2. 利用時間の延長
- 3. 運行範囲の拡大（市外への運行）
- 4. 待ち時間の短縮
- 5. 現状のままでよい
- 6. その他（)

問21 国際化社会に対応して、本市の国際交流をどのように促進すべきだとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。

- 1. 海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る
- 2. 市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する
- 3. 児童・生徒などの教育交流を促進する
- 4. イベントなど、外国人との交流を深める機会をつくる
- 5. 技術・産業・物産面などの交流を促進する
- 6. 国際化に対応するための人材の育成を促進する
- 7. 国際交流に特化した窓口（国際交流協会や国際課など）を設置して促進する
- 8. その他（)

問22 市の教育方針として、今後どのような教育に力を入れるべきとお考えですか。次の中から2つまで○を付けてください。

- 1. 豊かな人間性や個性を育てる心の教育
- 2. 文化のまちにふさわしい質の高い教育
- 3. いじめや虐待を防止する道徳教育
- 4. 環境や自然を大切にする環境教育
- 5. 高度な情報化社会に対応できる情報教育
- 6. 国際社会に対応できる国際教育
- 7. 人権教育
- 8. その他（)

問 23 防災対策についてお尋ねします。

(1) 市の防災体制として、どのような施策が重要だとお考えですか。次の中から2つまで ○を付けてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実 | 5. 河川改修工事などのハード対策 |
| 2. 避難場所の確保・周知徹底 | 6. 自主防災組織の充実 |
| 3. 他市町村や民間企業との相互応援体制の充実 | 7. 防災訓練の充実 |
| 4. 戸別受信機など情報伝達手段の多重化 | 8. その他 () |

(2) 災害時に備えて、自身や家庭で防災対策に取り組んでいますか。次の中から1つに○を付けてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 取り組んでいる | ⇒問 23 (3) へ |
| 2. 取り組んでいない | ⇒問 23 (4) へ |

(3) 【(2)で「1. 取り組んでいる」と答えた方にお尋ねします】どのような取り組みを行っていますか。次の中からあてはまるものすべてに○を付けてください。

- | |
|--|
| 1. 飲料水や食料、カセットコンロと予備のガスボンベ、簡易トイレなど3日以上の備蓄をしている |
| 2. 地震発生時に家具や冷蔵庫などが転倒しないよう家の中の安全対策をしている |
| 3. 災害時の連絡方法を家族内で決めている |
| 4. 自宅やブロック塀などが倒壊しないよう耐震性の確保をしている |
| 5. ハザードマップなどを活用し、普段から避難場所や経路を確認している |
| 6. 台風や大雨時には気象情報を把握し、家の内外で対策をしている |
| 7. 防災訓練に積極的に参加している |
| 8. その他 () |

⇒問 24 へ

(4) 【(2)で「2. 取り組んでいない」と答えた方にお尋ねします】どのような理由なのか、次の中から1つに○を付けてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 何を備えるべきかなど、どうしたらよいか分からない |
| 2. やらうと思うが、時間がない |
| 3. やらうと思うが、金銭的に余裕がない |
| 4. いつ起こるか分からない災害に備えても、あまり意味がない |
| 5. これから取り組むところである |
| 6. その他 () |

問 24 あなたは、路上など屋外の公共の場所に街頭防犯カメラを設置することについて、どのようにお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 安全・安心の確保のため設置すべき
2. どちらかといえば安全・安心の確保のため設置したほうがよい
3. どちらかといえばプライバシー尊重のため設置しないほうがよい
4. プライバシー尊重のため設置するべきではない

問 25 地域に開かれた大学を目指しているものづくり大学についてお尋ねします。

(1) 大学の施設を見学または利用したことがありますか。次の中から1つに○を付けてください。

1. ある
2. ないが、機会があれば見学または利用したいと思う
3. ないし、見学または利用したいと思わない

(2) 市では、ものづくり大学を核としたまちづくりに力を入れています。あなたが今後、大学に期待することは何ですか。次の中から2つまで○を付けてください。

1. 公開講座や大学の施設利用など、地域に開かれたものにしてほしい
2. 若い人が増え、にぎわいが創出されるなど、まちの活性化につなげてほしい
3. 専門的な大学であり、技能習得の中心施設としてまちの産業発展に生かしてほしい
4. 市内の小・中・高校と合同のイベントなどを行い、地域の活性化につなげてほしい
5. ものづくりの楽しさを、世代を超えて広めてほしい
6. その他 ()

問 26 あなたの通勤・通学先や、買い物、行楽などの主な行き先はどこですか。次の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

	市内	近隣市町	県内	県外	していない そのような行動は
①通勤先・通学先	1	2	3	4	5
②日常的な買い物	1	2	3	4	5
③週末の買い物	1	2	3	4	5
④病院などの利用	1	2	3	4	5
⑤スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
⑥生涯学習、サークル、文化活動	1	2	3	4	5
⑦音楽会、観劇、美術鑑賞等	1	2	3	4	5
⑧自然を親しむ近距離の行楽	1	2	3	4	5
⑨歴史・文化に親しむ近距離の行楽	1	2	3	4	5

問 27 あなたは、インターネットを利用できる環境にありますか。次の中から1つに○を付けてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

V. 市政や市役所について

問 28 市政や市役所についてどんな印象を持っていますか。(1)～(4)の項目ごとにそれぞれ1つに○を付けてください。

(1) 行政への信頼度

1. 信頼できる	3. あまり信頼できない
2. まあまあ信頼できる	4. 信頼できない

(2) 各施策の実行能力

1. かなりある	3. あまりない
2. それなりにある	4. 全くない

(3) 市役所の利用しやすさ

1. 利用しやすい	3. 利用しにくい
2. ふつう	

(4) 窓口の対応

1. よい	3. わるい
2. ふつう	

問 29 市政に市民の声を反映しやすくするためには、どんなことに力を入れることが必要だとお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 相談窓口を多くする	4. 市民と職員との交流を多くする
2. 公聴会などの開催を多くする	5. 広報紙などに市民の声を多く掲載する
3. 市民と市長との交流を多くする	6. その他 ()

問 30 市政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 市政を考える集まりや組織に参加したい
2. 自治会や各種団体を活用して意見を述べたい
3. 市の説明会や懇談会に参加して意見を述べたい
4. 電話したり、市役所に行ったりして意見を述べたい
5. 手紙や電子メールで意見を述べたい
6. 市役所、議会や専門家に一任したい
7. 関心がない
8. その他()

問 31 今後の行政運営について、どのような方向が望ましいと思いますか。次の中から1つに○を付けてください。

1. 費用は掛かっても行政の責任で進める
2. 費用はできるだけ掛けずに行政の責任で進める
3. 市民や民間と協働で事業を進める
4. 市民や民間でできる事業は任せて進める
5. その他()

問 32 市政に対してのご意見、ご要望、お気づきの点がありましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。ご記入いただいた調査票については、恐縮ですが、同封の返信用封筒で8月9日（金）までにご返送ください（切手は不要です）。

行田市民意識調査 報告書

発行日／令和2年1月

発行／行田市 総合政策部 広報広聴課

〒361-8601 埼玉県行田市本丸2-5

TEL.048-556-1111

印刷／地域計画株式会社